

万崎建替公営住宅第二期建設工事

設計図書

図 面 リ ス ト

意 匠 図				構 造 図			
図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称		
A／001	特記仕様書（No.1）	A／056	EV・EVホール・屋外階段A廻り詳細図02	A／111	内装パネル天井伏図（1DKタイプ）	A／166	【参考】仮設計計画図（STEP4）
A／002	特記仕様書（No.2）	A／057	EV・EVホール・屋外階段A廻り詳細図03	A／112	内装パネル天井伏図（2DKタイプ）	A／167	計画配置位置図（全体）
A／003	特記仕様書（No.3）	A／058	屋外階段B廻り詳細図	A／113	内装パネル天井伏図（3DKタイプ）	A／168	計画配置位置図（1／4）
A／004	特記仕様書（No.4）	A／059	屋外階段C廻り詳細図	A／114	台所セット詳細図（参考図）	A／169	計画配置位置図（2／4）
A／005	特記仕様書（No.5）	A／060	平面詳細図（1DKタイプ）	A／115	浴室ユニットバス詳細図（参考図）	A／170	計画配置位置図（3／4）
A／006	特記仕様書（No.6）	A／061	展開図（1DKタイプ）	A／116	住戸ALV算定図・算定表	A／171	計画配置位置図（4／4）
A／007	特記仕様書（No.7）	A／062	平面詳細図（2DKタイプ）	A／117	外構撤去 配置図		
A／008	特記仕様書（No.8）	A／063	展開図（2DKタイプ）	A／118	外構撤去 詳細平面図		
A／009	特記仕様書（No.9）	A／064	平面詳細図（3DKタイプ）	A／119	外構撤去 部分詳細図-1		
A／010	特記仕様書（No.10）	A／065	展開図（3DKタイプ）	A／120	外構撤去 部分詳細図-2	V／001	昇降機設備工事 特記仕様書（1）
A／011	特記仕様書（No.11）	A／066	天井伏図01（1階）	A／121	外構レベル計画平面図（全体）	V／002	昇降機設備工事 特記仕様書（2）
A／012	特記仕様書（No.12）	A／067	天井伏図02（2～4階）	A／122	外構レベル計画平面図（1／4）	V／003	設備工事共通 特記仕様書
A／013	別紙1 特記仕様書	A／068	天井伏図03（5・6階）	A／123	外構レベル計画平面図（2／4）	V／004	付近見取図
A／014	別紙2 特記仕様書	A／069	天井伏図04（7階）	A／124	外構レベル計画平面図（3／4）	V／005	配置図
A／015	付近見取図	A／070	天井伏図05（8階）	A／125	外構レベル計画平面図（4／4）	V／006	仮設計計画図
A／016	特記事項・工事車両通行経路・安全監視員配置図	A／071	建具キープラン01（1階（X1～X10））	A／126	外構計画平面図01（舗装 全体）	V／007	エレベーター仕様要領、昇降機断面図、乗場正面図、乗場あけ穴図
A／017	外部仕上表	A／072	建具キープラン02（1階（X10～X19））	A／127	外構計画平面図01（舗装 1／4）	V／008	昇降機平面図
A／018	内部仕上表	A／073	建具キープラン03（2階（X1～X10））	A／128	外構計画平面図01（舗装 2／4）	V／009	01号機 かご室詳細図
A／019	敷地求積図・面積表	A／074	建具キープラン04（2階（X10～X19））	A／129	外構計画平面図01（舗装 3／4）	V／010	02号機 かご室詳細図
A／020	敷地求積図・面積表（仮想敷地）	A／075	建具キープラン05（3～7階（X1～X10））	A／130	外構計画平面図01（舗装 4／4）		
A／021	建物求積図・面積表01（建築基準法01）	A／076	建具キープラン06（3～7階（X10～X19））	A／131	外構計画平面図02（工作物 全体）		
A／022	建物求積図・面積表02（建築基準法02）	A／077	建具キープラン07（8階（X1～X10））	A／132	外構計画平面図02（工作物 1／4）		
A／023	建物求積図・面積表03（建築基準法03）	A／078	建具キープラン08（8階（X10～X19））	A／133	外構計画平面図02（工作物 2／4）	S／01	構造特記仕様書
A／024	建物求積図・面積表04（公営住宅法01）	A／079	建具表01	A／134	外構計画平面図02（工作物 3／4）	S／02	設備工事構造特記仕様書
A／025	建物求積図・面積表05（公営住宅法02）	A／080	建具表02	A／135	外構計画平面図02（工作物 4／4）	S／03	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（1）
A／026	建物求積図・面積表06（公営住宅法03）	A／081	部分詳細図01	A／136	外構詳細図（ごみ置場01）	S／04	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（2）
A／027	現況図	A／082	部分詳細図02	A／137	外構詳細図（ごみ置場02）	S／05	高強度せん断補強筋施工仕様書
A／028	団地全体配置図（第二期工事完了時）	A／083	部分詳細図03	A／138	外構詳細図（自転車置場01）	S／06	鉄筋コンクリート壁式構造配筋標準図
A／029	配置図	A／084	部分詳細図04	A／139	外構詳細図（自転車置場02）	S／07	Hyper-MEGA工法 特記仕様書
A／030	平面図01（ビット階（全体））	A／085	部分詳細図05	A／140	外構詳細図（バイク置場）	S／08	F.T.Pile構法 既製コンリート杭
A／031	平面図02（1・2階（全体））	A／086	部分詳細図06	A／141	防火水槽（耐震貯水槽）詳細図	S／09	ボーリング柱状図（1）
A／032	平面図03（3～8階（全体））	A／087	部分詳細図07	A／142	外構部分詳細図01	S／10	ボーリング柱状図（2）
A／033	平面図04（屋根伏図（全体））	A／088	部分詳細図08	A／143	外構部分詳細図02	S／11	杭伏図・基礎・ビット伏図
A／034	平面図05（ビット階（X1～X10））	A／089	部分詳細図09	A／144	外構部分詳細図03	S／12	1階伏図・2階伏図
A／035	平面図06（ビット階（X10～X19））	A／090	部分詳細図10	A／145	雨水排水計画平面図（全体）	S／13	3～8階伏図・R階伏図
A／036	平面図07（1階（X1～X10））	A／091	部分詳細図11	A／146	雨水排水計画平面図（1／4）	S／14	壁スリット配置図
A／037	平面図08（1階（X10～X19））	A／092	断熱材範囲図01	A／147	雨水排水計画平面図（2／4）	S／15	軸組図（1）
A／038	平面図09（2階（X1～X10））	A／093	断熱材範囲図02	A／148	雨水排水計画平面図（3／4）	S／16	軸組図（2）
A／039	平面図10（2階（X10～X19））	A／094	断熱材範囲図03	A／149	雨水排水計画平面図（4／4）	S／17	部屋タイプ別拡大図
A／040	平面図11（3～7階（X1～X10））	A／095	内装パネル平面詳細図（1DKタイプ）内法下	A／150	雨水貯留水槽【北】平面図	S／18	基礎・基礎梁・基礎小梁リスト
A／041	平面図12（3～7階（X10～X19））	A／096	内装パネル平面詳細図（1DKタイプ）内法上	A／151	雨水貯留水槽【南】平面図	S／19	柱芯線図
A／042	平面図13（8階（X1～X10））	A／097	内装パネル平面詳細図（1DKタイプ）ピロティ横住戸	A／152	雨水貯留水槽【北・南】断面詳細図	S／20	柱・大梁リスト
A／043	平面図14（8階（X10～X19））	A／098	内装パネル平面詳細図（2DKタイプ）内法下	A／153	オフィス樹詳細図01、経路図	S／21	小梁・床版・壁リスト
A／044	平面図15（屋根伏図（X1～X10））	A／099	内装パネル平面詳細図（2DKタイプ）内法上	A／154	オフィス樹詳細図02	S／22	架構配筋詳細図
A／045	平面図16（屋根伏図（X10～X19））	A／100	内装パネル平面詳細図（2DKタイプ）ピロティ横住戸	A／155	会所リストー1	S／23	雑配筋図（1）
A／046	ビット展開図01	A／101	内装パネル平面詳細図（3DKタイプ）内法下	A／156	会所リストー2	S／24	雑配筋図（2）
A／047	ビット展開図02	A／102	内装パネル平面詳細図（3DKタイプ）内法上	A／157	外構（雨水排水）詳細図01	S／25	【ごみ置場】構造図（1）
A／048	立面図01	A／103	内装パネル平面詳細図（3DKタイプ）妻住戸	A／158	外構（雨水排水）詳細図02	S／26	【ごみ置場】構造図（2）
A／049	立面図02・断面図01	A／104	内装パネル断面詳細図01	A／159	外構（雨水排水）詳細図03	S／27	スリーブ図01（ビット階（X1～X10））
A／050	断面図02	A／105	内装パネル断面詳細図02	A／160	植栽計画図01（植栽図）	S／28	スリーブ図02（ビット階（X10～X19））
A／051	矩計図01（1DKタイプ）	A／106	内装パネル断面詳細図03	A／161	植栽計画図02（数量表・支柱図）	S／29	スリーブ図03（1階（X1～X10））
A／052	矩計図02（2DKタイプ）	A／107	内装パネル断面詳細図04	A／162	【参考】仮設計計画図（STEP0 本工事前）	S／30	スリーブ図04（1階（X10～X19））
A／053	矩計図03（3DKタイプ）	A／108	内装パネル床伏図（1DKタイプ）	A／163	【参考】仮設計計画図（STEP1）	S／31	スリーブ図05（2～8階（X1～X10））
A／054	ピロティ廻り詳細図	A／109	内装パネル床伏図（2DKタイプ）	A／164	【参考】仮設計計画図（STEP2）	S／32	スリーブ図06（2～8階（X10～X19））
A／055	EV・EVホール・屋外階段A廻り詳細図01	A／110	内装パネル床伏図（3DKタイプ）	A／165	【参考】仮設計計画図（STEP3）	S／33	梁貫通孔補強筋標準図

特記仕様書 〔営繕編〕		No.1																																					
Ⅰ. 工事概要		章	項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項																																
1 工事名称	万崎建替公営住宅第二期建設工事	① 一 般 共 通 事 項	1 法令等の適用区分	※建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ○風圧力 風速（V ₀ ＝ 34 m/s） 地表面粗度区分（Ⅰ ・Ⅱ ・Ⅲ ・Ⅳ） ○積雪荷重 垂直積雪量 30 cm	① 一 般 共 通 事 項	④ 材料及び施工の検査に伴う試験	受注者は材料の受入れ検査及び施工に伴う検査を自らの責任において行うこと。 また、各種試験の立会い公共試験所へのテストピースの搬入は受注者が行うものとする。 なお、試験費用は受注者の負担とする。																																
2 工事場所	大阪府堺市西区草部1018番地1		② 材料の品質等	(1) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 (2) 備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督員の承諾を受ける。 (3) 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。 (4) 本工事に使用する材料のうち、(5)に指定する材料の製造業者等は、次の①～⑥の事項を満たすものとし、その証明となる資料（外部機関〔（一社）公共建築協会が発行する「建築材料・設備機材等品質評価事業」〕の評価書の写し等）を監督員に提出して承諾を受ける。ただし、あらかじめ監督員の承諾を受けた場合はこの限りでない。 ①品質及び性能に関する試験データを整理していること。 ②生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 ③安定的な供給が可能であること。 ④法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 ⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥販売、保守等の営業体制を整えていること。 (5) 製造業者等に関する資料の提出を求める材料 （一社）公共建築協会の「建築材料・設備機材等品質評価事業」において評価書が発行されている材料 床型枠用鋼製デッキプレート、鉄骨柱下無収縮モルタル、無収縮グラウト材、押出成形セメント板、成形伸縮目地材、乾式保護材、セラミックタイル、既調合モルタル、既調合目地材、ルーフトレン、吸水調整材、防水剤、アルミニウム製建具（コンクリート系下地及び鉄骨下地）、樹脂製建具（コンクリート系下地及び鉄骨下地）、鋼製建具、鋼製軽量建具、ステンレス製建具、錠前類、クローザ類、自動ドア機構、自閉式上吊り引戸機構、重量シャッター、軽量シャッター、オーバーヘッドドア、ガラス、現場発泡断熱材、フリーアクセスフロア、可動間仕切、移動間仕切、トイレプース、煙突用成形ライニング材、天井点検口、床点検口、グレーチング、屋上緑化システム、トップライト、ポリマーセメントモルタル、鋼鉄製ふた	⑤ 騒音、振動の防止	「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程」に基づき指定された建設機械を使用する。 また「建設機械に関する技術指針」に定められた排気ガス対策型建設機械を使用する。 なお、油圧ブレーカー（ジャイアントブレーカー、アイヨン）は、原則として使用しないこととする。																																	
3 敷地に関する事項	a 用途地域 ・第一種低層 ・第二種低層 ①第一種中高層 ・第二種中高層 ・第一種住居 ・第二種住居 ・準住居 ・近隣商業 ・商業 ・準工業 ・工業 ・工業専用 ・指定なし b 防火地域 ・防火 ①準防火 ・22条区域 c その他の地域地区 ①市街化 ・市街化調整 ②第二種高度地区 ・宅造規制 ・風致 d 都市計画施設の区域 ・指定あり （・都計道路 ・都計公園 ・ ・ ） ①指定なし e 建築率・容積率 ①指定建築率 60％ ①指定容積率 200％ f 敷地面積 36,491.02 m ² （第二期仮設敷地：10,137.05 m ² ）		3 技能士	適用工事種別 職 種 技能検定の作業の職種 仮設工事 とび ・とび作業 鉄筋工事 鉄筋施工 ・鉄筋組立て作業 コンクリート 型枠施工 ・型枠工事作業 工事 コンクリート 圧送施工 ・コンクリート圧送工事作業 鉄骨工事 鉄工 ・構造物鉄工作業 コンクリート ブロック建築 ・コンクリートブロック工事作業 ブロック・ALC パネル及び押出成形セメント板 パネル施工 ・エーエルシーパネル施工工事 防水工事 防水施工 ・アスファルト防水工事作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ・シーリング防水工事作業 ・改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業 ・FRP防水工事作業 石工事 石材施工 ・石張り作業 タイル工事 タイル張り ・タイル張り作業 木工事 建築大工 ・大工工事作業 屋根及びとい 建築板金 ・内外装板金作業 工事 スレート施工 ・スレート工事作業 金属工事 内装仕上げ施工 ・鋼製下地工事作業 建築板金 ・内外装板金作業 左官工事 左官 ・左官作業 サッシ施工 ・ビル用サッシ施工作業 建具工事 ガラス施工 ・ガラス工事作業 自動ドア施工 ・自動ドア施工作業 カーテンウォール施工 カーテンウォール施工 ・金属製カーテンウォール工事作業 サッシ施工 ・ビル用サッシ施工作業 ガラス施工 ・ガラス工事作業 塗装工事 塗装 ・建築塗装作業 内装仕上げ施工 プラスチック系床仕上げ工事作業 ・カーペット系床仕上げ作業 ・ボード仕上げ工事作業 表装 ・壁装作業 排水工事 配管 ・建築配管作業 舗装工事 路面標示施工 ・加熱ベイントハンドマーカ―工事作業 植栽工事 造園 ・造園工事作業	⑥ 工事の記録等及び工事写真	報告に用いる書式等 ・現場説明書による ①標準仕様書1.2.4(4)により整理する工事写真については次による 『営繕工事写真撮影要領（平成28年版）』による工事写真撮影ガイドブック 建築工事編及び解体工事編 平成30年版』 国土交通省大臣官庁官庁官庁営繕部監修 現況写真 工事場所及びその付近の必要と思われる箇所について着工前に写真を撮り提出する。 ※1部 ・（ ）部 提出 工事写真 各工程に沿って、日付内容その他必要事項を記入の上、順次アルバムに整理を行う。 ※1部 ・（ ）部 提出 工事出来高写真 中間支払いを請求する場合は、出来高が明確になるように写真を撮り提出する。 ※1部 ・（ ）部 提出 施工図等の作成にあたり、別契約を含む施工上密接に関連する工事との納まり等について、当該工事関係者と調整の上、十分検討する。 施工範囲 1. 図示した鉄筋コンクリート部分の貫通口、開口部、スリーブ等の補強 2. 補強を要する壁・天井の仕上げ材・下地材の切込み及び下地材の補強 3. 駆動装置が電動による建具類の2次配線及び操作スイッチ 4. 自動閉鎖装置取付け箇所切込み及び補強 施工図・実施工程表（試運転期間を明記） 設備機器の位置、取り扱いなどの検討できる施工図・構成工期を明記した実施工程表を提出して、監督員の承諾を受ける。 ※図示 ②設計G _L ＝OP＋17.350 施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。 下記のものを監督員に提出する。 ただし、原板は撮影業者の保管とする。 分類・規格 撮影箇所数 提出部数 原板の大きさ（mm） ○カー ※+t ¹ 板 外部（20）内部（30）※2 ・6 ※100×125以上 （他に外観正面1ヵ所のみ3枚（カー+t ² 板）提出） ・カー四切木製パ ¹ 板 外部（ ）内部（ ）※2 ・ ・カー半切木製パ ¹ 板 外部（ ）内部（ ）※2 ・ ・カー+t ¹ 外部（ ）内部（ ）※1 ・ ※24×36以上 ・ 外部（ ）内部（ ） 撮影業者 ※監督員の承諾する撮影業者 ただし、建築完成写真撮影の実績のある業者とする。 受注者はデジタル工事写真の小黑板情報電子化を行う場合は、「小黑板情報電子化承諾願い」を提出し、監督員の承諾を受けること。 デジタル工事写真の小黑板情報電子化で使用可能な対象機器及び小黑板情報の電子的記入方法・取扱い・写真の納品等については「デジタル工事写真の小黑板情報電子化について」（堺市建築部HP掲載）によるものとする。 ※無し ・有り 保証年限の起算日は契約竣工日の翌日とする。 保証書は2部提出すること。 1 建設業法第26条及び工事請負契約書第10条に定める受注者が工事現場に配置しなければならない現場代理人、監理技術者、監理技術者補佐、主任技術者及び専門技術者については、適切な資格、技術力等を有する者を配置すること。 （注）工事現場に常駐して専らその業務に従事する者で受注者と直接かつ、恒常的な雇用関係にある者に限る。 2 建設業法第22条及び工事請負契約書第 6条に違反する一括下請負い不必要な重層下請負その他不適切な形態による下請契約により、工事を施工するなど契約当事者相互間の信頼関係を損なうような行為を行わないこと。 3 特定建設業の許可を受けないで、下請代金の総額が建設業法施行令第2条で定める金額（8,000 万円）以上となる下請契約を締結することはできないのてことに留意すること。 1 シンナー等有機溶剤の保管場所については、他の材料と区別し施錠する等保管管理を厳重にし盗難の防止に努めること。 なお、保管するときは換気に注意し、一定量以上保管する場合は消防法等関係法令に従うこと。 2 使用後は現場に放置することなく、速やかに持ち帰る等の処置を講ずること。																																	
4 工事建物概要	a. 工事種別 新築 b. 用途 共同住宅（主要用途 共同住宅） c. 建築面積 1,453.69 m ² （既設部分：5,544.95 m ² ） 計 6,998.64 m ² （建築率：19.18％） d. 延べ面積 8,709.94 m ² （既設部分：20,512.60 m ² ） 計 29,222.54 m ² e. 構 造 鉄筋コンクリート（住棟） f. 階数 地上 8 階、地下 ― 階 g. 棟数 14 棟 h. 軒高 22.520 m（住棟） i. 最高の高さ 24.110 m（住棟） 各棟建築面積及び各棟床面積他 <table><tr><th>棟 名</th><th>各階床面積</th><th>建築面積</th><th>階数</th><th>構造</th><th>備 考</th></tr><tr><td>棟別工事種別</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>住棟</td><td>別紙による</td><td>別紙による</td><td>8階</td><td>R C造</td><td>棟数： 1棟</td></tr><tr><td>ごみ置場</td><td>別紙による</td><td>別紙による</td><td>1階</td><td>R C造</td><td>棟数： 1棟</td></tr><tr><td>自転車置場</td><td>別紙による</td><td>別紙による</td><td>1階</td><td>S造</td><td>棟数： 10棟</td></tr><tr><td>バイク置場</td><td>別紙による</td><td>別紙による</td><td>1階</td><td>S造</td><td>棟数： 2棟</td></tr></table>		棟 名	各階床面積	建築面積	階数	構造	備 考	棟別工事種別						住棟	別紙による	別紙による	8階	R C造	棟数： 1棟	ごみ置場	別紙による	別紙による	1階	R C造	棟数： 1棟	自転車置場	別紙による	別紙による	1階	S造	棟数： 10棟	バイク置場	別紙による	別紙による	1階	S造	棟数： 2棟	⑦ 設備工事との 取り扱い
棟 名	各階床面積	建築面積	階数	構造	備 考																																		
棟別工事種別																																							
住棟	別紙による	別紙による	8階	R C造	棟数： 1棟																																		
ごみ置場	別紙による	別紙による	1階	R C造	棟数： 1棟																																		
自転車置場	別紙による	別紙による	1階	S造	棟数： 10棟																																		
バイク置場	別紙による	別紙による	1階	S造	棟数： 2棟																																		
5 工事範囲	① 建築主体工事 ② 屋外附帯工事 3. 既設改修工事（・倉館無入改修 ※執務室並改修） ④ 撤去工事 ⑤. その他工事	⑧ 設計G _L	※図示 ②設計G _L ＝OP＋17.350 施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。 下記のものを監督員に提出する。 ただし、原板は撮影業者の保管とする。 分類・規格 撮影箇所数 提出部数 原板の大きさ（mm） ○カー ※+t ¹ 板 外部（20）内部（30）※2 ・6 ※100×125以上 （他に外観正面1ヵ所のみ3枚（カー+t ² 板）提出） ・カー四切木製パ ¹ 板 外部（ ）内部（ ）※2 ・ ・カー半切木製パ ¹ 板 外部（ ）内部（ ）※2 ・ ・カー+t ¹ 外部（ ）内部（ ）※1 ・ ※24×36以上 ・ 外部（ ）内部（ ） 撮影業者 ※監督員の承諾する撮影業者 ただし、建築完成写真撮影の実績のある業者とする。 受注者はデジタル工事写真の小黑板情報電子化を行う場合は、「小黑板情報電子化承諾願い」を提出し、監督員の承諾を受けること。 デジタル工事写真の小黑板情報電子化で使用可能な対象機器及び小黑板情報の電子的記入方法・取扱い・写真の納品等については「デジタル工事写真の小黑板情報電子化について」（堺市建築部HP掲載）によるものとする。 ※無し ・有り 保証年限の起算日は契約竣工日の翌日とする。 保証書は2部提出すること。 1 建設業法第26条及び工事請負契約書第10条に定める受注者が工事現場に配置しなければならない現場代理人、監理技術者、監理技術者補佐、主任技術者及び専門技術者については、適切な資格、技術力等を有する者を配置すること。 （注）工事現場に常駐して専らその業務に従事する者で受注者と直接かつ、恒常的な雇用関係にある者に限る。 2 建設業法第22条及び工事請負契約書第 6条に違反する一括下請負い不必要な重層下請負その他不適切な形態による下請契約により、工事を施工するなど契約当事者相互間の信頼関係を損なうような行為を行わないこと。 3 特定建設業の許可を受けないで、下請代金の総額が建設業法施行令第2条で定める金額（8,000 万円）以上となる下請契約を締結することはできないのてことに留意すること。 1 シンナー等有機溶剤の保管場所については、他の材料と区別し施錠する等保管管理を厳重にし盗難の防止に努めること。 なお、保管するときは換気に注意し、一定量以上保管する場合は消防法等関係法令に従うこと。 2 使用後は現場に放置することなく、速やかに持ち帰る等の処置を講ずること。																																				
6 別途工事	① 電気設備工事 ② 給排水衛生設備工事 3. 空気調和設備工事 4. ガス設備工事 5. 浄化槽設備工事 6. 植栽工事 7. その他工事	⑨ 施工図等の取扱い	※図示 ②設計G _L ＝OP＋17.350 施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。 下記のものを監督員に提出する。 ただし、原板は撮影業者の保管とする。 分類・規格 撮影箇所数 提出部数 原板の大きさ（mm） ○カー ※+t ¹ 板 外部（20）内部（30）※2 ・6 ※100×125以上 （他に外観正面1ヵ所のみ3枚（カー+t ² 板）提出） ・カー四切木製パ ¹ 板 外部（ ）内部（ ）※2 ・ ・カー半切木製パ ¹ 板 外部（ ）内部（ ）※2 ・ ・カー+t ¹ 外部（ ）内部（ ）※1 ・ ※24×36以上 ・ 外部（ ）内部（ ） 撮影業者 ※監督員の承諾する撮影業者 ただし、建築完成写真撮影の実績のある業者とする。 受注者はデジタル工事写真の小黑板情報電子化を行う場合は、「小黑板情報電子化承諾願い」を提出し、監督員の承諾を受けること。 デジタル工事写真の小黑板情報電子化で使用可能な対象機器及び小黑板情報の電子的記入方法・取扱い・写真の納品等については「デジタル工事写真の小黑板情報電子化について」（堺市建築部HP掲載）によるものとする。 ※無し ・有り 保証年限の起算日は契約竣工日の翌日とする。 保証書は2部提出すること。 1 建設業法第26条及び工事請負契約書第10条に定める受注者が工事現場に配置しなければならない現場代理人、監理技術者、監理技術者補佐、主任技術者及び専門技術者については、適切な資格、技術力等を有する者を配置すること。 （注）工事現場に常駐して専らその業務に従事する者で受注者と直接かつ、恒常的な雇用関係にある者に限る。 2 建設業法第22条及び工事請負契約書第 6条に違反する一括下請負い不必要な重層下請負その他不適切な形態による下請契約により、工事を施工するなど契約当事者相互間の信頼関係を損なうような行為を行わないこと。 3 特定建設業の許可を受けないで、下請代金の総額が建設業法施行令第2条で定める金額（8,000 万円）以上となる下請契約を締結することはできないのてことに留意すること。 1 シンナー等有機溶剤の保管場所については、他の材料と区別し施錠する等保管管理を厳重にし盗難の防止に努めること。 なお、保管するときは換気に注意し、一定量以上保管する場合は消防法等関係法令に従うこと。 2 使用後は現場に放置することなく、速やかに持ち帰る等の処置を講ずること。																																				
Ⅱ. 工事仕様	1 共通仕様 (1) 国土交通省大臣官庁官庁官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(令和4年版)」(以下「標準仕様書」という。)による。 (2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事を含む場合は、電気設備工事および機械設備工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。	⑩ 完成写真	※図示 ②設計G _L ＝OP＋17.350 施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。 下記のものを監督員に提出する。 ただし、原板は撮影業者の保管とする。 分類・規格 撮影箇所数 提出部数 原板の大きさ（mm） ○カー ※+t ¹ 板 外部（20）内部（30）※2 ・6 ※100×125以上 （他に外観正面1ヵ所のみ3枚（カー+t ² 板）提出） ・カー四切木製パ ¹ 板 外部（ ）内部（ ）※2 ・ ・カー半切木製パ ¹ 板 外部（ ）内部（ ）※2 ・ ・カー+t ¹ 外部（ ）内部（ ）※1 ・ ※24×36以上 ・ 外部（ ）内部（ ） 撮影業者 ※監督員の承諾する撮影業者 ただし、建築完成写真撮影の実績のある業者とする。 受注者はデジタル工事写真の小黑板情報電子化を行う場合は、「小黑板情報電子化承諾願い」を提出し、監督員の承諾を受けること。 デジタル工事写真の小黑板情報電子化で使用可能な対象機器及び小黑板情報の電子的記入方法・取扱い・写真の納品等については「デジタル工事写真の小黑板情報電子化について」（堺市建築部HP掲載）によるものとする。 ※無し ・有り 保証年限の起算日は契約竣工日の翌日とする。 保証書は2部提出すること。 1 建設業法第26条及び工事請負契約書第10条に定める受注者が工事現場に配置しなければならない現場代理人、監理技術者、監理技術者補佐、主任技術者及び専門技術者については、適切な資格、技術力等を有する者を配置すること。 （注）工事現場に常駐して専らその業務に従事する者で受注者と直接かつ、恒常的な雇用関係にある者に限る。 2 建設業法第22条及び工事請負契約書第 6条に違反する一括下請負い不必要な重層下請負その他不適切な形態による下請契約により、工事を施工するなど契約当事者相互間の信頼関係を損なうような行為を行わないこと。 3 特定建設業の許可を受けないで、下請代金の総額が建設業法施行令第2条で定める金額（8,000 万円）以上となる下請契約を締結することはできないのてことに留意すること。 1 シンナー等有機溶剤の保管場所については、他の材料と区別し施錠する等保管管理を厳重にし盗難の防止に努めること。 なお、保管するときは換気に注意し、一定量以上保管する場合は消防法等関係法令に従うこと。 2 使用後は現場に放置することなく、速やかに持ち帰る等の処置を講ずること。																																				
2 適用	特記仕様の取扱いについては、下記による。 (1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 (2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。 ○印のつかない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○印と※印の付いた場合は、共に適用する。	⑪ デジタル工事写真の 小黑板情報電子化	※図示 ②設計G _L ＝OP＋17.350 施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。 下記のものを監督員に提出する。 ただし、原板は撮影業者の保管とする。 分類・規格 撮影箇所数 提出部数 原板の大きさ（mm） ○カー ※+t ¹ 板 外部（20）内部（30）※2 ・6 ※100×125以上 （他に外観正面1ヵ所のみ3枚（カー+t ² 板）提出） ・カー四切木製パ ¹ 板 外部（ ）内部（ ）※2 ・ ・カー半切木製パ ¹ 板 外部（ ）内部（ ）※2 ・ ・カー+t ¹ 外部（ ）内部（ ）※1 ・ ※24×36以上 ・ 外部（ ）内部（ ） 撮影業者 ※監督員の承諾する撮影業者 ただし、建築完成写真撮影の実績のある業者とする。 受注者はデジタル工事写真の小黑板情報電子化を行う場合は、「小黑板情報電子化承諾願い」を提出し、監督員の承諾を受けること。 デジタル工事写真の小黑板情報電子化で使用可能な対象機器及び小黑板情報の電子的記入方法・取扱い・写真の納品等については「デジタル工事写真の小黑板情報電子化について」（堺市建築部HP掲載）によるものとする。 ※無し ・有り 保証年限の起算日は契約竣工日の翌日とする。 保証書は2部提出すること。 1 建設業法第26条及び工事請負契約書第10条に定める受注者が工事現場に配置しなければならない現場代理人、監理技術者、監理技術者補佐、主任技術者及び専門技術者については、適切な資格、技術力等を有する者を配置すること。 （注）工事現場に常駐して専らその業務に従事する者で受注者と直接かつ、恒常的な雇用関係にある者に限る。 2 建設業法第22条及び工事請負契約書第 6条に違反する一括下請負い																																				

7

鉄骨工事

① 鉄骨製作工場

鉄骨製作工場の加工能力
○ 国土交通大臣から構造方法等の認定を取得している鉄鋼製作工場又は同等以上の能力のある工場
(J) グレード以上
・ 監督員の承認する工場

※適用する

② 施工管理技術者

③ 鋼材

形状及び寸法
○ 図示による
板厚方向に引強度を受ける鋼材の試験
・ 行う (適用箇所:)
・ 行わない

④ 材料試験

⑤ 高力ボルト

高力ボルトの種類
・ トルシア形高力ボルト
・ J I S 形高力ボルト
○ 溶融亜鉛めっき高力ボルト
・ 建築基準法に基づき認定を受けた高力ボルト

ボルトの寸法
ねじの呼び
○ 図示による
ボルトの繰端距離、ボルト間隔、ゲージ等
○ 図示による
摩擦面の性能及び処理
・ すべり試験
試験の方法等
・ 図示による
・ 溶融亜鉛めっき面の摩擦面の処理方法
※ 標準仕様書7.12.5. (1) (ア)、(イ)による
・

J I S 形高力ボルトの締付け (本締め)
ナット回転法の場合で、ボルトの長さがねじの呼びの5倍を超える場合の回転量
・ 図示による

⑥ 普通ボルト

ボルト及びナットの材料
※ 標準仕様書 表7.2.3による
ボルトの形状及び寸法
ねじの呼び
○ 図示による
ボルトの繰端距離、ボルト間隔、ゲージ等
○ 図示による
母屋又は鋼梁の取付けに使用するボルトの孔径
※ ねじの呼び径 +1.0mm
・

⑦ アンカーボルト

種類
○ 構造用アンカーボルト
・ ABR400 ・ ABR490 ○ SS400
・ 建方用アンカーボルト
・ SS400
・
アンカーボルト及びナットのねじの交差域クラス及び仕上げの程度
※ 標準仕様書 表7.2.3による
ボルトの繰端距離、ボルト間隔、ゲージ等
○ 図示による

⑧ 溶接材料

溶接材料
※ 標準仕様書 7.2.5. (1)、(2) による
・ 図示による

9 ターンバックル

種類
建築用ターンバックルボルト
※ 羽子板ボルト
建築用ターンバックル胴
※ 割特式
ねじの呼び等
・ 図示による

10 床構造用デッキプレート

7

鉄骨工事

11 スタッド

12 柱底均しモルタル

13 鉄骨の仮組

14 溶接技能者の技量付加試験

15 溶接接合

16 溶接部の試験

17 錆止め塗装

18 耐火被覆

7

鉄骨工事

鉄骨部材への溶接方法
・ 図示による

種類等

呼び名	呼び長さ(mm)	適用箇所
・ 16		
・ 19		
・ 22		

・ 無収縮モルタル
無収縮モルタルの材料、調合等
※ 標準仕様書 7.2.9 (2) による
・ 標準仕様書 7.2.9 (1) によるモルタル

※ 行う
仮組を行う範囲
・ 図示による

試験の要領
・ 図示による

開先の形状
・ 図示による
鋼製エンドタブを切断する箇所及び切断範囲
・ 図示による
切断面の仕上げ
※ 標準仕様書 7.6.7 (1) (b) ② による
スカラップの形状
・ 図示による
低応力高サイクル疲労を受ける部位
・ 図示による

溶接部の外観試験
平成12年建設省告示第1464号第二号に関する試験
試験の方法
・ 「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル (鉄骨製作管理技術者登録機構)」3.5.2受入検査による
・ 抜き取り検査① ※ 抜き取り検査②
・
JASS 6 付則 6 の付表3「溶接」に関する試験
試験の方法
・ JASS 6 10.4「受入検査」6.溶接部の外観検査 (1) から (5) までによる。
ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜取箇所は、超音波探傷試験の試験箇所と同一とする。
・
・ 完全溶込み部の超音波探傷試験
工場溶接の場合
ADQL (%) ※ 4.0 ・ 2.5 (防災庁舎等)

部	・ 全て	・
検査水準	※ 第6水準	

標準仕様書 表18.3.1 J I S K 5 6 7 4 (1種)
ただし、D P 塗りの場合は標準仕様書 表18.3.1 J I S K 5 5 5 1 (A種) とする。
※ 土壌塗装1回と同種の錆止め塗料を現場塗装1回
塗装の範囲
耐火被覆材の接着する面の塗装範囲
・ 図示による
耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲
※ 標準仕様書 7.8.2 (1) による
・ 図示による
下記以外の塗料の種別は、18章による
・ 鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の錆止めの塗料の種別
※ A 種 ・ B 種
・ 耐火被覆が接着する面の塗料の種別
・
種類、材料、工法等

種類	材料・工法	耐火性能(時間)	適用箇所 (部位・部分)
耐火材吹付け	・ 乾式吹付け ロックウール		
	・ 半乾式吹付け ロックウール		
	・ 湿式 ロックウール		
	・		
	・		
耐火板張り	・ 繊維混入けい酸カルシウム板		
	・		
耐火材巻付け	・ 高断熱 ロックウール		
	・		
	・		
ラス張りモルタル塗り	—		
耐火塗料			

7

鉄骨工事

⑪ アンカーボルトの設置等

20 軽量鋼構造

⑫ 溶融亜鉛めっき工法

8

コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事

※鉄骨の主要部材に取付くALCパネル及び押出成形セメント板等の下地鋼材 (ピースアングル及び定規アングル等) 及びALCパネル及び押出成形セメント板等の取付け金物は必要な耐火性能を有する被覆を行うこと。

構造用アンカーボルトの形状及び寸法
○ 図示による
構造用アンカーフレームの形状及び寸法
○ 図示による
建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法
種別 ・ A種 ・ B種
柱底均しモルタルの厚さ及び工法の種別
厚さ ・ mm
種別 ※ A種

ボルト接合方法
・ 普通ボルト接合

1 補強コンクリートブロック造

2 コンクリートブロック横壁及び塀

3 ALCパネル

8

コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事

材料

断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ (mm)	モジュール呼び寸法 (mm) 長さ 高さ	化粧の有無	適用箇所	備考
・ 空洞70φC (16)			・ 無 ・ 有		
・			・ 無 ・ 有		
・			・ 無 ・ 有		

モルタルの調合 (容積比)
ブロックの区分が A (08)、B (12)、C (16) の場合で、目地巾が10mm程度の場合
※ 標準仕様書 表 8.2.1による
上記以外の場合
各部の配筋 ・ 図示による

目地仕上げ ・ 押し目地仕上げ ・ 化粧目地仕上げ

まぐさを受ける開口部両側のブロックにおいて、モルタル又はコンクリートで充填するブロックの範囲
・ 図示による

材料

断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ (mm)	モジュール呼び寸法 (mm) 長さ 高さ	化粧の有無	適用箇所	備考
※ 空洞70φC (16)			・ 無 ・ 有 ※表 8.3.1		
・	・ 120 ・ 150		・ 無 ・ 有 ※ 塀		
・			・ 無 ・ 有		

モルタルの調合 (容積比)
ブロックの区分が A (08)、B (12)、C (16) の場合で、目地巾が10mm程度の場合
※ 標準仕様書 表 8.2.1による
上記以外
鉄筋の継手、支着及び末端部の折り曲げ形状
・ 図示による
各部の配筋 ・ 図示による

材料、構造

パネルの区分		単位荷重 (N/m2)	厚さ (mm)	幅及び長さ (mm)	耐火性能 (時間)	構法の種別
用途	形状 表面加工					
外壁用	一般 ・ 平		・ 100	・ 図示	・ 有 (1)	・ A種 ・ B種
	コーナ 意匠					
間仕切壁用	一般 ・ 平		・ 100	・ 図示	・ 有 (1) ・ 無	・ C種 ・ D種 ・ E種
	コーナ 意匠					
屋根版用	— —		・ 100	・ 図示	・ 有 (0.5)	・ F種
床版用	— —		・ 100	・ 図示	・ 有 () ・ 無	

パネル相互の接合部に挿入する耐火目地材
・ 図示による
・ 外壁パネル構法、屋根及び床パネル構法
耐風圧性能 ()
耐震性能 ()
・ 間仕切壁パネル構法
耐震性能 ()
パネル幅の最小限度 (mm)
・ 300未満 (・ 図示)

4 押出成形セメント板 (E C P)

1 アスファルト防水

パネルの短辺小口相互の接合部、出隅及び入隅のパネル接合部並びにパネルと他部材との取り合い部の伸縮目地の目地幅 (mm)
※ 10～20
・ 図示による
伸縮目地への耐火目地材の充填
・ 適用する
・ 適用しない

材料、工法

パネルの種類	形 状	厚さ (mm)	幅 (mm)	工法の種別	備考
外壁パネル	・ F (フラットパネル)	・ 50 ・ 60 ・	600	・ A 種 ・ B 種	
	・ D (デザインパネル)	・ 50 ・ 60			
	・ T (タイルベースパネル)	60			
間仕切壁パネル	・ F (フラットパネル)	・ 50 ・ 60 ・	600	・ B 種 ・ C 種	
	・ D (デザインパネル)	・ 50 ・ 60			
		・ T (タイルベースパネル)	60		

・ 外壁パネル工法
耐風圧性能 ()
耐震性能 ()
・ 間仕切壁パネル工法
耐震性能 ()
耐火構造以外の目地及び隙間の処理
※ パネルの製造所の仕様による
パネル幅の最小限度 (mm)
・ 300未満 (・ 図示)
パネル相互の目地幅 (mm)
長辺の目地幅 ・ 10以上
・ 図示による
短辺の目地幅 ・ 15以上
・ 図示による

出隅及び入隅のパネル接合部の伸縮目地の目地幅 (mm)
※ 15程度 (シーリング材を充填)
・ 図示による
溝埋及び開口部の措置
やむを得ず設備開口等設ける場合のパネルの開口寸法等の限度
・ 図示による

屋根保護防水
防水層の種類

種 別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート
・ A-1			※ ポリエチレンフィルム 厚さ 0.15mm以上又は フラットヤーンクロス 70g/m2程度
・ A-2			
・ A-3			
・ B-1			※ フラットヤーンクロス 70g/m2程度
・ B-2			
・ A1-1		(厚さ) ・ mm	・
・ A1-2			
・ A1-3			
・ B1-1			
・ B1-2			

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※ 標準仕様書 表9.2.3及び 表9.2.4による
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
・ 材料構成による区分 ・ R種 ・ N種
厚さ ・ mm以上
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※ 標準仕様書 表9.2.5及び 表9.2.6による
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
・ 材料構成による区分 ・ R種 ・ N種
厚さ ・ mm以上
押え金物の材質及び形状寸法
※ アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度
・
立上り部への断熱材及び絶縁用シートの設置
・ 適用する
・ 適用しない

2025. 5. 改訂

堺市 建築都市局 建築部

図面番号 A / 0 0 4

[illegible]

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
16 建具工事	8 鋼製軽量建具	性能値等（建具符号は建具表による） 簡易気密型ドアセットの気密性等級 ・ A-3 ・ 建具表による ・ 耐震ドアとする場合 面内変形追随性の等級（ ） ・ 防音ドア、防音サッシとする場合 遮音性の等級（ ） ・ 断熱ドア、断熱サッシとする場合 断熱性の等級（ ） 鋼板の種類 ・ 亜鉛めっき鋼板 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板 召合せ、縦小口包み板の材質 ※鋼板 鋼板類の厚さ（mm） ※ 標準仕様書 表 16.5.1による ・ 図示による ステンレス製くつずりの仕上げ ※ HL 標準型钢製軽量建具の有効内法寸法（標準仕様書 表 16.4.5による） ・ 適用する（建具符号、形式及び寸法は建具表による）	16 建具工事	11 建具用金物	金物の種類・見え掛り部の材質等 ※ 標準仕様書 表 16.8.1及び適用（備考欄の特記事項も含め）は、建具表による 金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※ 標準仕様書 表 16.8.2による 樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※ 標準仕様書 表 16.8.3による 木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※ 標準仕様書 表 16.8.4による 木製建具に使用する戸車及びレール ※ 標準仕様書 表 16.8.5による 握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置 ① 建具表による	17 カーテンウォール工事	2 メタルカーテンウォール	適用は以下によるほか、カーテンウォール図による 金属材料の種類 ・ アルミニウム材 ・ 鋼材 ・ ステンレス鋼材 （アルミニウム材の場合） 規格等 標準仕様書 16.2.3による 種別 着色 ・ 標準色 ・ 特注色 シーリング材（ガラス取付けは除く） 下表以外は標準仕様書 表 9.7.1による <table><tr><th rowspan="2">被着体の組合せ</th><th colspan="2">シーリング材の種類</th></tr><tr><th>記号</th><th>主成分による区分</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> ガラスの取付け材料 ・ シーリング（種類： ） ・ 構造ガスケット （材質、形状等 ・ 図示 ） 断熱材 種類（ ） 厚さ（mm）（ ） 施工箇所 ・ 図示による 形状及び仕上げ 製品の寸法許容差 ※ 標準仕様書 表 17.2.1による 見え掛り部の仕上げ ガラス溝の寸法、形状等 ※ カーテンウォールの製造所の仕様 取付け 躯体付け金物の取付け位置の寸法許容差 ※ 標準仕様書 表 17.2.2による ・ 図示による カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差 ※ 標準仕様書 表 17.2.3による ・ 図示による ガラスの取付け方法 ・ 適用は以下によるほか、カーテンウォール図による 材料 コンクリート 種類（ ） 品質 設計基準強度（Fc） ※ 30N/mm2 スラブ ※ 12cm 乾燥単位容積質量 ・ 普通コンクリートの場合 ・ 2.1t/m3を超え 2.5t/m3以下 単位水量の最大値 ※ 185kg/m3 鉄筋 種類記号 ※ SD295 補強鉄線 径（mm） ・ 3.2 ・ 4.0 ・ 5.0 ・ 6.0 網目寸法 シーリング材 下表以外は標準仕様書 表 9.7.1による <table><tr><th rowspan="2">被着体の組合せ</th><th colspan="2">シーリング材の種類</th></tr><tr><th>記号</th><th>主成分による区分</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> ガラスの取付け材料 ・ 構造ガスケット （材質、形状等 ・ 図示 ） 耐火目地材 断熱材 種類（ ） 厚さ（mm）（ ） 施工箇所 ・ 図示による 先付け材料 ・ 先付け材料の仕上材 ・ 石材（ ・ 花こう岩 ・ 大理石 ） ・ セラミックタイル ・ 建具枠 ・ ゴンドラ用ガイドレール	被着体の組合せ	シーリング材の種類		記号	主成分による区分							被着体の組合せ	シーリング材の種類		記号	主成分による区分																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	被着体の組合せ	シーリング材の種類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
記号		主成分による区分																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
被着体の組合せ	シーリング材の種類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	記号	主成分による区分																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
9 ステンレス製建具	性能値等（建具符号は建具表による） 耐風圧性等級、気密性等級、水密性等級 ・ 建具表による 外部に面する建具の耐風圧性（標準仕様書 表 16.2.1による） ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6 ・ 耐震ドアとする場合 面内変形追随性の等級（ ） ・ 防音ドア、防音サッシとする場合 遮音性の等級（ ） ・ 断熱ドア、断熱サッシとする場合 断熱性の等級（ ） ステンレス鋼板の種類 ※ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 表面仕上げ ※ HL ステンレス製くつずりの仕上げ ※ HL ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・ 角出し曲げ	12 鍵 13 自動ドア開閉装置 戸の開閉方式 ・ 図示による 自動ドア開閉装置の性能 駆動装置の性能 ※ 引き戸用駆動装置の場合、標準仕様書 表 16.9.1による 防錆の適用 ・ 適用する ・ 適用しない ・ 車椅子使用者便所出入口の引き戸用駆動装置の性能 ※ 標準仕様書 表 16.9.2による 防錆の適用 ・ 適用する ・ 適用しない ・ 換出装置の性能 ※引き戸用換出装置の性能は標準仕様書 表 16.9.3による 防錆の適用 ・ 適用する ・ 適用しない ・ 引き戸用換出装の種類の標準仕様書 表 16.9.4による 種類 ・ 光線（反射）センサー ・ 熱線センサー 音波センサー ・ 光電センサー ・ 電波センサー ・ タッチスイッチ （ ・ 無線式タッチスイッチ ・ 光電式タッチスイッチ） ・ 押しボタンスイッチ ・ 車椅子使用者便所スイッチ （ ・ 大形（開・閉）押しボタンスイッチ ・ 非接触スイッチ） 凍結防止措置 ・ 適用する ・ 適用しない	14 自閉式上吊り引戸装置 15 重量シャッター シャッターの種類 ・ 管理用シャッター ・ 外壁用防火シャッター ・ 屋内用防火シャッター ・ 防煙シャッター 外壁開口部に設ける重量シャッター 耐風圧強度（ ） pa 開閉方式の種類（標準仕様書 表 16.11.1） ※ 電動式（手動併用） ・ 手動式 安全装置の設置箇所 急降下制御装置又は急降下停止装置の設置箇所 ・ 図示による ・ 障害物感知装置の設置箇所 ・ 図示による ・ 危害防止機構の設置箇所 ・ 図示による ・ 管理用シャッターのシャッターケース ・ 設ける ・ 設けない スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 ・ JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) ・ JIS G 3312(塗装亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量 ※ Z12 又はF12 ステンレス鋼板の種類 ※ SUS304, SUS430J1L 又は SUS443J1	16 軽量シャッター 開閉形式 ※ 手動式 ・ 電動式（手動併用） 耐風圧強度（ ） pa 電動式の場合の安全装置 ・ 障害物感知装置の設置箇所 ・ 図示による ・ スラットの材質の種類 ・ JIS G 3312(塗装亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量 ※ Z06 又はF06 ・ JIS G 3322(塗装溶融 55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量 ※ AZ90 スラットの種類 ・ インターロッキング形 ・ オーバーラッピング形	17 カーテンウォール工事	3 P Cカーテンウォール	ただし、防火戸は建築基準法に基づく防火性能を有するものとする。 板ガラスをはめ込む溝の大きさ 標準仕様書 16.14.3 以外のアルミニウム製建具及び板ガラスの場合は、 （社）日本建築学会 JASS 17 ガラス工事「3.1納まり寸法標準」によるほか、 性能値が確認できる資料を監督員に提出し、承諾を受ける。 <table><tr><th>名 称</th><th>種 類</th><th>張り面</th><th>性能値</th></tr><tr><td>※ガラス飛散防止フィルム</td><td>第2種</td><td>※ 内張り・外張り</td><td>飛散防止率 D1</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="4">品質 JIS A 5759による</td></tr></table> 性能 <table><tr><th rowspan="2">耐風 圧性</th><th colspan="2">耐震性</th><th rowspan="2">水密性</th><th rowspan="2">気密性</th><th rowspan="2">耐火性</th><th>耐温度</th><th rowspan="2">遮音性</th><th rowspan="2">断熱性</th></tr><tr><th>水平 方向（kH）</th><th>垂直 方向（kV）</th><th>差性 （℃）</th></tr><tr><td></td><td>・ 1.0 ・</td><td>・ 0.5 ・</td><td></td><td></td><td>・ 30分 ・ 1時間</td><td>・ 80 ・ 70 ・ 60</td><td></td><td></td></tr></table> 性能の確認方法及び判定方法 ※ 性能の確認及び判定方法が確認できる適切な資料	名 称	種 類	張り面	性能値	※ガラス飛散防止フィルム	第2種	※ 内張り・外張り	飛散防止率 D1									品質 JIS A 5759による				耐風 圧性	耐震性		水密性	気密性	耐火性	耐温度	遮音性	断熱性	水平 方向（kH）	垂直 方向（kV）	差性 （℃）		・ 1.0 ・	・ 0.5 ・			・ 30分 ・ 1時間	・ 80 ・ 70 ・ 60																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
名 称	種 類	張り面	性能値																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
※ガラス飛散防止フィルム	第2種	※ 内張り・外張り	飛散防止率 D1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
品質 JIS A 5759による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
耐風 圧性	耐震性		水密性	気密性	耐火性	耐温度	遮音性	断熱性																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	水平 方向（kH）	垂直 方向（kV）				差性 （℃）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	・ 1.0 ・	・ 0.5 ・			・ 30分 ・ 1時間	・ 80 ・ 70 ・ 60																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
10 木製建具	建具材の加工、組立時の含水率 ※ A種 ・ B種 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ 枠、くつずりの材料 ① 建具表による ② フラッシュ戸 <table><tr><th colspan="3">表面材の合板の種類</th></tr><tr><th>合板の種類</th><th>表面材の品質等</th><th>備 考</th></tr><tr><td>① 普通合板</td><td>接着の程度 ※水掛り箇所1類、その他2類以上 ・ 板面の品質 ※広葉樹1等 ・（ ）</td><td></td></tr><tr><td>・ 天然木化粧合板</td><td>接着の程度 ※水掛り箇所1類、その他2類以上 ・（ ）</td><td></td></tr><tr><td>・ 特殊加工化粧合板</td><td>接着の程度 ※水掛り箇所1類、その他2類以上 ・（ ）</td><td></td></tr><tr><td>② ポリエステル化粧合板</td><td>表表面の状態による区分（ ） 曲げ強さによる区分（ ） 接着剤による区分（ ） 難燃性による区分（ ） ・（ ）</td><td></td></tr><tr><td>・ ミディアムデンシティ ファイバーボード （MDF）</td><td></td><td></td></tr></table> 表面材の材料のホルムアルデヒド放散量 ※ 標準仕様書 16.7.2(イ)(a)による 表面板の厚さ ※標準仕様書 表 16.7.6による ③ 4.0（ポリエステル化粧合板） 引戸の定規線 ・ 召し合せかまちを、いんろう付きとする ・ かまち戸 かまち樹種（ ） 鏡板樹種（ ） 見込み寸法 ※ 36mm ・ 建具表による ふすま 種別、工法 ・ I型 ・ II型 上張り ・ 鳥の子 ・ 新鳥の子又はビニル紙程度 綿仕上 ・ 塗り織 ・ 生地織（素地） ・ 生地織（ウレタンクリヤー塗装） 見込み寸法 ※ 19.5mm ・ 建具表による ・ 戸ふすま 表面材の種類、品質等（ ） 見込み寸法 ※ 30mm ・ 建具表による ・ 紙張り障子 見込み寸法 ※ 30mm ・ 建具表による	表面材の合板の種類			合板の種類	表面材の品質等	備 考	① 普通合板	接着の程度 ※水掛り箇所1類、その他2類以上 ・ 板面の品質 ※広葉樹1等 ・（ ）		・ 天然木化粧合板	接着の程度 ※水掛り箇所1類、その他2類以上 ・（ ）		・ 特殊加工化粧合板	接着の程度 ※水掛り箇所1類、その他2類以上 ・（ ）		② ポリエステル化粧合板	表表面の状態による区分（ ） 曲げ強さによる区分（ ） 接着剤による区分（ ） 難燃性による区分（ ） ・（ ）		・ ミディアムデンシティ ファイバーボード （MDF）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
表面材の合板の種類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
合板の種類	表面材の品質等	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
① 普通合板	接着の程度 ※水掛り箇所1類、その他2類以上 ・ 板面の品質 ※広葉樹1等 ・（ ）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
・ 天然木化粧合板	接着の程度 ※水掛り箇所1類、その他2類以上 ・（ ）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
・ 特殊加工化粧合板	接着の程度 ※水掛り箇所1類、その他2類以上 ・（ ）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
② ポリエステル化粧合板	表表面の状態による区分（ ） 曲げ強さによる区分（ ） 接着剤による区分（ ） 難燃性による区分（ ） ・（ ）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
・ ミディアムデンシティ ファイバーボード （MDF）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						

工事名称	万崎建替公営住宅第二期建設工事		
図面名称	特記仕様書（No 8）		
A 3縮尺	—	A 1縮尺	—
堺市 建築都市局 建築部	図面番号	A／008	

17

カーテンウォール工事

18

① 材料

18

② 素地ごしらえ

18

③ 錆止め塗料塗り

18

④ 塗装

形状及び仕上げ
製品の見え掛り部の寸法許容差
※ 標準仕様書 表 17.3.1による
・ 上記以外
辺長 (mm)、対角線長の差 (mm)
版厚 (mm)
開口部内法寸法 (mm)、ねじれ、そり (mm)
曲がり (mm)、面の凸凹 (mm)
先付け金物の位置 (mm)
カーテンウォールの仕上げ
構造がスケルトを用いる場合のアンカー溝の寸法及び寸法許容差 (mm)
・ 図示による
製作
配筋 ・ 図示による
取付け
躯体付け金物の取付け位置の寸法許容差
※ 標準仕様書 表 17.2.2による
・ 図示による
カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差
※ 標準仕様書 表 17.3.2による
・ 図示による
ガラスの取付け方法
・

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量
※ F☆☆☆☆
・
① 防火材料
・ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする
・ 次の箇所を除き防火材料とする (箇所：)
種別
下地面等
木部
鉄鋼面
亜鉛めっき鋼面
モルタル面及びせっこうブラスター面
コンクリート面 (DP以外) 及びALCパネル面
コンクリート面 (DP) の場合
押出成形セメント板面
せっこうボード面
及び
その他ボード面
種別
下地面等
鉄鋼面 (JIS K 5674)
見え隠れ部分
亜鉛めっき鋼面 (JPMs 28)
鋼製建具等
鋼製建具以外
種別
塗 装
① 合成樹脂調合ペイント塗り (SOP)
・ クリアラッカー塗り (CL)
・ アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り (NAD)
① 耐候性塗料塗り (DP)
種別
塗 装
① 合成樹脂調合ペイント塗り (SOP)
・ クリアラッカー塗り (CL)
・ アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り (NAD)
① 耐候性塗料塗り (DP)

⑤ 塗装

18

⑤ 防食用塗料塗り

18

⑥ 塗装業者

18

7 その他

19

① 接着剤等

19

② ビニル床シート

19

3 ビニル床タイル

19

4 特殊機能床

19

⑤ ビニル幅木

19

6 ゴム床タイル

19

7 カーペット敷き

19

⑧ 合成樹脂塗床

19

9 フローリング張り

種類
色柄
厚さ (mm)
寸法 (mm)
・ 織じゅうたん
織り方
・ ウィルトンカーペット
・ ダブルフェースカーペット
・ アキスミンスターカーペット
色柄、バイル系の種類等
※ 色柄は模様のない無地のもの
種別
下敷き材
※ JIS L 3204 (反毛フェルト) の第2種2号 呼び厚さ 8mm
・
見切り、押え金物
・ 適用する (材質、形状等
・ 適用しない
織じゅうたんの接合方法
※ ヒートボンド工法
・
・ タフテッドカーペット
バイル形状 バイル長 (mm)
・ カットバイル
・ ループバイル
・ カット・ループ併用
・
下敷き材 (グリッパ―工法の場合)
※ JIS L 3204 (反毛フェルト) の第2種2号 呼び厚さ 8mm
・
見切り、押え金物
・ 適用する (材質、形状等
・ 適用しない
・ タイルカーペット
種類 バイル形状 寸法 (mm) 総厚さ (mm) 施工箇所 備考
※ 第一種
・ 第二種
・ 第一種
・ 第二種
・ 第一種
・ 第二種
見切り、押え金物
・ 適用する (材質、形状等
・ 適用しない
タイルカーベットの敷き方
平場
階段部分
合成樹脂塗床材のホルムアルデヒド放散量
※ F☆☆☆☆
種類
・ 厚膜型塗床材 (弾性ウレタン樹脂系塗床材)
・ 厚膜型塗床材 (エポキシ樹脂塗床材)
・ 薄膜型塗床材 (エポキシ樹脂塗床材)
・
フローリングのホルムアルデヒド放散量
※ 標準仕様書 19.5.2 (2) による
単層フローリング
種類 工 法 樹種 厚さ、幅及び長さ
・ フローリングボード 1等
・
・
・
・ フローリングブロック 1等

種類
色柄
厚さ (mm)
寸法 (mm)
① つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G)
① ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)
・ スティン塗り
・ 木材保護塗料塗り (WP)
塗料の種類等
クリヤラッカー塗り (CL)
種別がA種の場合における、標準仕様書 表 18.5.1の工程2
・ 塗料の種類 ()
耐候性塗料塗り (DP)
上塗り塗料の等級
鉄鋼面
亜鉛めっき鋼面
ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)
標準仕様書 表 18.10.1の工程1の着色
オイルスティン塗り (OS)
材質 水性アクリル系樹脂塗料 (※標準色
仕上種別 コーティング (ローラー刷毛塗り)
塗布量 主材2回塗りとし、総塗布量は 0.25kg/m2以上とする
・ 日本塗装工業会の会員
・ 下、中、上塗りは色を変えること
接着剤のホルムアルデヒド放散量
※ F☆☆☆☆
施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合のゴム床タイル用接着剤の主成分による区分
・ 図示による
・
下地の施工
標準仕様書 表 19.2.3 (1) (ア) から (ウ) 以外の下地の工法
・ 図示による
・
材料
種類 JISの記号 色 柄 厚さ (mm)
① 発泡層のないもの
① 発泡層のあるもの
工法
工法
材料
種類の記号 色柄 寸法 (mm) 厚さ (mm) 備考
※KT (コンポジションビニル床タイル)
・ TT (単層ビニル床タイル)
・ FT (複層ビニル床タイル)
・ FOA (覆敷きビニル床タイル)
・ FOB (薄型覆敷きビニル床タイル)
材料
シート・タイルの種類 種類 性能 厚さ、寸法、形状 (mm)
・ 帯電防止床シート
・ 帯電防止床タイル
・ 視覚障害者用床タイル
・ 耐動荷重性床シート
・ 防滑性床シート
・ 防滑性床タイル
※ 1 体積抵抗値 (JIS K 6911による) 1.0×10¹⁰Ω以下又は漏えい抵抗値 (JIS A 1454による) 1.0×10¹⁰Ω未満
材質の種類
高さ (mm)
厚さ (mm)
材質の種類
高さ (mm)
厚さ (mm)

⑤ 合成樹脂塗床

⑤ 合成樹脂塗床

⑤ 合成樹脂塗床

19

⑨ フローリング張り

19

⑩ 畳敷き

19

11 ポリスチレンフォーム床下地材

19

⑫ セッコウボード、その他ボード及び合板張り

2025. 5. 改訂

堺市 建築都市局 建築部

図面番号

A/009

特記仕様書 [営繕編]

No.10

章 項 目		特 記 事 項		章 項 目		特 記 事 項		章 項 目		特 記 事 項	
19 内 装 工 事	13 壁紙張り	MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ボード表面への化粧張仕上の有無 ・有り(種類: 天井のボードの重ね張りの張り付け方法(ロックウール吸音板を除く) (せっこうボードの目地工法 種類 ・図示(仕上げ表)による ○突き付け工法 せっこうボードのエッジの種類 ・図示による ○ペベルエッジ 材料		種類 ・図示(仕上げ表)による ○突き付け工法 せっこうボードのエッジの種類 ・図示による ○ペベルエッジ 材料		種類 ・図示(仕上げ表)による ○突き付け工法 せっこうボードのエッジの種類 ・図示による ○ペベルエッジ 材料		種類 ・図示(仕上げ表)による ○突き付け工法 せっこうボードのエッジの種類 ・図示による ○ペベルエッジ 材料		種類 ・図示(仕上げ表)による ○突き付け工法 せっこうボードのエッジの種類 ・図示による ○ペベルエッジ 材料	
		合板のホルムアルデヒド放散量 ※標準仕様書 19.7.2(2)(イ)のいずれかによる 合板の張付け ・A種 ○B種 軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材 ※適用する ・適用しない		合板のホルムアルデヒド放散量 ※標準仕様書 19.7.2(2)(イ)のいずれかによる 合板の張付け ・A種 ○B種 軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材 ※適用する ・適用しない		合板のホルムアルデヒド放散量 ※標準仕様書 19.7.2(2)(イ)のいずれかによる 合板の張付け ・A種 ○B種 軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材 ※適用する ・適用しない		合板のホルムアルデヒド放散量 ※標準仕様書 19.7.2(2)(イ)のいずれかによる 合板の張付け ・A種 ○B種 軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材 ※適用する ・適用しない		合板のホルムアルデヒド放散量 ※標準仕様書 19.7.2(2)(イ)のいずれかによる 合板の張付け ・A種 ○B種 軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材 ※適用する ・適用しない	
		ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 種類		ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 種類		ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 種類		ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 種類		ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 種類	
		施工箇所		施工箇所		施工箇所		施工箇所		施工箇所	
		図示による		図示による		図示による		図示による		図示による	
		施工		施工		施工		施工		施工	
		モルタル面及びプラスター面の吸込止めの塗布等の素地ごしらえ ※B種 ・A種 コンクリート面の吸込止めの塗布等の素地ごしらえ ※B種 ・A種 せっこうボード面の素地ごしらえ及び けい酸カルシウム板面の吸込止めの塗布等の素地ごしらえ ※B種 ・A種		モルタル面及びプラスター面の吸込止めの塗布等の素地ごしらえ ※B種 ・A種 コンクリート面の吸込止めの塗布等の素地ごしらえ ※B種 ・A種 せっこうボード面の素地ごしらえ及び けい酸カルシウム板面の吸込止めの塗布等の素地ごしらえ ※B種 ・A種		モルタル面及びプラスター面の吸込止めの塗布等の素地ごしらえ ※B種 ・A種 コンクリート面の吸込止めの塗布等の素地ごしらえ ※B種 ・A種 せっこうボード面の素地ごしらえ及び けい酸カルシウム板面の吸込止めの塗布等の素地ごしらえ ※B種 ・A種		モルタル面及びプラスター面の吸込止めの塗布等の素地ごしらえ ※B種 ・A種 コンクリート面の吸込止めの塗布等の素地ごしらえ ※B種 ・A種 せっこうボード面の素地ごしらえ及び けい酸カルシウム板面の吸込止めの塗布等の素地ごしらえ ※B種 ・A種		モルタル面及びプラスター面の吸込止めの塗布等の素地ごしらえ ※B種 ・A種 コンクリート面の吸込止めの塗布等の素地ごしらえ ※B種 ・A種 せっこうボード面の素地ごしらえ及び けい酸カルシウム板面の吸込止めの塗布等の素地ごしらえ ※B種 ・A種	
		断熱材		断熱材		断熱材		断熱材		断熱材	
		断熱材打込み工法		断熱材打込み工法		断熱材打込み工法		断熱材打込み工法		断熱材打込み工法	
		断熱材名		断熱材名		断熱材名		断熱材名		断熱材名	
種類(記号)		種類(記号)		種類(記号)		種類(記号)		種類(記号)			
施工箇所		施工箇所		施工箇所		施工箇所		施工箇所			
厚さ(mm)		厚さ(mm)		厚さ(mm)		厚さ(mm)		厚さ(mm)			
・ビーズ法 ポリスチレンフォーム 断熱材		・ビーズ法 ポリスチレンフォーム 断熱材		・ビーズ法 ポリスチレンフォーム 断熱材		・ビーズ法 ポリスチレンフォーム 断熱材		・ビーズ法 ポリスチレンフォーム 断熱材			
○押出法 ポリスチレンフォーム 断熱材 (スキン層なし)		○押出法 ポリスチレンフォーム 断熱材 (スキン層なし)		○押出法 ポリスチレンフォーム 断熱材 (スキン層なし)		○押出法 ポリスチレンフォーム 断熱材 (スキン層なし)		○押出法 ポリスチレンフォーム 断熱材 (スキン層なし)			
○硬質ウレタンフォーム 断熱材		○硬質ウレタンフォーム 断熱材		○硬質ウレタンフォーム 断熱材		○硬質ウレタンフォーム 断熱材		○硬質ウレタンフォーム 断熱材			
○フェノールフォーム 断熱材		○フェノールフォーム 断熱材		○フェノールフォーム 断熱材		○フェノールフォーム 断熱材		○フェノールフォーム 断熱材			
フェノールフォームを使用した断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ・A種1 ・A種1H 吹付け厚さ(mm) ・25 ・30 施工箇所 ・図示による ○グラスウール 24kg/m ³ 施工箇所:最上階天井裏 厚さ 50mm ○次世代省エネ基準を満足すること(住宅性能表示 等級4)		フェノールフォームを使用した断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ・A種1 ・A種1H 吹付け厚さ(mm) ・25 ・30 施工箇所 ・図示による ○グラスウール 24kg/m ³ 施工箇所:最上階天井裏 厚さ 50mm ○次世代省エネ基準を満足すること(住宅性能表示 等級4)		フェノールフォームを使用した断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ・A種1 ・A種1H 吹付け厚さ(mm) ・25 ・30 施工箇所 ・図示による ○グラスウール 24kg/m ³ 施工箇所:最上階天井裏 厚さ 50mm ○次世代省エネ基準を満足すること(住宅性能表示 等級4)		フェノールフォームを使用した断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ・A種1 ・A種1H 吹付け厚さ(mm) ・25 ・30 施工箇所 ・図示による ○グラスウール 24kg/m ³ 施工箇所:最上階天井裏 厚さ 50mm ○次世代省エネ基準を満足すること(住宅性能表示 等級4)		フェノールフォームを使用した断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ・A種1 ・A種1H 吹付け厚さ(mm) ・25 ・30 施工箇所 ・図示による ○グラスウール 24kg/m ³ 施工箇所:最上階天井裏 厚さ 50mm ○次世代省エネ基準を満足すること(住宅性能表示 等級4)			
市販品		市販品		市販品		市販品		市販品			
材 質		材 質		材 質		材 質		材 質			
表面仕上げ		表面仕上げ		表面仕上げ		表面仕上げ		表面仕上げ			
性能		性能		性能		性能		性能			
幅(mm)		幅(mm)		幅(mm)		幅(mm)		幅(mm)			
備 考		備 考		備 考		備 考		備 考			
※アルミニウム製		※アルミニウム製		※アルミニウム製		※アルミニウム製		※アルミニウム製			
※硬質塩ビ製		※硬質塩ビ製		※硬質塩ビ製		※硬質塩ビ製		※硬質塩ビ製			
○ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイルのはがれについて ・アリーナ床材の置床式及び組床式の音鳴り等について 受注者、施工者、製造者の3者連名による保証書を提出すること 保証年限 5年		○ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイルのはがれについて ・アリーナ床材の置床式及び組床式の音鳴り等について 受注者、施工者、製造者の3者連名による保証書を提出すること 保証年限 5年		○ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイルのはがれについて ・アリーナ床材の置床式及び組床式の音鳴り等について 受注者、施工者、製造者の3者連名による保証書を提出すること 保証年限 5年		○ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイルのはがれについて ・アリーナ床材の置床式及び組床式の音鳴り等について 受注者、施工者、製造者の3者連名による保証書を提出すること 保証年限 5年		○ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイルのはがれについて ・アリーナ床材の置床式及び組床式の音鳴り等について 受注者、施工者、製造者の3者連名による保証書を提出すること 保証年限 5年			
15 浴室天井材		15 浴室天井材		15 浴室天井材		15 浴室天井材		15 浴室天井材			
16 保証書		16 保証書		16 保証書		16 保証書		16 保証書			
○ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイルのはがれについて ・アリーナ床材の置床式及び組床式の音鳴り等について 受注者、施工者、製造者の3者連名による保証書を提出すること 保証年限 5年		○ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイルのはがれについて ・アリーナ床材の置床式及び組床式の音鳴り等について 受注者、施工者、製造者の3者連名による保証書を提出すること 保証年限 5年		○ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイルのはがれについて ・アリーナ床材の置床式及び組床式の音鳴り等について 受注者、施工者、製造者の3者連名による保証書を提出すること 保証年限 5年		○ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイルのはがれについて ・アリーナ床材の置床式及び組床式の音鳴り等について 受注者、施工者、製造者の3者連名による保証書を提出すること 保証年限 5年		○ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイルのはがれについて ・アリーナ床材の置床式及び組床式の音鳴り等について 受注者、施工者、製造者の3者連名による保証書を提出すること 保証年限 5年			
19 内装工事		19 内装工事		19 内装工事		19 内装工事		19 内装工事			
20 ユニ ット 及 び そ の 他 の 工 事		20 ユニ ット 及 び そ の 他 の 工 事		20 ユニ ット 及 び そ の 他 の 工 事		20 ユニ ット 及 び そ の 他 の 工 事		20 ユニ ット 及 び そ の 他 の 工 事			
1 フリーアクセスフロア		1 フリーアクセスフロア		1 フリーアクセスフロア		1 フリーアクセスフロア		1 フリーアクセスフロア			
2 可動間仕切		2 可動間仕切		2 可動間仕切		2 可動間仕切		2 可動間仕切			
3 移動間仕切		3 移動間仕切		3 移動間仕切		3 移動間仕切		3 移動間仕切			
4 トイレブース		4 トイレブース		4 トイレブース		4 トイレブース		4 トイレブース			
5 手すり		5 手すり		5 手すり		5 手すり		5 手すり			
6 階段滑り止め		6 階段滑り止め		6 階段滑り止め		6 階段滑り止め		6 階段滑り止め			
7 黒板及びホワイトボード		7 黒板及びホワイトボード		7 黒板及びホワイトボード		7 黒板及びホワイトボード		7 黒板及びホワイトボード			
8 鏡		8 鏡		8 鏡		8 鏡		8 鏡			
9 表示		9 表示		9 表示		9 表示		9 表示			
10 タラップ		10 タラップ		10 タラップ		10 タラップ		10 タラップ			
11 煙突ライニング		11 煙突ライニング		11 煙突ライニング		11 煙突ライニング		11 煙突ライニング			
12 ブラインド		12 ブラインド		12 ブラインド		12 ブラインド		12 ブラインド			
13 ロールスクリーン		13 ロールスクリーン		13 ロールスクリーン		13 ロールスクリーン		13 ロールスクリーン			
14 カーテン		14 カーテン		14 カーテン		14 カーテン		14 カーテン			
15 カーテンレール		15 カーテンレール		15 カーテンレール		15 カーテンレール		15 カーテンレール			
16 間知石及びコンクリート間知ブロック積み		16 間知石及びコンクリート間知ブロック積み		16 間知石及びコンクリート間知ブロック積み		16 間知石及びコンクリート間知ブロック積み		16 間知石及びコンクリート間知ブロック積み			
17 ブラインドボックス及びカーテンボックス		17 ブラインドボックス及びカーテンボックス		17 ブラインドボックス及びカーテンボックス		17 ブラインドボックス及びカーテンボックス		17 ブラインドボックス及びカーテンボックス			
18 天井点検口		18 天井点検口		18 天井点検口		18 天井点検口		18 天井点検口			
19 床点検口		19 床点検口		19 床点検口		19 床点検口		19 床点検口			
20 耐震スリット		20 耐震スリット		20 耐震スリット		20 耐震スリット		20 耐震スリット			
21 止水板		21 止水板		21 止水板		21 止水板		21 止水板			
22 エキスパンションジョイント金物		22 エキスパンションジョイント金物		22 エキスパンションジョイント金物		22 エキスパンションジョイント金物		22 エキスパンションジョイント金物			
23 くつふきマット		23 くつふきマット		23 くつふきマット		23 くつふきマット		23 くつふきマット			
24 流し台ユニット		24 流し台ユニット		24 流し台ユニット		24 流し台ユニット		24 流し台ユニット			
25 旗竿		25 旗竿		25 旗竿		25 旗竿		25 旗竿			
26 旗竿受金物		26 旗竿受金物		26 旗竿受金物		26 旗竿受金物		26 旗竿受金物			
27 旗竿受金物		27 旗竿受金物		27 旗竿受金物		27 旗竿受金物		27 旗竿受金物			
28 旗竿受金物		28 旗竿受金物		28 旗竿受金物		28 旗竿受金物		28 旗竿受金物			
29 旗竿受金物		29 旗竿受金物		29 旗竿受金物		29 旗竿受金物		29 旗竿受金物			
30 旗竿受金物		30 旗竿受金物		30 旗竿受金物		30 旗竿受金物		30 旗竿受金物			
31 旗竿受金物		31 旗竿受金物		31 旗竿受金物		31 旗竿受金物		31 旗竿受金物			
32 旗竿受金物		32 旗竿受金物		32 旗竿受金物		32 旗竿受金物		32 旗竿受金物			
33 旗竿受金物		33 旗竿受金物		33 旗竿受金物		33 旗竿受金物		33 旗竿受金物			
34 旗竿受金物		34 旗竿受金物		34 旗竿受金物		34 旗竿受金物		34 旗竿受金物			
35 旗竿受金物		35 旗竿受金物		35 旗竿受金物		35 旗竿受金物		35 旗竿受金物			
36 旗竿受金物		36 旗竿受金物		36 旗竿受金物		36 旗竿受金物		36 旗竿受金物			
37 旗竿受金物		37 旗竿受金物		37 旗竿受金物		37 旗竿受金物		37 旗竿受金物			
38 旗竿受金物		38 旗竿受金物		38 旗竿受金物		38 旗竿受金物		38 旗竿受金物			
39 旗竿受金物		39 旗竿受金物		39 旗竿受金物		39 旗竿受金物		39 旗竿受金物			
40 旗竿受金物		40 旗竿受金物		40 旗竿受金物		40 旗竿受金物		40 旗竿受金物			
41 旗竿受金物		41 旗竿受金物		41 旗竿受金物		41 旗竿受金物		41 旗竿受金物			
42 旗竿受金物		42 旗竿受金物		42 旗竿受金物		42 旗竿受金物		42 旗竿受金物			
43 旗竿受金物		43 旗竿受金物		43 旗竿受金物		43 旗竿受金物		43 旗竿受金物			
44 旗竿受金物		44 旗竿受金物		44 旗竿受金物		44 旗竿受金物		44 旗竿受金物			
45 旗竿受金物		45 旗竿受金物		45 旗竿受金物		45 旗竿受金物		45 旗竿受金物			
46 旗竿受金物		46 旗竿受金物		46 旗竿受金物		46 旗竿受金物		46 旗竿受金物			
47 旗竿受金物		47 旗竿受金物		47 旗竿受金物		47 旗竿受金物		47 旗竿受金物			
48 旗竿受金物		48 旗竿受金物		48 旗竿受金物		48 旗竿受金物		48 旗竿受金物			
49 旗竿受金物		49 旗竿受金物		49 旗竿受金物		49 旗竿受金物		49 旗竿受金物			
50 旗竿受金物		50 旗竿受金物		50 旗竿受金物		50 旗竿受金物		50 旗竿受金物			
51 旗竿受金物		51 旗竿受金物		51 旗竿受金物		51 旗竿受金物		51 旗竿受金物			
52 旗竿受金物		52 旗竿受金物		52 旗竿受金物		52 旗竿受金物		52 旗竿受金物			
53 旗竿受金物		53 旗竿受金物		53 旗竿受金物		53 旗竿受金物		53 旗竿受金物			
54 旗竿受金物		54 旗竿受金物		54 旗竿受金物		54 旗竿受金物		54 旗竿受金物			
55 旗竿受金物		55 旗竿受金物		55 旗竿受金物		55 旗竿受金物		55 旗竿受金物			
56 旗竿受金物		56 旗竿受金物		56 旗竿受金物		56 旗竿受金物		56 旗竿受金物			
57 旗竿受金物		57 旗竿受金物		57 旗竿受金物		57 旗竿受金物		57 旗竿受金物			
58 旗竿受金物		58 旗竿受金物		58 旗竿受金物		58 旗竿受金物		58 旗竿受金物			
59 旗竿受金物		59 旗竿受金物		59 旗竿受金物		59 旗竿受金物		59 旗竿受金物			
60 旗竿受金物		60 旗竿受金物		60 旗竿受金物		60 旗竿受金物		60 旗竿受金物			
61 旗竿受金物		61 旗竿受金物		61 旗竿受金物		61 旗竿受金物		61 旗竿受金物			
62 旗竿受金物		62 旗竿受金物		62 旗竿受金物		62 旗竿受金物		62 旗竿受金物			
63 旗竿受金物		63 旗竿受金物		63 旗竿受金物		63 旗竿受金物		63 旗竿受金物			
64 旗竿受金物		64 旗竿受金物		64 旗竿受金物		64 旗竿受金物		64 旗竿受金物			
65 旗竿受金物		65 旗竿受金物		65 旗竿受金物		65 旗竿受金物		65 旗竿受金物			
66 旗竿受金物		66 旗竿受金物		66 旗竿受金物		66 旗竿受金物		66 旗竿受金物			
67 旗竿受金物		67 旗竿受金物		67 旗竿受金物		67 旗竿受金物		67 旗竿受金物			
68 旗竿受金物		68 旗竿受金物		68 旗竿受金物		68 旗竿受金物		68 旗竿受金物			
69 旗竿受金物		69 旗竿受金物		69 旗竿受金物		69 旗竿受金物		69 旗竿受金物			
70 旗竿受金物		70 旗竿受金物		70 旗竿受金物		70 旗竿受金物		70 旗竿受金物			
71 旗竿受金物		71 旗竿受金物		71 旗竿受金物		71 旗竿受金物		71 旗竿受金物			
72 旗竿受金物		72 旗竿受金物		72 旗竿受金物		72 旗竿受金物		72 旗竿受金物			
73 旗竿受金物		73 旗竿受金物		73 旗竿受金物		73 旗竿受金物		73 旗竿受金物			
74 旗竿受金物		74 旗竿受金物		74 旗竿受金物		74 旗竿受金物		74 旗竿受金物			
75 旗竿受金物		75 旗竿受金物		75 旗竿受金物		75 旗竿受金物		75 旗竿受金物			
76 旗竿受金物		76 旗竿受金物		76 旗竿受金物		76 旗竿受金物		76 旗竿受金物			
77 旗竿受金物		77 旗竿受金物		77 旗竿受金物		77 旗竿受金物		77 旗竿受金物			
78 旗竿受金物		78 旗竿受金物		78 旗竿受金物		78 旗竿受金物		78 旗竿受金物			
79 旗竿受金物		79 旗竿受金物		79 旗竿受金物		79 旗竿受金物		79 旗竿受金物			
80 旗竿受金物		80 旗竿受金物		80 旗竿受金物		80 旗竿受金物		80 旗竿受金物			
81 旗竿受金物		81 旗竿受金物		81 旗竿受金物		81 旗竿受金物		81 旗竿受金物			
82 旗竿受金物		82 旗竿受金物		82 旗竿受金物		82 旗竿受金物		82 旗竿受金物			
83 旗竿受金物		83 旗竿受金物		83 旗竿受金物		83 旗竿受金物		83 旗竿受金物			
84 旗竿受金物		84 旗竿受金物		84 旗竿受金物		84 旗竿受金物		84 旗竿受金物			
85 旗竿受金物		85 旗竿受金物		85 旗竿受金物		85 旗竿受金物		85 旗竿受金物			
86 旗竿受金物		86 旗竿受金物		86 旗竿受金物		86 旗竿受金物		86 旗竿受金物			
87 旗竿受金物		87 旗竿受金物		87 旗竿受金物		87 旗竿受金物		87 旗竿受金物			
88 旗竿受金物		88 旗竿受金物		88 旗竿受金物		88 旗竿受金物		88 旗竿受金物			
89 旗竿受金物		89 旗竿受金物		89 旗竿受金物		89 旗竿受金物		89 旗竿受金物			
90 旗竿受金物		90 旗竿受金物		90 旗竿受金物		90 旗竿受金物		90 旗竿受金物			
91 旗竿受金物		91 旗竿									

特記仕様書 [営繕編]

No.11

章		項 目		特 記 事 項		章		項 目		特 記 事 項																																										
20 ユニット及びその他工事	27	車止め支柱	<table><tr><th>形 式</th><th>材 種</th><th>柱径・肉厚 (mm)</th><th>高さ (mm)</th></tr><tr><td>・ 上下式鎮内蔵型</td><td>○ 標準品</td><td>○ ステンレス製</td><td>○ φ60.5</td></tr><tr><td>○ 脱着式</td><td>・ スプリング式</td><td>・</td><td>1.5 t</td></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>			形 式	材 種	柱径・肉厚 (mm)	高さ (mm)	・ 上下式鎮内蔵型	○ 標準品	○ ステンレス製	○ φ60.5	○ 脱着式	・ スプリング式	・	1.5 t	・				21 排水工事	22 舗装工事	23 植栽及び屋上緑化工事	⑥	透水性アスファルト舗装	舗装の構成 ※ 図示による 材料 アスファルト ※再生アスファルト (・ 60～80 ・ 80～100) ○ 図示による ・ ストレートアスファルト 試験 間粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・ 行う ○ 行わない 舗装の平たん性 ※著しい不陸がないもの ・																									
	形 式	材 種	柱径・肉厚 (mm)	高さ (mm)																																																
	・ 上下式鎮内蔵型	○ 標準品	○ ステンレス製	○ φ60.5																																																
	○ 脱着式	・ スプリング式	・	1.5 t																																																
	・																																																			
	28	フェンス	フェンスの種類 ・ ビニル被覆エキスパンドフェンス ○ 樹脂塗装メッシュフェンス ・ 鋼管フェンス ・ アルミフェンス 高さ ・ 図示による ・			7	ブロック系舗装	・ コンクリート平板舗装 <table><tr><th>種 類</th><th>寸法 (mm)</th><th>厚さ (mm)</th><th>目地材</th></tr><tr><td>・ 普通平板 (N)</td><td>・ 300角</td><td>※ 60</td><td>・ 砂</td></tr><tr><td>・ 透水性平板 (P)</td><td>・</td><td>・</td><td>・ モルタル</td></tr><tr><td>・ 保水性平板 (M)</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr></table> クッション材 ・ 砂 ・ 空練モルタル 仕上がり面の平たん性 ※コンクリート平板間の段差 3mm以内 ・ インターロッキングブロック舗装 <table><tr><th>種 類</th><th>部位</th><th>形状、寸法</th><th>厚さ (mm)</th><th>曲げ強度 (N/mm2)</th><th>色彩、表面加工等</th></tr><tr><td>※ 普通ブロック (N)</td><td>車路</td><td>・ 図示</td><td>※ 80</td><td>※ 5.0</td><td>・ 標準品</td></tr><tr><td>・ 透水性ブロック (P)</td><td>歩行者用通路</td><td>・ 図示</td><td>※ 60</td><td>※ 3.0</td><td>・</td></tr><tr><td>・ 保水性ブロック (M)</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> インターロッキングブロックの割付け ・ 図示による 仕上がり面の平たん性 ※インターロッキングブロック間の段差 3mm以内		種 類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	目地材	・ 普通平板 (N)	・ 300角	※ 60	・ 砂	・ 透水性平板 (P)	・	・	・ モルタル				・ 保水性平板 (M)	・	・	・	種 類	部位	形状、寸法	厚さ (mm)	曲げ強度 (N/mm2)	色彩、表面加工等	※ 普通ブロック (N)	車路	・ 図示	※ 80	※ 5.0	・ 標準品	・ 透水性ブロック (P)	歩行者用通路	・ 図示	※ 60	※ 3.0	・	・ 保水性ブロック (M)					
	種 類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	目地材																																																
	・ 普通平板 (N)	・ 300角	※ 60	・ 砂																																																
	・ 透水性平板 (P)	・	・	・ モルタル																																																
	・ 保水性平板 (M)	・	・	・																																																
種 類	部位	形状、寸法	厚さ (mm)	曲げ強度 (N/mm2)	色彩、表面加工等																																															
※ 普通ブロック (N)	車路	・ 図示	※ 80	※ 5.0	・ 標準品																																															
・ 透水性ブロック (P)	歩行者用通路	・ 図示	※ 60	※ 3.0	・																																															
・ 保水性ブロック (M)																																																				
29	鋼製書架及び物品棚	<table><tr><th>種 類</th><th>規格等</th><th>耐荷重による種類</th></tr><tr><td>・ 鋼製書架</td><td rowspan="2">JIS S 1039による</td><td>・ 1種 ・ 2種 ・ 3種</td></tr><tr><td>・ 鋼製物品棚</td><td>・ 4種 ・ 5種 ・ 6種 ・</td></tr></table>			種 類	規格等	耐荷重による種類	・ 鋼製書架	JIS S 1039による	・ 1種 ・ 2種 ・ 3種	・ 鋼製物品棚	・ 4種 ・ 5種 ・ 6種 ・	8	砂利敷き	種別 通路 ※ A種 ・ 図示による 建築物周囲その他 ※ B種 ・ 図示による (・) ・																																					
種 類	規格等	耐荷重による種類																																																		
・ 鋼製書架	JIS S 1039による	・ 1種 ・ 2種 ・ 3種																																																		
・ 鋼製物品棚		・ 4種 ・ 5種 ・ 6種 ・																																																		
30	屋内掲示板	枠の材質 ※アルミニウム製 ○ステンレス製 表面の材質 ※塩ビ発泡シート張り ○ 掲示板用クロス			9	路面表示用塗料	○ 品質 JIS K 5665 による ※ 3種 1号 ○ 寸法 幅 (mm) ※ 150 厚さ (mm) ※ 1.0 ○ 450 (横断歩道) ○ 施工 溶融式																																													
31	洗面カウンター	材種 ・ メラミン樹脂化粧板張り (心材：集成材) ・ 人工大理石 奥行 (mm) ・ 約450 ・ 約600			24 排水工事	25 カラー舗装	26 工事	27 万崎建替公営住宅第二期建設工事																																												
32	防煙垂れ壁	・ 固定式 <table><tr><th>材 質</th><th>厚さ (mm)</th><th>高さ (mm)</th><th>備 考</th></tr><tr><td>※納入り磨き板ガラス</td><td>※ 6.8</td><td>※ 500</td><td>アルミ製枠付き</td></tr><tr><td>・ 納入り磨き板ガラス</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr></table> ・ 可動式 <table><tr><th>種 類</th><th>材 質</th><th>高さ (mm)</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・ 垂直降下式 (巻取り型)</td><td>※不燃布 (不燃認定品))</td><td>※ 500 ・ 800</td><td>ガイドレール ※固定式 (壁埋込み型)</td></tr><tr><td>・ 回転降下式</td><td>鋼板製又はアルミ製</td><td>※ 500 ・ 800</td><td>表面仕上げ ・ 天井材張り ・</td></tr></table> 降下機構 煙感知器運動及び手動開放装置 (埋込み型)							材 質	厚さ (mm)	高さ (mm)	備 考	※納入り磨き板ガラス	※ 6.8	※ 500	アルミ製枠付き	・ 納入り磨き板ガラス	・	・	・	種 類	材 質	高さ (mm)	備 考	・ 垂直降下式 (巻取り型)	※不燃布 (不燃認定品))	※ 500 ・ 800	ガイドレール ※固定式 (壁埋込み型)	・ 回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※ 500 ・ 800	表面仕上げ ・ 天井材張り ・																				
材 質	厚さ (mm)	高さ (mm)	備 考																																																	
※納入り磨き板ガラス	※ 6.8	※ 500	アルミ製枠付き																																																	
・ 納入り磨き板ガラス	・	・	・																																																	
種 類	材 質	高さ (mm)	備 考																																																	
・ 垂直降下式 (巻取り型)	※不燃布 (不燃認定品))	※ 500 ・ 800	ガイドレール ※固定式 (壁埋込み型)																																																	
・ 回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※ 500 ・ 800	表面仕上げ ・ 天井材張り ・																																																	
33	収納家具	材質形状・寸法 ※ 図示による ・ 合板、集成材、MDF、パーティクルボード等のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・																																																		
34	屋外掲示板 (広場)	照明器具 ※有り ○ 無し 施設 ※有り ○ 無し																																																		
35	敷地境界石標	種類 ※コンクリートブロック製 (市販品) ・ 花こう石類 (文字記号等入り)																																																		
36	キャストابل耐火物	工法 ※こて押さえ 最高使用温度 ※ 400℃ 製造所 監督員の承諾する製造所																																																		
37	かき箱	市販品 形式 ・ 30組用 ○ 60組用×3 ・ 120組用																																																		
38	誘導路及び注意喚起用床材	屋内 ※ 塩化ビニル製 ・ 磁器又はせっ器質タイル (※ 300 ・) ・ レジンコンクリート製 屋外 ※ レジンコンクリート製 ・ 磁器又はせっ器質タイル (※ 300 ・)																																																		
39	フック	SUS製 TOTO株式会社 YKH20R 同等品以上																																																		
40	壁点検口	塩ビ製 創建 WH300-6 同等品以上 ○ 図示による																																																		
41	樹脂がミ	アルミ製樹脂被覆合板 東プレ株式会社 SFシリーズ同等品以上																																																		
21 排水工事	1	屋外雨水排水	排水管用材料 <table><tr><th>材 種</th><th>種類・記号</th><th>形 状</th><th>呼び径</th><th>備考</th></tr><tr><td>・ 速心力鉄筋コンクリート管</td><td>外圧管 (1種)</td><td>・ B形管</td><td>・ 図示</td><td>・</td></tr><tr><td rowspan="2">○ 硬質ポリ塩化ビニル管</td><td>○ VP</td><td></td><td>○ 図示</td><td>・</td></tr><tr><td>○ VU</td><td></td><td>○ 図示</td><td>・</td></tr><tr><td rowspan="2">・ 硬質ポリ塩化ビニル管継手</td><td>・ RS-VU</td><td></td><td>・ 図示</td><td>・</td></tr><tr><td>・ DV</td><td></td><td>・ 図示</td><td>・</td></tr><tr><td rowspan="2"></td><td>・ VU継手</td><td></td><td>・ 図示</td><td>・</td></tr></table>			材 種	種類・記号	形 状	呼び径	備考	・ 速心力鉄筋コンクリート管	外圧管 (1種)	・ B形管	・ 図示	・	○ 硬質ポリ塩化ビニル管	○ VP		○ 図示	・	○ VU		○ 図示	・	・ 硬質ポリ塩化ビニル管継手	・ RS-VU		・ 図示	・	・ DV		・ 図示	・		・ VU継手		・ 図示	・	5	埋戻し土	2	タラップ										
材 種	種類・記号	形 状	呼び径	備考																																																
・ 速心力鉄筋コンクリート管	外圧管 (1種)	・ B形管	・ 図示	・																																																
○ 硬質ポリ塩化ビニル管	○ VP		○ 図示	・																																																
	○ VU		○ 図示	・																																																
・ 硬質ポリ塩化ビニル管継手	・ RS-VU		・ 図示	・																																																
	・ DV		・ 図示	・																																																
	・ VU継手		・ 図示	・																																																
	基礎の厚さ及び種類 ○ 図示による ・ 硬質ポリ塩化ビニル管の継手に用いる材料 ※接着剤 ・ ゴム輪 側塊の形状及び寸法 ○ 図示による ・ 排水網の種類 ○ 図示による ・ 砂地裏に用いる材料 ・ シルト ○ 山砂 ・ 川砂 ・ 砕砂 砂利地裏に用いる材料 ○ 再生クラッシャラン ・ 切込砂利 ・ 切込碎石 砂利地裏の厚さ ※ 100 (mm) ・ 図示による ○ 現場打ちの場合のコンクリート材料 ※普通コンクリート ・ 設計基準強度 ※ 18N/mm2 ○ 呼び 18N/mm2 スランブ ※ 15cm又は 18cm ・ ○ 現場打ちの場合鉄筋 種類の記号 ※ SD295 ・ 凍土抑制層に用いる材料 ・ 砂を用いる場合の粒度試験 ・ 行う ○ 行わない ・ 標準仕様書 表 3.2.1) ○ 改良土 ○ φ 22 ステンレス製 (w = 400) 現場打 (貯留槽) ○ φ 19 合成樹脂被覆加工 内法が 600mm を超え、かつ、深さ 1.2m をこえる排水網には、足掛け金物を取り付ける。			① 路床 路床の材料 <table><tr><th>種 別</th><th>材 料</th><th>厚さ (mm)</th></tr><tr><td>○ 盛土</td><td>標準仕様書 表 3.2.1により ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ○ 改良土</td><td>○ 図示</td></tr><tr><td>・ 凍土抑制層</td><td>※再生クラッシャラン ・ クラッシャラン ・ 切込み砂利 ・ 砂</td><td>・ 図示</td></tr></table> 透水性舗装に用いるフィルター層の厚さ ○ 図示による ・ 路床安定処理 ・ 適用する ○ 適用しない 安定処理の方法 ・ 置き換え工法 ・ 安定処理工法 添加材料 種類 ・ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメント B種 ・ フライアッシュセメント B種 ・ 生石灰 (・ 特号 ・ 1号) ・ 消石灰 (・ 特号 ・ 1号) 添加量を定めるために用いる CBR (・) 試験 路床土の支持力比 (CBR) 試験 ・ 行う ※ 行わない 路床締固め度の試験 (現場密度) ・ 行う ※ 行わない 現場 CBR 試験 ・ 行う ※ 行わない 路盤の厚さ ○ 図示による ・ 路盤材料 ※再生クラッシャラン ・ クラッシャラン ・ 粒度調整砕石 ※再生粒度調整砕石 ・ クラッシャラン鉄鋼スラグ ・ 粒度調整鉄鋼スラグ ・ 水硬性粒度調整鉄鋼スラグ アスファルト舗装の構成及び厚さ ※ 図示による ・ 材料 アスファルト ※再生アスファルト (・ 60～80 ・ 80～100) ・ ストレートアスファルト 加熱アスファルト混合物の種類 <table><tr><th>区 分</th><th>地 域</th><th>種 類</th></tr><tr><td rowspan="2">表層</td><td>○ 一般地域</td><td>○ 密粒度アスファルト混合物 (13) ・ 細粒度アスファルト混合物 (13)</td></tr><tr><td>・ 寒冷地域</td><td>・ 密粒度アスファルト混合物 (13F)</td></tr></table> 試験 アスファルト混合物等の抽出試験 ・ 行う ○ 行わない 舗装の平たん性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・ コンクリート舗装の厚さ <table><tr><th>舗装の種類</th><th>部 位</th><th>構 成</th><th>厚さ (mm)</th></tr><tr><td rowspan="2">コンクリート舗装</td><td>歩行者用通路</td><td>○ 図示 ・</td><td>※ 70 ○ 図示</td></tr><tr><td>車路及び駐車場</td><td>○ 図示 ・</td><td>○ 図示 ・</td></tr></table> 材料 コンクリート ※普通コンクリート、標準仕様書 表 22.5.1による ・ 図示による 早強ポルトランドセメント ・ 使用する ○ 使用しない 注入目地材料 ※低弾性タイプ ・ 高弾性タイプ 施工：目地 種類、間隔、構造 ※標準仕様書 表 22.5.3及び図 22.5.1による ・ 図示による 舗装の平たん性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・ ・ 加熱系カラー舗装 構成・厚さ ・ 図示による ・ 表層に用いる加熱系混合物の割合材 ・ アスファルト混合物 ・ 石油樹脂系混合物 顔料の添加量 (・ %) 加熱系混合物に添加する材料 ・ 着色骨材 (・) ・ 自然石 (・) アスファルト混合物の抽出試験 ・ 行う ・ 行わない ・ 常温系カラー舗装 工法 ・ ニート工法 ・ 塗布工法 着色部の下部 ・ アスファルト舗装 ・ コンクリート舗装 ニート工法及び塗布工法の配合等 ・ 舗装の平たん性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・			種 別	材 料	厚さ (mm)	○ 盛土	標準仕様書 表 3.2.1により ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ○ 改良土	○ 図示	・ 凍土抑制層	※再生クラッシャラン ・ クラッシャラン ・ 切込み砂利 ・ 砂	・ 図示	区 分	地 域	種 類	表層	○ 一般地域	○ 密粒度アスファルト混合物 (13) ・ 細粒度アスファルト混合物 (13)	・ 寒冷地域	・ 密粒度アスファルト混合物 (13F)	舗装の種類	部 位	構 成	厚さ (mm)	コンクリート舗装	歩行者用通路	○ 図示 ・	※ 70 ○ 図示	車路及び駐車場	○ 図示 ・	○ 図示 ・	工事名称 万崎建替公営住宅第二期建設工事 図面名称 特記仕様書 (No.11) A3縮尺 — A1縮尺 — 2025. 5. 改訂 堺市 建築都市局 建築部 図面番号 A / O 11																	
種 別	材 料	厚さ (mm)																																																		
○ 盛土	標準仕様書 表 3.2.1により ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ○ 改良土	○ 図示																																																		
・ 凍土抑制層	※再生クラッシャラン ・ クラッシャラン ・ 切込み砂利 ・ 砂	・ 図示																																																		
区 分	地 域	種 類																																																		
表層	○ 一般地域	○ 密粒度アスファルト混合物 (13) ・ 細粒度アスファルト混合物 (13)																																																		
	・ 寒冷地域	・ 密粒度アスファルト混合物 (13F)																																																		
舗装の種類	部 位	構 成	厚さ (mm)																																																	
コンクリート舗装	歩行者用通路	○ 図示 ・	※ 70 ○ 図示																																																	
	車路及び駐車場	○ 図示 ・	○ 図示 ・																																																	

特記仕様書 [営繕編]				No12													
章	項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項									
23	③ 植込み用土	・ 現場発生土の良質土 ○ 客土（※ 真砂土）	24	① 適用範囲	本仕様は部品工場で内装床パネル、壁パネル、天井パネル、造作材その他内装パネル及び付属部分（以下内装部品という）等を製作し、これを用いて組み立て施工する内部工事に適するものとする。	25	① 天井見切縁	材種 ○塩化ビニル製									
	④ 土壌改良材	種類、指定量 ○ バーク堆肥 施工箇所 ○ 植栽範囲 指定量 植栽基盤面積 1m2当たり（※ L ○ 5kg） ・ 汚泥発酵肥料（下水汚泥コンポスト） 施工箇所 ○ 植栽範囲 指定量 植栽基盤面積 1m2当たり（※ L ※）		② 工事範囲	内装部分は、内装プレハブ図面に記入されているものとする。 内工事における内装部品は下記による。 (a) 床パネル (物入) (b) 外周壁パネル (物入) (c) 間仕切パネル (d) 天井パネル (現場貼りも含む) (e) 造作材 (f) 付属部品 (合板 敷居すべり) (g) (h) 各種手摺補強		② 換気パイプ	材種 ○塩化ビニル製 ○ ステンレス製（１ＤＫ最上階の共用廊下部のみ） 適用パイプ ○ VU50 ○ SUS50（１ＤＫ最上階の共用廊下部のみ） 付属部品 ○ 網 ○ 井桁									
	⑤ 樹木	種類、寸法、株立数 刈込みものの適用 ○ 図示による ・ 適用する（数量：） ○ 適用しない		③ 品質保証	内装プレハブ部品（パネル・造作材・建材等）については保証期間を１０年間とする。		③ タオル掛け	○ 便所 ステンレス製（SUS304） リング ○ 洗面所 ステンレス製 L=400 φ19～φ19 ○ 浴室 UB仕様による									
	⑥ 支柱	支柱材の種類 ※丸太（間伐材） ・ 真竹 ・ 防腐処理方法 ※加圧式防腐処理丸太材 ・ 形式 ・ 添え柱形 ○ 鳥居形 ・ ハツ掛け形 ・ 布掛け形 ・ ワイヤ掛け形 ・ 地下埋設形 ○ 生埋形		④ 施工管理	着工に先立ち下記の書類を提出し承認を得ること。 （施工計画書、施工図）		④ 消火器ボックス（PS・MB内）	○ 標準図部分詳細図による ※ 図示 									
	⑦ 幹巻き用材料	材料 ※幹巻き用テープ ・ わら ・ こも		⑤ 保管養生	現場での内装部品の保管は、仮設倉庫等を設けて破損、汚損なきよう行う。		⑤ 屋上点検口	型式 600角 SUS304 南京錠付き ※ 図示 									
8	芝	種類 ※コウライシバ ・ ノシバ 芝張りの工法 平面 ※ 目地張り ・ べた張り 法面 ・ 目地張り ※ べた張り	⑥ 他工事取合	設備工事及びユニット工事に伴う開口部及びボックス等の下地補強は本工事に含み施工図の作製時に入念に打合わせを行い監督員の承認を得ること。	⑥ 物干金物	型式 アルミニウム製 ※ 図示 											
	9 吹付けは種	種類等 <table><tr><th>種子の種類</th><th>種子の量 (g/m2)</th><th>備 考</th></tr><tr><td>※洋芝類</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td></tr></table>	種子の種類	種子の量 (g/m2)	備 考	※洋芝類			・			⑦ 内装パネル仕様	(1) 床パネル 押入、物入の床棚 床 厚※35 棚 厚※30 (2) 外周壁パネル 押入、物入 厚※15 (3) 間仕切パネル 厚※50 上記パネルのパネルコア材は針葉樹又は針葉樹単板積層材（LVL）とする。	⑦ 浴室ユニット	種類 ○ BL認定長寿社会対応型またはBL認定長寿社会対応型に準ずる 形状寸法 ○ 1216型 材質等 ○ 浴室ユニット参考図による		
	種子の種類	種子の量 (g/m2)	備 考														
	※洋芝類																
	・																
10 地被類	種類等 <table><tr><th>植物の種類</th><th>芽立数</th><th>径</th><th>単位面積当たりの株数</th></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr></table>	植物の種類	芽立数	径	単位面積当たりの株数	・	・	・	・	・	・	・	・	⑧ 造作材仕様	(1) 単一造作材は含水率１８％以下とし樹種及び品質は下記による。 米掲上小節 (2) 上り框 タモ（積層材） (3) 玄関厚枠 米掲上小節	⑧ 集合郵便受箱（BL仕様）	種類 ※ SH型（縦型） 台数 12戸用×12台 計144戸分
植物の種類	芽立数	径	単位面積当たりの株数														
・	・	・	・														
・	・	・	・														
⑪ 新植、移植樹木、芝等の枯補償	新植樹木の枯補償の期間 （芝張り、吹付けは種及び地被類を含む） ※契約竣工日の翌日から1年 ・ ・ 無し 移植樹木の枯損処置を行う期間 ※契約竣工日の翌日から1年 ・ ・ 無し	⑨ 下地材仕様	下地材は含水率20％以下とし樹種及び品質は下記による。 米掲又は針葉樹2級 土台及び調整材も準ずる。（便器取付け補強材共）	⑨ 掲示板	ステンレス製枠 W1200×H900程度 ※ 図示 												
12 屋上緑化	植栽基盤及び材料 ・ 屋上緑化システム 土壌層の厚さ ・ 図示による 排水層 ・ 軽量骨材（層の厚さ：） ・ 板状成形品 植込み用土 ※改良土 ・ 人工軽量土 ・ 屋上緑化軽量システム 樹木、芝及び地被類 樹種、寸法、株立数 ・ 図示による 刈込みものの適用 ・ 適用する（数量：） ・ 適用しない 見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等 ・ 図示による 工法 平成12年建設省告示第 1458号に基づく風圧力に対応した工法 ・ 図示による 支柱 ・ 設置する（形式 ・ 図示による） かん水装置 ・ 設置する（種類 ・ 図示による）	⑩ 工事範囲外	置床、キワ根太、防露壁、畳、流し台水切、シーリング、ビニルクロス、塗装 その他内装プレハブ図面に記入のないもの	⑩ 日除けカーテン	材質 ポリエチレンシート t=0.04 取付場所 ○ 住戸の居室の窓全面												
		⑪ 合板類	F☆☆☆☆を使用すること	⑪ 市章	ステンレス製 既製品 ※ 図示 												
		⑫ その他	本項目の記載以外は [12章. 木工事] による。	⑫ 標番号	アルミニウム製 ※ 図示 												
				⑬ 吊環	ステンレス製 既製品 ※ 図示 												
				⑭ 防護柵	BL認定品 アルミニウム製 ※ 図示 												
				⑮ 木製ベンチ	EVホール ※ 図示 												
				⑯ バルコニー隔板	アルミニウム製枠 既製品 ※ 図示 												
				⑰ クーラー取付用インサート	ステンレス製 座板：ABS樹脂 ※ 図示 												
				⑱ クーラースリーブ	○ ABS樹脂製 ○ ステンレス製（共用廊下側）												
				⑲ ビット換気孔	ステンレス製換気フード φ150（防虫網付き） ※ 図示 												
				⑳ 窓面格子	アルミニウム製（外付型） ※ 図示 												
				㉑ 共用廊下エアコン用排水レール	角パイプ SUS304 ※ 図示 												
				㉒ 階数表示板	アクリル樹脂製 ※ 図示 												
				㉓ 玄関室名札	ステンレス製 ※ 図示 												
				㉔ 室名札	アルミニウム製 既製品 W300×H60程度 ○ 図示による（倉庫）												
				㉕ 玄関手すり	ステンレス製 樹脂被覆タイプ φ34 1型 L=600												
				㉖ 便所手すり	ステンレス製 樹脂被覆タイプ φ34 L型 700×700												
				㉗ 補助手すり用点字表示板	ポリカーボネイト製												
2025. 5. 改訂																	
						工事名称 万崎建替公営住宅第二期建設工事											
						図面名称 特記仕様書（No12）											
						A3縮尺 一	A1縮尺 一										
堺市 建築都市局 建築部						図面番号	A／012										

別紙 1 特記仕様書

2章 仮設工事（仮囲い図面）

A 鋼管製H＝1800仮囲い図面

</

別紙2 特記仕様書

1章 （別表）

＜工事区分＞

図面に記載のない場合は原則として下記標準工事区分表による。

標準工事区分表（取合い区分欄は、原則●印の区分とする。）					
工 事 項 目	建築	給排水	空調	電気	備考
【躯体関係】					
貫通スリーブ	●	●	●	●	
貫通スリーブの補強	●				
開口補強を要する型枠材及び取付（埋込機器・窓等の仮枠含む）	●				
開口部の補強	●				
貫通孔・開口部の墨出し	●	●	●	●	
スリーブ・型枠の穴埋め	●	●	●	●	
【軽鉄天井・壁下地関係】					
補強を要するボードの切込み及び下地の補強	●				
補強を要しないボードの切込み	●	●	●	●	設置者が施工
開口部の墨出し	●	●	●	●	
振れ止め切断後の補強	●	●	●	●	
天井点検口の取付	●				
機器・器具及び配管等の吊ボルト用インサート		●	●	●	
【便所関係】					
衛生器具廻りのシーリング	●	●			設置者が施工
便器洗浄用感知装置への電源供給配管配線				●	
【設備基礎関係】					
機器の基礎・基礎鋼材（H鋼等）及びビット	●				
機器据付台		●	●	●	
【設備関係】					
機器への給排水配管接続工事		●			
機器へのガス配管接続工事（ガス指定工事店が施工）		●			
機器付属操作盤への一次側電気工事				●	
同上操作盤からの二次側電気工事		●	●		
同上操作盤からの故障警報用配管配線				●	
空調機等のリモコンスイッチの取付及び結線			●		
同上機器からリモコンスイッチまでの配管及びボックス				●	
同上機器からリモコンスイッチまでの操作配線			●		
セパレート型エアコンの室内から室外機への通り操作配線			●		
マルチ型エアコンの室内機間の通り配線及び集配操作盤の取付			●		
換気扇の取付		●			
同上機器の手元スイッチの取付及び配管配線・ボックス及び結線				●	
自動制御型一次側電気工事（配管・配線及び経路共）				●	
水機器の電機棒・電機帯及びフリースイッチ				●	
給湯器等の機械機器接地（最寄りコンセントまで）			●		

○道路交通の安全対策

10t以上のダンプトラック（土砂・ガラ等の排出車、アスファルト合材・砕石等の搬入車すべて対象）により搬出入を行う場合は監督員に報告し、運搬経路について協議を行うこと。

○工事車両幕

10t以上のダンプトラック（土砂・ガラ等の排出車、アスファルト合材・砕石等の搬入車すべて対象）に下記の通り工事用車両幕を作成し取り付けること。なお、工事用車両幕の仕様における詳細については、別途、監督員の指示を受けること。

- 工事用車両幕の仕様
- ・寸法：縦540mm×横800mm程度
 - ・材質：ターポリン
 - ・表示内容：工事名称、受注者名、発注部署名
 - ・装着枚数：1枚
 - ・装着場所：ダンプトラックの前面
 - ・取付方法：工事用車両幕の四隅とダンプトラックの4方所を紐で結ぶ
 - ・その他：工事用車両幕の四隅にハトメ（紐穴）を取付ける

※1	○○○○○○○○○○○○○○○工事	1文字の大きさは3.5mm程度
※2	（第一工区）	

	工 事 用 車 両	1文字の大きさは6.0mm程度

※3	○○○○・○○・○J V	1文字の大きさは4.0mm程度
※4	堺市建築部 建築課	1文字の大きさは6.5mm程度
	800	

- ※1 工事用車両幕に記載する工事名、「工事用車両」、受注者名、発注者名の字体は、MSPゴシックとする。
- ※2 工事名が一段で入りきらない場合は、二段で記載する。
- ※3 受注者名は、一段に記載する。株式会社は、脚と記載する。建設工事共同企業体はJVと記載する。
- ※4 発注者名は、局名を記載しない。

＜完成図作成要領＞

1. 完成図は、発注（契約）工事ごとに工事完成時における状態を示したものであること。

2. 完成図原図

完成図原図は、業者（現場代理人）及び監理事務所（総括責任者）の押印の後、提出。原設計図を修正する場合は、CADデータを修正し作成すること。

原図、完成図電子データ（設計図）とも提出のこと。

内容（電子データで提出する図面）

①完成図原図

- 原則として、設計図を修正すること。（設備工事では、施工図の修正でもよい。）
- 屋外配管（設備工事）については、埋設深さ・建物等目印よりの寸法を記入すること。
- ②施工図（外装の石、金属板張り、カーテンウォール、エレベーター等）
- ③制御回路図（エレベーター、圧送給水システム等）

3. 製本図面

市確認後に完成図原図を青焼き青張製本したもの。

部数は、2部（※A2・原寸図）（新築住宅建設工事は3部）とする。

発注（契約）工事ごとに製本する。

仕様

- ①製本の色（発注工事ごと）
- 建築（緑・DB1503）[A・S・V]、電気（赤・DB2012）、
機械（青・DB2007）[J・K・M]、ガス（黄・DB2014）とする。
- [] 内英字は工事種別です。

②表紙の文字

工事名称・完成年月日・監理事務所名（自主監理は不要）・請負業者名の順に印字する。

可能な場合は、背の部分に工事名称のみ印字する。

4. 施工図製本（建築工事）

各専門工事ごとに青張製本を1部提出のこと。（原図と同サイズ）

5. 機器完成図（設備工事）

- A4版チューブファイル（表紙の記入内容は製本図面に同じ）にて2部提出のこと。
- 内容
- ①提出した機材使用願による主要機器。
- ②各種試験成績表
- ③各種検査合格書
- ④保証書
- ⑤保守に関する指導案内書（取扱説明書）

6. 完成図電子データ

- ①提出用メディア
- CD（720MB）1枚に発注（契約）ごとに全図面を1枚に入れて提出する。
- ラベルには、竣工年月（西暦）・工事名称を記入すること。

＜書類保管箱＞

工事完成時に完成図、施工図、保金に関する資料及び工事関係書類を保管箱に入れ、提出すること。

サイズ A4ファイル収納用

材質 段ボール

＜建設リサイクル法「分別解体の届出」＞

1. 通 用

- 1) 本仕様書は、公共建設工事における分別解体等・再資源化等及び再生資源活用工事実施要領（宮籍）により、堺市建築部が発注する工事に適用する。

2. 建設副産物の処理

- 1) 受注者は、工事の施工により発生する建設発生土の処理及びコンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設汚泥等の建設廃棄物の処理にあたって、適切な処理が計画的に行われるよう発生土処理計画書及び廃棄物処理計画書並びに発生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を所定の様式（建設リサイクルガイドライン）により作成し、施行計画書に含め監督員に提出、承認を得なければならない。
- また、建設発生土の搬出にあたっては、建設廃棄物が混入しないよう分別に努めなければならない。

2) 本工事における特定建設資材廃棄物の再資源化等を行う。

	特定建設資材廃棄物の種類	施設の名称	所在地
※1	コンクリートガラ	泉州リサイクル(協)	和泉市上代町1280-1
	アスファルトガラ	(協)大阪南部リサイクルセンター	松原市大堀4-536-1
	木 材	木材開発(株)岸和田工場(株)前田造園	岸和田市木材町11-13-18 交野市青山2-2642-1
※2	建設発生土	阪南港阪南2区(ちきりアイランド)	岸和田市岸之浦9番地

※1 積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。

- なお、受注者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。
- 建設発生土の搬出先については、上記の再資源化施設に搬出すること。
- なお、受け入れ条件等により提示する施設と異なる再資源化施設となる場合は監督員と協議するものとする。

3. 特定建設資材の分別解体等・再資源化等の適正な措置

- 1) 本工事は、特定建設資材を用いた建築物に係る解体工事又は、その施工に特定建設資材を使用する新築工事であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（以下、「建設リサイクル法」という。）施行令で定める工事の種類、規模の基準に基づき特定建設資材の分別解体等及び再資源化等の実施について適切な措置を講ずることとする。

なお、本工事における特定建設資材の分別解体等・再資源化等については、以下の条件を設定しているが、請負代金額のうち解体工事に要する費用等に定める事項は、契約締結時に発注者と受注者の間で確認されるものであるため、発注者が積算上条件明示した以下の事項と別の方法であった場合でも変更の対象としない。

ただし、工事発注後に明らかになった事情により、予定した条件により難い場合は、監督員と協議するものとする。

（建築物に係る解体工事の場合）

工 程 区 分	工 程	作業内容	分別解体等の方法
工 程 区 分 の 作 業 内 容 及 び 解 体 方 法	①建築設備・内装材等	建築設備・内装材の取り外し □ 有 □ 無	□ 手作業 □ 手作業・機械作業の併用 併用の場合の理由（ ）
	②屋根ふき材	屋根ふき材の取り外し □ 有 □ 無	□ 手作業 □ 手作業・機械作業の併用 併用の場合の理由（ ）
	③外装材・上部構造部分	外装材・上部構造部分の取り壊し □ 有 □ 無	□ 手作業 □ 手作業・機械作業の併用
	④基礎・基礎ぐい	基礎・基礎ぐいの取り壊し □ 有 □ 無	□ 手作業 □ 手作業・機械作業の併用
	⑤その他（ ）	その他の取り壊し □ 有 □ 無	□ 手作業 □ 手作業・機械作業の併用

「この特記を使用する対象工事」

建築物の解体 床面積の合計80㎡以上

（建築物に係る新築工事等（新築・増築・修繕・模様替）の場合）

工 程 区 分	工 程	作業内容	分別解体等の方法
工 程 区 分 の 作 業 内 容 及 び 解 体 方 法	①造成等	造成等の工事 □ 有 □ 無	□ 手作業 □ 手作業・機械作業の併用
	②基礎・基礎ぐい	基礎・基礎ぐいの工事 □ 有 □ 無	□ 手作業 □ 手作業・機械作業の併用
	③上部構造部分・外装	上部構造部分・外装の工事 □ 有 □ 無	□ 手作業 □ 手作業・機械作業の併用
	④屋根	屋根の工事 □ 有 □ 無	□ 手作業 □ 手作業・機械作業の併用
	⑤建築設備・内装等	建築設備・内装等の工事 □ 有 □ 無	□ 手作業 □ 手作業・機械作業の併用
工 程 区 分 の 作 業 内 容 及 び 解 体 方 法	⑥その他（ ）	その他の工事 □ 有 □ 無	□ 手作業 □ 手作業・機械作業の併用

- （注1） 適用となる事項の □ にチェックする。

「この特記を使用する対象工事」

- 建築物の新築・増築 床面積の合計500㎡以上
- ・建築物の修繕・模様替（リフォーム等） 請負代金の額1億円以上

②再資源化等をする施設の名称及び所在地

- 2-2)による。
- （注1） 新築工事では、発生量等が特定できないため、この限りでない。

（建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等（土木工事等）の場合）

工 程 区 分	工 程	作業内容	分別解体等の方法
工 程 区 分 の 作 業 内 容 及 び 解 体 方 法	①仮設	仮設工事 □ 有 □ 無	□ 手作業 □ 手作業・機械作業の併用
	②土工	土工 □ 有 □ 無	□ 手作業 □ 手作業・機械作業の併用
工 程 区 分 の 作 業 内 容 及 び 解 体 方 法	③基礎	基礎工事 □ 有 □ 無	□ 手作業 □ 手作業・機械作業の併用
	④本体構造	本体構造の工事 □ 有 □ 無	□ 手作業 □ 手作業・機械作業の併用
工 程 区 分 の 作 業 内 容 及 び 解 体 方 法	⑤本体付属品	本体付属品の工事 □ 有 □ 無	□ 手作業 □ 手作業・機械作業の併用
	⑥その他（ ）	その他の工事 □ 有 □ 無	□ 手作業 □ 手作業・機械作業の併用

「この特記を使用する対象工事」

- その他の工物に関する工事（土木工事等） 請負代金の額500万円以上

2) 受注者は、特定建設資材の分別解体等・再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条に基づき、以下の事項を「再資源化等報告書」に記載し、監督員に報告するものとする。

- ・工事名
- ・工事場所
- ・再資源化等が完了した年月日
- ・特定建設資材廃棄物の再資源化等をした施設の名称及び所在地
- ・特定建設資材廃棄物の再資源化等に要した費用
- ・再生資源利用実施書、再生資源利用促進実施書（建設リサイクルガイドライン様式）

4. 再生資材

本工事の施工については、次表の再生資材を見込んでいる。品質等を確認し、監督員の承認を得た上で使用に努めなければならない。

再 生 資 材 名	使 用 箇 所
再生クラッシュラン（RC-40）	外構部、駐車場、道路路盤材等

5. 過積載について

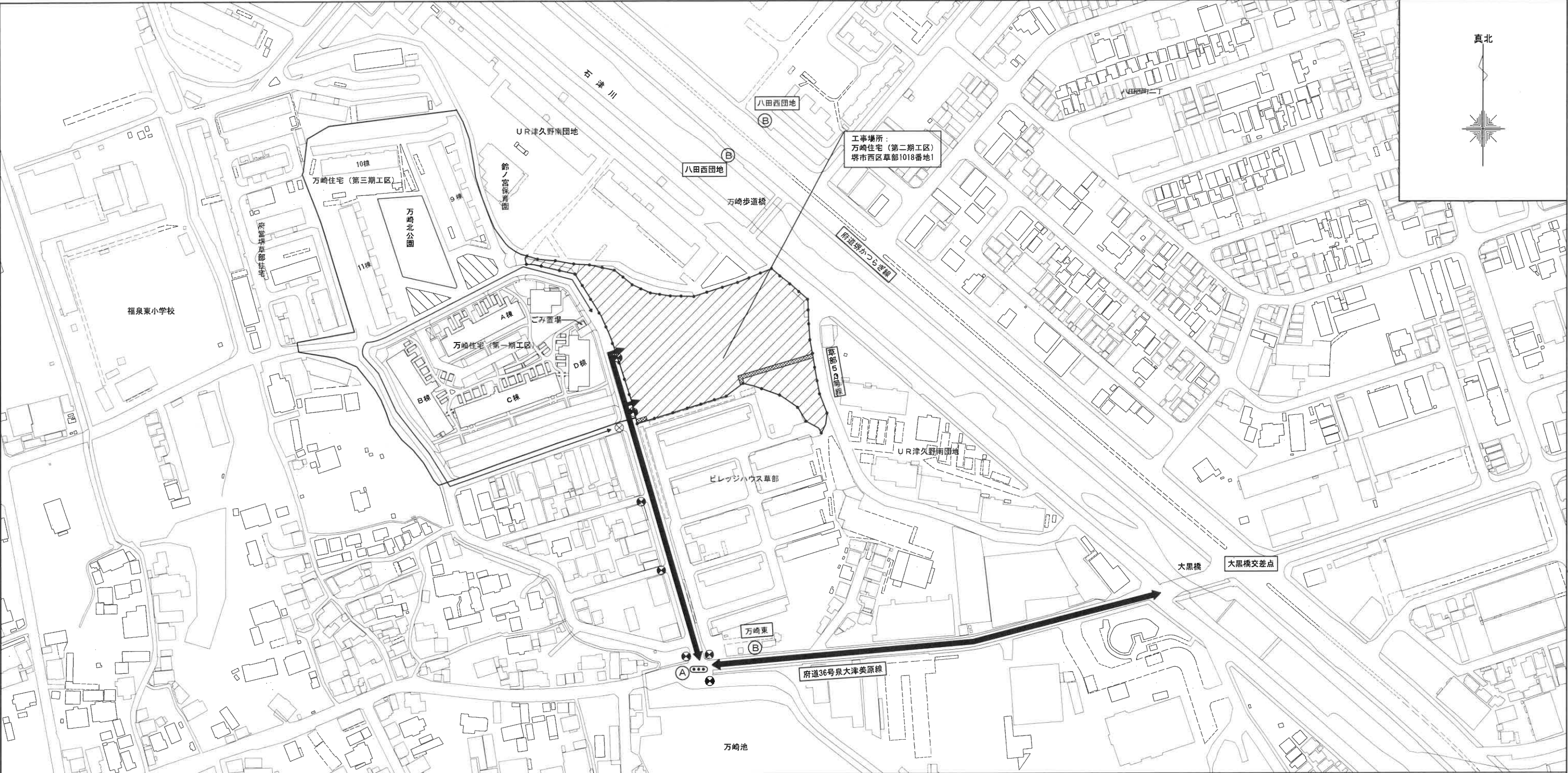
- 1 受注者は建設副産物を搬出するときは、ダンプトラックの規格（最大積載重量）を事前に把握し、過積載しないよう常に注意すること。
- 2 受注者は、建設副産物搬出後速やかに、 manifests や計量証明書等で過積載のないことを確認するとともに、監督職員に提出を求められた場合は、その都度、速やかに提出すること。
- 3 受注者は、建設資材を注文するときは、その都度、納入業者に過積載しないよう指導すること。
- 4 受注者は、建設資材納入時には、試験成績書等により資材の単位重量等を事前に把握し、搬入トラックの規格（最大積載重量）から過積載になっていないことを確認するとともに、監督職員に提出を求められた場合は、その都度、速やかに納品伝票を提出すること。
- 5 受注者は、建設副産物及び建設資材の運搬にあたって、次の道路交通法等関係法令を厳守すること。
- イ 道路交通法第57条
- ロ 道路法第47条
- ハ 貨物自動車運送事業法（平成元年法律第83号）第17条
- ニ ダンプ規制法（土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法） 第3条、第4条（許可条件等の表示）
- ホ ダンプ規制法第6条（自重計の設置）

2025. 5. 改訂	工事名称	万崎建替公営住宅第二期建設工事		
	図面名称	別紙2 特記仕様書		
	A3縮尺	1/000	A1縮尺	1/000
		堺市 建築部市局 建築部	図面番号	A/014



敷地範囲を示す。

工事名称	万崎建替公営住宅第二期建設工事		
図面名称	付近見取図		
A 3縮尺	1 / 6,000	A 1縮尺	1 / 3,000
堺市 建築都市局 建築部	図面番号		A / 015
原寸法			



■特記事項

1. 工事における仮設は、既設範囲内受注者責任により設置し、維持管理を行うこと。

2. 仮設工事着手前に仮設工事施工計画書を作成し、監督員に事前に承認を得ること。

3. 本敷地は、工事区域以外は一般者などが使用するため、工事状況により適材適所に安全仮設を行い、設置替えを行うこと。

4. 工事期間中は、安全監視員を図示位置に常駐配置し、工事状況により適所に増員を行うこと。車両出入の際は、警備誘導を行うこと。

5. 外部に工事案内を掲示すること。

6. 工事車両出入りに伴う一般道路の汚泥流出防止に努め、道路に汚れが生じた場合は、速やかに清掃を行うこと。

7. 工事に伴い施設、設備、道路等に損害を与えた場合は、監督員に報告の上、受注者負担により速やかに復旧すること。

8. 雨水幹線への接続に際し、隣接道路への仮設材設置が必要な場合は、諸官庁へ届出等の上、設置すること。

9. 工事期間中における防犯灯(既存含む)電気料金については、関西電力に申請の上、施工者により支払うものとする。

10. 工事車両通行経路について、(A)交差点より北側の経路は原則徐行とし、安全確保を徹底すること。

11. (A)交差点より西側の道路は、原則、通勤車両も含め、いかなる車種、時間帯においても通行しないこと。

12. 監督員事務所等(監督員事務所、建築・電気・機械現場事務所、建築・電気・機械作業員詰所)は、空き住戸(9～11棟 計7戸 約280㎡)を使用し、使用期間の光熱水費及び共益費の負担、整理清掃を行い、使用後は現状復旧し、監督員の確認を受けること。

13. 工事関係者の通勤車両は、仮囲い内及び工事関係者利用スペースに駐車し、全て収容できない場合は、受注者で確保すること。
(全て建築工事関係者で利用せず、電気・機械設備関係者と調整して利用すること。)
14. 空き住戸、工事関係者利用スペースの利用は、建築・電気・機械設備の受注者で調整を行い、不公平の無いように協力して利用し、騒音を含め、周辺に十分配慮を行うこと。

15. 空き住戸、工事関係者利用スペースは、受注者の責任により適切に維持・管理を行い、利用後は現状復旧し、監督員の確認を受けること。

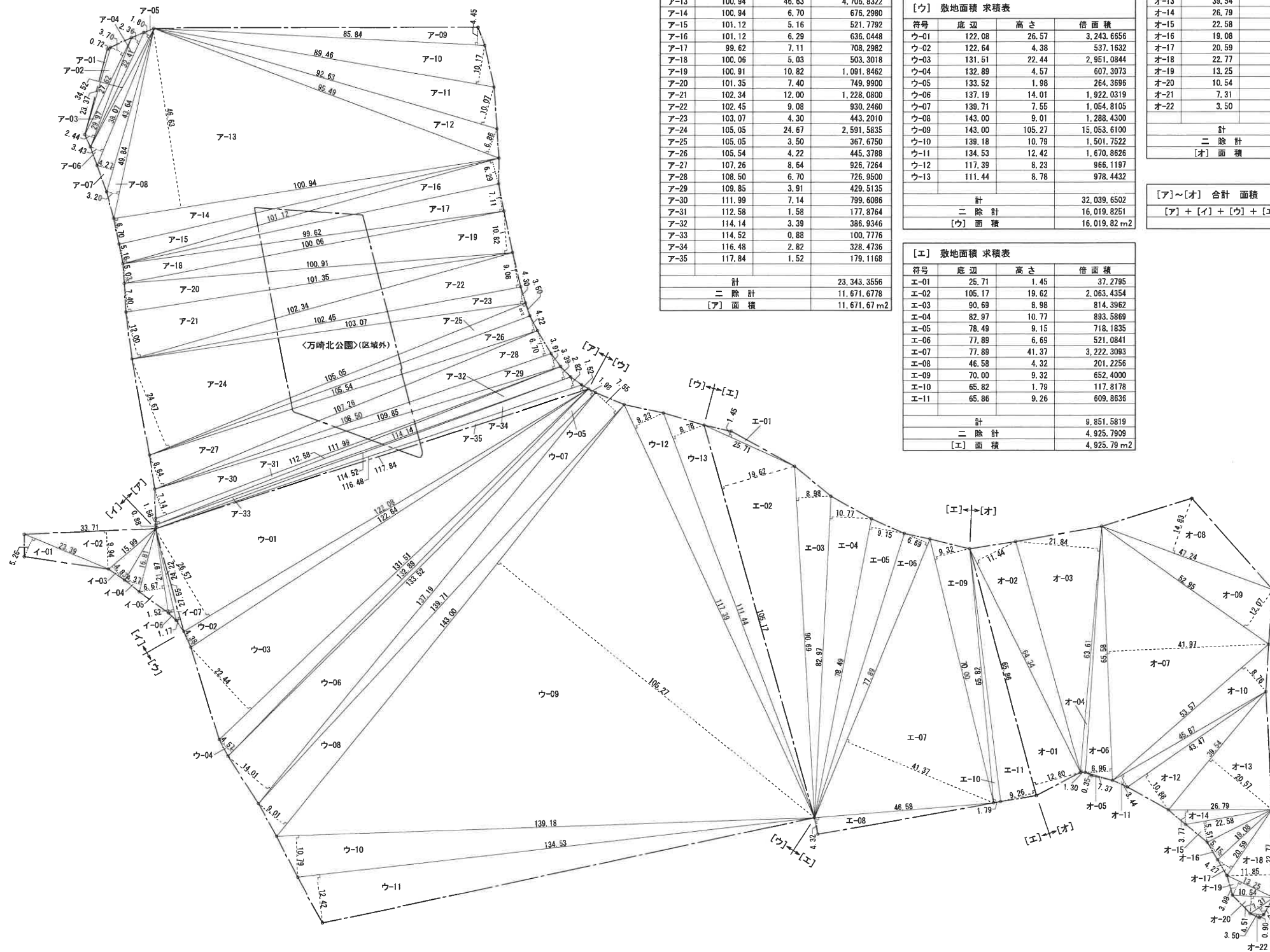
16. 第一期工区の東側のごみ置場前面道路施工時、ごみ収集車両の進入が可能とするよう、仮囲いの開閉等を行うこと。
尚、ごみ収集日は以下の通りとする。
●生活ごみ：毎週火曜日、金曜日 ●プラ容器包装：毎週月曜日 ●缶、びん：第二、四 木曜日 ●小型金属：第三 火曜日 ●ペットボトル：第一、三 木曜日

17. 工事期間中は、やむを得ない場合を除き、仮設道路の通行が可能な状態を維持し、盛替等で通行できない場合は事前に監督員に承諾を受け、周知徹底を行うこと。

凡 例		工事車両通行経路		信号機設置場所を示す		ごみ置場前施工時、迂回ルートを示す。(通常利用不可)
		安全監視員(常駐)を示す		工事車両進入口を示す		仮設道路を示す。
		安全監視員(スポット)を示す		工事場所を示す		
		バス停を示す		工事関係者利用スペースを示す		
工事名称		万崎建替公営住宅第二期建設工事				
図面名称		特記事項・工事車両通行経路・安全監視員配置図				
A3縮尺		1／2500	A1縮尺		1／1250	
堺市 建築都市局 建築部		図面番号		A ／ 016		
原寸法						

※ 火気使用室の壁・天井の仕上は準不燃性能を有する。
※ 居室の室内に面する部分の壁・天井の仕上は準不燃性能を有する。
※ 居室から地上に通ずる主たる階段・廊下・エントランスホール・E.Vホールの室内に面する部分の壁・天井の仕上は準不燃性能を有する。
※ 仕上材料及び接着剤については、天井裏ともF☆☆☆☆を使用する。

内部仕上表（住棟）																				
住戸タイプ	室名	下地	床	巾木			壁	壁と天井の見切	天井	天井高	木部仕上	備考								
				材質	高さ	塗装														
[1DK] [2DK] [3DK]	玄関	W・LGS	—	ビニル巾木	H=60	—	間仕切：GB-R t=9.5の上 ビニルクロス貼り（内装パネル）	—	最上階：GB-R t=9.5の上 ビニルクロス貼り（LGS下地）	最上階：OH=2.470 一般階：直天 OH=2.540	上り框：UC	* 上り框	* 補助手摺：I型 L=600	* 手摺補強下地	* ダクトスペース					
		RC	モルタル金コテ押えの上 長尺塩ビシート t=2.5貼り（ノンスリップ）	ビニル巾木	H=60	—	外壁：断熱材 t=30 裏打ちGB-R t=9.5の上、ビニルクロス貼り（内装パネル）	—	一般階：コンクリート打放し下地処理の上 ビニルクロス貼り	一般階：直天 OH=2.540										
	廊下	W・LGS	—	ビニル巾木	H=60	—	間仕切：GB-R t=9.5の上 ビニルクロス貼り（内装パネル）	—	最上階：GB-R t=9.5の上 ビニルクロス貼り（LGS下地）	最上階：OH=2.410 一般階：直天 OH=2.480 ※1DK OH=2.410 一般階：直天 OH=2.480	—	* 手摺補強下地								
		RC	乾式二重床システム（ラワン合板（防虫） t=12.0+5.5捨貼の上 発泡層付塩ビシート t=2.3貼り）	—	—	—	—	—	一般階：コンクリート打放し下地処理の上 ビニルクロス貼り											
	DK	W・LGS	—	ビニル巾木	H=60	—	間仕切：GB-R t=9.5の上 ビニルクロス貼り（内装パネル） 一部（水廻り）GB-S t=9.5の上 化粧FK板 t=6.0貼り	—	最上階：GB-R t=9.5の上 ビニルクロス貼り（LGS下地）	最上階：OH=2.410	—	* アルミカーテンレール(W)	* 流し台 L=1,200	* コンロ台 L=600						
		RC	乾式二重床システム（一部パラフィン処理）（ラワン合板（防虫） t=12.0+5.5捨貼の上 発泡層付塩ビシート t=2.3貼り）	ビニル巾木	H=60	—	外壁：断熱材 t=30 裏打ちGB-R t=9.5の上 ビニルクロス貼り 住戸界壁：コンクリート打放し下地処理の上 ビニルクロス貼り 一部（水廻り）GB-S t=9.5の上 化粧FK板 t=6.0貼り	—	一般階：コンクリート打放し下地処理の上 ビニルクロス貼り	一般階：直天 OH=2.480		* コンロ脇台 L=100・150	* 吊戸棚 L=900・1,200	* 水切願(SUS304 1段 L=900)	* クーラースリーブ φ75	* 排気ダクト	* 手摺補強下地	* クーラーインサート2本(化粧ナット付)	* 《レンジフード》	* 《給気スリーブ φ100》
	洋室（1・2・3）	W・LGS	—	ビニル巾木	H=60	—	間仕切：GB-R t=9.5の上 ビニルクロス貼り（内装パネル）	—	最上階：GB-R t=9.5の上 ビニルクロス貼り（LGS下地）	最上階：OH=2.410	—	* アルミカーテンレール(W)	* クーラースリーブ φ75	* 手摺補強下地						
		RC	乾式二重床システム（ラワン合板（防虫） t=12.0+5.5捨貼の上 発泡層付塩ビシート t=2.3貼り）	ビニル巾木	H=60	—	外壁：断熱材 t=30 裏打ちGB-R t=9.5の上 ビニルクロス貼り 住戸界壁：コンクリート打放し下地処理の上 ビニルクロス貼り	—	一般階：コンクリート打放し下地処理の上 ビニルクロス貼り	一般階：直天 OH=2.480		* クーラーインサート2本(化粧ナット付)	* 《給気スリーブ φ100》	* 《給気ユニット》						
	洗面室	W・LGS	—	ビニル巾木	H=60	—	間仕切：GB-S t=9.5の上 ビニルクロス貼り（内装パネル）	—	最上階：GB-R t=9.5の上 ビニルクロス貼り（木下地）	最上階：OH=2.050	—	* タオル掛け：ステンレス製 L=400	* 床下点検口：450角（アルミ枠）							
		RC	乾式二重床システム（一部パラフィン処理）（ラワン合板（防虫） t=5.5捨貼の上 発泡層付塩ビシート t=2.3貼り）	ビニル巾木	H=60	—	外壁：断熱材 t=30 GB-S t=9.5の上ビニルクロス貼り 住戸界壁：コンクリート打放し下地処理の上 ビニルクロス貼り	—	一般階：GB-R t=9.5の上 ビニルクロス貼り（木下地）	一般階：OH=2.050		* 壁点検口：樹脂製枠 600角（ビス止め）	* 天井点検口：アルミ製枠 300角	* 《洗面化粧ユニット》	* 《洗濯機用防水バン》					
	便所	W・LGS	—	ビニル巾木	H=60	—	間仕切：GB-R t=9.5の上 ビニルクロス貼り（内装パネル）	—	最上階：GB-R t=9.5の上 ビニルクロス貼り（木下地）	最上階：OH=2.050	—	* タオル掛け：ステンレス製リング	* 補助手摺：L型 600×700	* 手摺補強下地						
		RC	乾式二重床システム（一部パラフィン処理）（ラワン合板（防虫） t=5.5捨貼の上 発泡層付塩ビシート t=2.3貼り）	ビニル巾木	H=60	—	外壁：断熱材 t=30 裏打ちGB-R t=9.5の上 ビニルクロス貼り 住戸界壁：コンクリート打放し下地処理の上 ビニルクロス貼り	—	一般階：GB-R t=9.5の上 ビニルクロス貼り（木下地）	一般階：OH=2.050		* 天井点検口：アルミ製枠 300角	* 《紙巻器》	* 《便器》						
	浴室（浴室ユニット）	W・LGS	—	—	—	—	—	—	—	—	—	* 補助手摺：I型 L=600・650	* 手摺補強下地	* 鏡	* タオル掛け：ステンレス製 L=400					
		RC	浴室ユニット1216型（高齢者対応浴槽落水込み型）	—	—	—	浴室ユニット1216型（高齢者対応浴槽落水込み型）	—	浴室ユニット1216型（高齢者対応浴槽落水込み型）	—		* 照明：樹脂グローブ	* FRP製浴槽							
	物入	W・LGS	—	雑巾摺	—	素地	間仕切：押入用プリント合板 t=4.0貼り（内装パネル）	—	最上階：GB-R t=9.5の上 押入用プリント合板 t=2.5貼り（LGS下地）	展開図による	—	* 中段：ラワン合板（防虫）（押入パネル t=30）	一部 可動棚（ラワン合板（防虫）フラッシュ t=30）							
RC		木製床組押入パネル t=42（ラワン合板（防虫） t=9.0貼り）	雑巾摺	—	素地	外壁：断熱材 t=30 裏打ち押入用プリント合板 t=4.0貼り 住戸界壁：押入用プリント合板 t=4.0貼り（内装パネル）	—	一般階：スラブ下ポリスチレンフォーム保温材 t=25（外壁より900凸） 押入用プリント合板 t=2.5貼り		* 枝棚：ラワン合板（防虫）（押入パネル t=30）		* SUSハンガーパイプ φ32								
物入（1DK廊下部）	W・LGS	—	ビニル巾木	H=60	—	間仕切：GB-R t=9.5の上 ビニルクロス貼り（内装パネル）	—	最上階：GB-R t=9.5の上 ビニルクロス貼り（LGS下地）	最上階：OH=2.410	—										
	RC	乾式二重床システム（ラワン合板（防虫） t=12.0+5.5捨貼の上 発泡層付塩ビシート t=2.3貼り）	ビニル巾木	H=60	—	住戸界壁：コンクリート打放し下地処理の上 ビニルクロス貼り	—	一般階：コンクリート打放し下地処理の上 ビニルクロス貼り	一般階：直天 OH=2.350											
												</								



【ア】敷地面積 求積表			
符号	底辺	高さ	倍面積
ア-01	23.37	0.72	16.8264
ア-02	27.62	3.70	102.1940
ア-03	29.97	2.44	73.1268
ア-04	32.41	2.36	76.4876
ア-05	34.52	1.80	62.1360
ア-06	38.07	3.43	130.5801
ア-07	43.64	4.27	185.3428
ア-08	48.84	3.20	159.4880
ア-09	85.84	4.45	381.9880
ア-10	89.46	10.17	909.8082
ア-11	92.63	10.07	932.7841
ア-12	95.49	6.86	655.0614
ア-13	100.94	46.63	4,706.8322
ア-14	100.94	6.70	676.2980
ア-15	101.12	5.16	521.7792
ア-16	101.12	6.29	636.0448
ア-17	98.62	7.11	708.2982
ア-18	100.06	5.03	503.3018
ア-19	100.91	10.82	1,091.8462
ア-20	101.35	7.40	749.9900
ア-21	102.34	12.00	1,228.0800
ア-22	102.45	9.08	930.2460
ア-23	103.07	4.30	443.2010
ア-24	105.05	24.67	2,591.5835
ア-25	105.05	3.50	367.6750
ア-26	105.54	4.22	445.3788
ア-27	107.26	8.64	926.7264
ア-28	108.50	6.70	726.9500
ア-29	109.85	3.91	429.5135
ア-30	111.99	7.14	799.6086
ア-31	112.58	1.59	177.8764
ア-32	114.14	3.39	386.9346
ア-33	114.52	0.88	100.7776
ア-34	116.48	2.82	328.4736
ア-35	117.84	1.52	179.1168
計			23,343.3556
二 除 計			11,671.6778
【ア】面積			11,671.67 m ²

【イ】敷地面積 求積表			
符号	底辺	高さ	倍面積
イ-01	23.39	5.26	123.0314
イ-02	33.71	9.94	335.0774
イ-03	15.99	4.83	77.2317
イ-04	16.81	4.37	73.4597
イ-05	21.97	6.67	146.5399
イ-06	24.22	1.52	36.8144
イ-07	27.55	1.17	32.2335
計			824.3880
二 除 計			412.1940
【イ】面積			412.19 m ²

【ウ】敷地面積 求積表			
符号	底辺	高さ	倍面積
ウ-01	122.08	26.57	3,243.6656
ウ-02	122.64	4.38	537.1632
ウ-03	131.51	22.44	2,951.0844
ウ-04	132.89	4.57	607.3073
ウ-05	133.52	1.98	264.3696
ウ-06	137.19	14.01	1,922.0319
ウ-07	139.71	7.55	1,054.8105
ウ-08	143.00	9.01	1,288.4300
ウ-09	143.00	105.27	15,053.6100
ウ-10	139.18	10.79	1,501.7522
ウ-11	134.53	12.42	1,670.8626
ウ-12	117.39	8.23	966.1197
ウ-13	111.44	8.78	978.4432
計			32,039.6502
二 除 計			16,019.8251
【ウ】面積			16,019.82 m ²

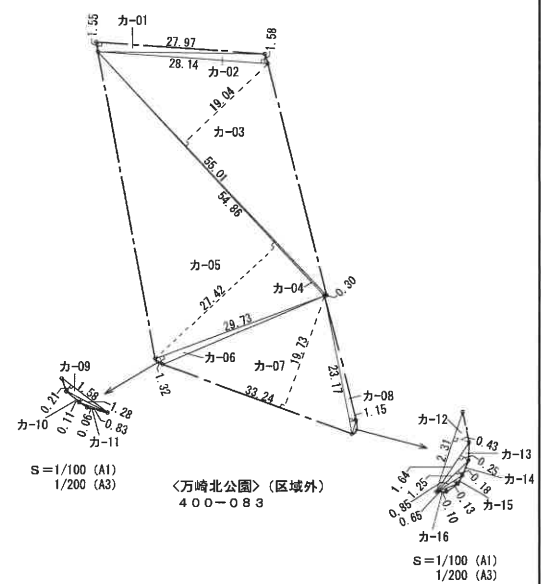
【エ】敷地面積 求積表			
符号	底辺	高さ	倍面積
エ-01	25.71	1.45	37.2795
エ-02	105.17	19.62	2,063.4354
エ-03	90.69	8.98	814.3962
エ-04	82.97	10.77	893.5689
エ-05	78.49	9.15	718.1835
エ-06	77.89	6.69	521.0841
エ-07	77.89	41.37	3,222.3093
エ-08	46.58	4.32	201.2256
エ-09	70.00	9.32	652.4000
エ-10	65.82	1.79	117.8178
エ-11	65.86	9.26	609.8636
計			9,851.5819
二 除 計			4,925.7909
【エ】面積			4,925.79 m ²

【オ】敷地面積 求積表			
符号	底辺	高さ	倍面積
オ-01	65.86	12.60	829.8360
オ-02	64.34	11.44	736.0496
オ-03	63.61	21.84	1,389.2424
オ-04	63.61	1.30	82.6930
オ-05	7.37	0.35	2.5795
オ-06	65.58	6.96	456.4368
オ-07	65.58	41.97	2,752.3926
オ-08	47.24	14.83	700.5692
オ-09	52.95	12.07	639.1065
オ-10	53.57	8.76	469.2732
オ-11	45.87	3.44	157.7928
オ-12	43.47	10.88	472.9536
オ-13	39.54	20.57	813.3378
オ-14	26.79	3.77	100.9983
オ-15	22.58	5.51	124.4158
オ-16	19.08	5.15	98.2620
オ-17	20.59	4.27	87.9193
オ-18	22.77	11.85	269.8245
オ-19	13.25	3.98	52.7350
オ-20	10.54	4.51	47.5354
オ-21	7.31	2.19	16.0089
オ-22	3.50	0.90	3.1500
計			10,303.1122
二 除 計			5,151.5561
【オ】面積			5,151.55 m ²

【ア】～【オ】 合計 面積	
【ア】 + 【イ】 + 【ウ】 + 【エ】 + 【オ】 =	38,181.02 m ²

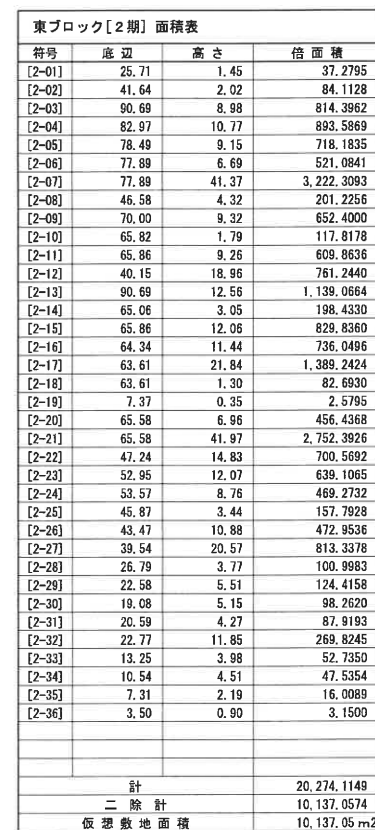
【カ】敷地面積 求積表 (万崎北公園)			
符号	底辺	高さ	倍面積
カ-01	27.97	1.55	43.3535
カ-02	28.14	1.58	44.4612
カ-03	55.01	19.04	1,047.3904
カ-04	55.01	0.30	16.5030
カ-05	54.86	27.42	1,504.2612
カ-06	29.73	1.32	39.2436
カ-07	33.24	19.73	655.8252
カ-08	23.17	1.15	26.6455
カ-09	1.58	0.21	0.3318
カ-10	1.28	0.11	0.1408
カ-11	0.83	0.06	0.0498
カ-12	2.31	0.43	0.9833
カ-13	1.64	0.25	0.4100
カ-14	1.25	0.18	0.2250
カ-15	0.85	0.13	0.1105
カ-16	0.65	0.10	0.0650
計			3,380.0098
二 除 計			1,690.0049
【カ】 (万崎北公園) 面積			1,690.00 m ²

敷地面積	
〔ア〕～〔カ〕 - (万崎北公園) =	38,181.02 - 1,690.00 = 36,491.02 m ²

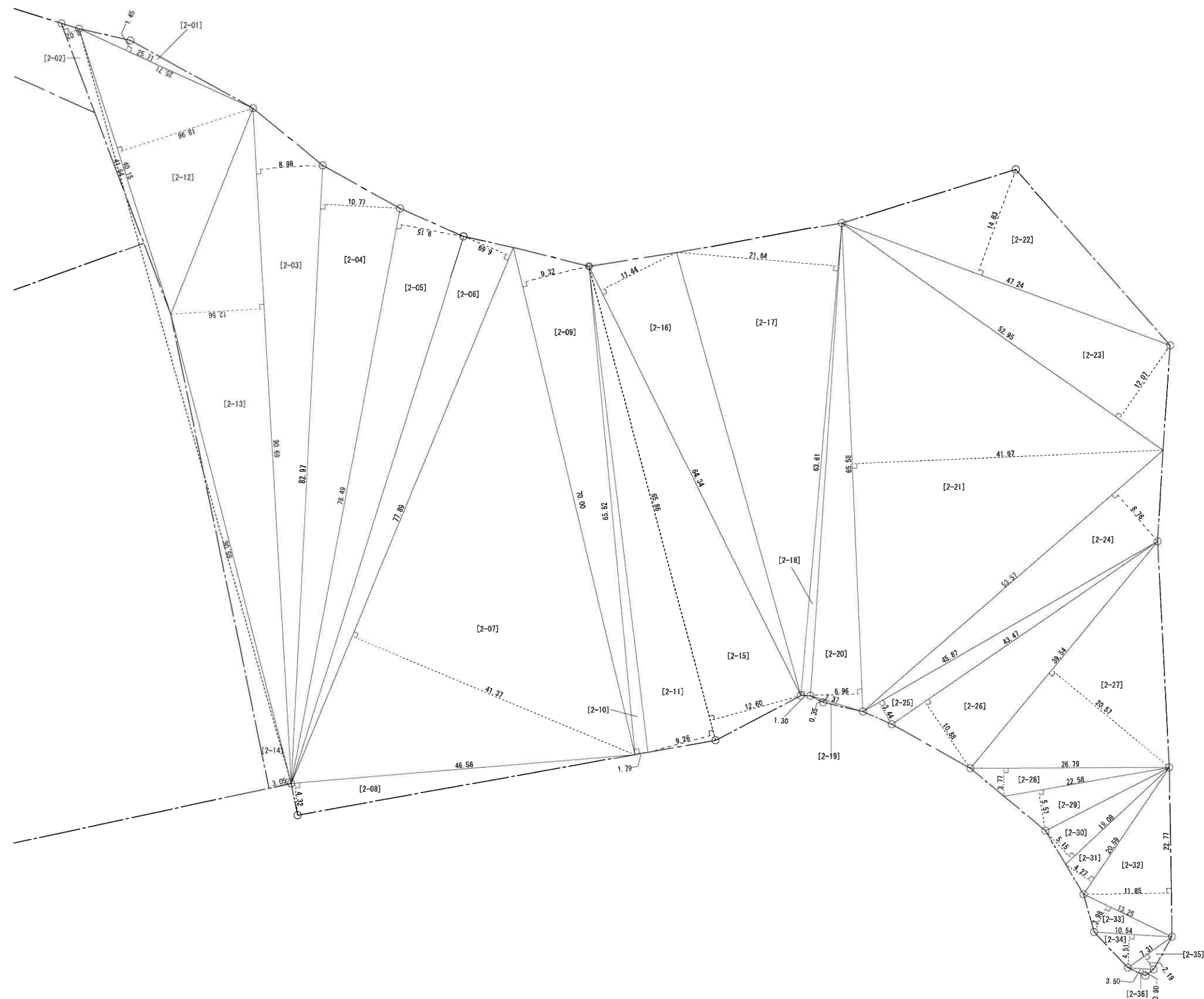


工
事
概
要

工事名称				万崎建替公営住宅第二期建設工事			
図面名称				敷地求積図・面積表			
A3縮尺		1／1,200		A1縮尺		1／600	
堺市 建築都市局 建築部				図面番号		A／019	
原寸法							



10,137.05 m2



【建物（住棟[1]・ごみ置場[14]・自転車置場[2～11]・バイク置場[12,13]）求積図・面積表】（建築基準法）

【面積表】			
名称	計算式		面積等
敷地面積	敷地求積図・求積表より		(10,137.05 m ²) 第二期仮想敷地面積
建築面積	1,249.21 (住棟) + 112.32 (自転車置場) + 41.16 (バイク置場) + 51.00 (ごみ置場)		= 1,453.69 m ²
延床面積	8,345.06 (住棟) + 242.52 (自転車置場) + 71.36 (バイク置場) + 51.00 (ごみ置場)		= 8,709.94 m ²
自動車車庫等の部分面積	8,709.94 (延床面積) ÷ 5 = 1,741.99 m ² > 313.88 (自転車置場 + バイク置場)		判定：〔適合〕
容積率対象床面積	7,938.75 (住棟) + 51.00 (ごみ置場)		= 7,989.75 m ²
建ぺい率	1,453.69 (建築面積) ÷ 36,491.02 (用地全体敷地面積) × 100 = 3.9836 % < 60% (規定値) 判定：〔適合〕		3.98 %
	(1,453.69 (建築面積) ÷ 10,137.05 (第二期仮想敷地面積) × 100 = 14.3403 % < 60% (規定値) 判定：〔適合〕)		(14.35 %)
容積率	7,989.75 (容積率対象面積) ÷ 36,491.02 (用地全体敷地面積) × 100 = 21.8951 % < 200% (規定値) 判定：〔適合〕		21.90 %
	(7,989.75 (容積率対象面積) ÷ 10,137.05 (第二期仮想敷地面積) × 100 = 78.8173 % < 200% (規定値) 判定：〔適合〕)		(78.82 %)
エレベーター昇降路の部分面積 = 84.40 m ²		共同住宅の共用廊下等の部分面積 = 321.91 m ²	

〔住棟〕 建築基準法 建築面積求積表 (m ²)					
記号	記号計算式	記号面積	倍率	計	
㊦	105.100 × 9.800 =	1,029.9800	1	1,029.9800	
㊧	5.100 × 5.750 =	29.3250	1	29.3250	
㊨	0.600 × 3.680 =	2.2080	1	2.2080	
㊩	2.940 × 7.050 =	20.7270	1	20.7270	
㊪	1.480 × 4.400 =	6.5120	2	13.0240	
㊫	1.450 × 4.050 =	5.8725	2	11.7450	
㊬	105.320 × 0.680 =	71.6176	1	71.6176	
㊭	50.280 × 0.680 =	34.1904	1	34.1904	
㊮	50.200 × 0.680 =	34.1360	1	34.1360	
㊯	0.530 × 0.350 =	0.1855	2	0.3710	
㊰	2.870 × 0.380 =	1.0906	1	1.0906	
㊱-1	0.270 × 1.070 =	0.2889	1	0.2889	
㊱-2	0.920 × 0.270 =	0.2484	2	0.4968	
合 計				1,249.2003	
改め計 (建築面積)				1,249.21	

〔住棟〕 建築基準法 床面積 (容積率対象) 求積表 (m ²)					
階	記号	記号計算式	記号面積	倍率	計
1階	1DK (住戸専用)	住戸専用面積 求積図・求積表より	= 40.5610	1	40.5610
	2DK (住戸専用)	住戸専用面積 求積図・求積表より	= 51.4425	11	565.8675
	3DK (住戸専用)	住戸専用面積 求積図・求積表より	= 59.9025	5	299.5125
	㊦	3.400 × 1.200 =	4.0800	8	32.6400
	㊧	4.000 × 1.170 =	4.6800	1	4.6800
	㊨	1.490 × 4.150 =	6.1835	1	6.1835
	㊩	2.900 × 1.300 =	3.7700	1	3.7700
	㊪	1.450 × 2.550 =	3.6975	1	3.6975
	㊫	1.480 × 4.400 =	6.5120	2	13.0240
	㊬	1.450 × 4.050 =	5.8725	2	11.7450
	㊭	0.445 × 2.050 =	0.9122	1	0.9122
	㊮	2.850 × 0.450 =	1.2825	1	1.2825
	㊯	0.270 × 1.070 =	0.2889	1	0.2889
	㊰	0.920 × 0.270 =	0.2484	2	0.4968
	㊱	4.700 × 7.350 =	34.5450	1	34.5450
	㊲	2.000 × 1.280 =	2.5600	1	2.5600
	㊳	2.255 × 2.050 =	4.6227	1	4.6227
	㊴	2.810 × 0.400 =	1.1240	1	1.1240
	㊵	0.600 × 2.080 =	1.2480	1	1.2480
計				1,028.7611	
改め計 (1階 容積率対象面積)				1,028.77	
2～8階	1DK (住戸専用)	住戸専用面積 求積図・求積表より	= 40.5610	2	81.1220
	2DK (住戸専用)	住戸専用面積 求積図・求積表より	= 51.4425	11	565.8675
	3DK (住戸専用)	住戸専用面積 求積図・求積表より	= 59.9025	5	299.5125
	㊦	3.400 × 1.200 =	4.0800	8	32.6400
	㊧	4.000 × 1.170 =	4.6800	1	4.6800
	㊨	2.850 × 0.450 =	1.2825	1	1.2825
	㊯	0.270 × 1.070 =	0.2889	1	0.2889
	㊰	0.920 × 0.270 =	0.2484	2	0.4968
	㊱	0.600 × 2.080 =	1.2480	1	1.2480
	計				987.1382
	改め計 (2～8階 (各階) 容積率対象面積)				987.14
	計 (2～8階 容積率対象面積 計) 987.14 × 7 =				6,909.98
容積率対象面積 合計				7,938.75	

〔エレベーター昇降路の部分・共同住宅の共用廊下等の部分〕 (m ²)			
〔エレベーター昇降路の部分 合計〕	10.55	+	(10.55 × 7) = 84.40
〔共同住宅の共用廊下等の部分 合計〕	44.22	+	(39.67 × 7) = 321.91

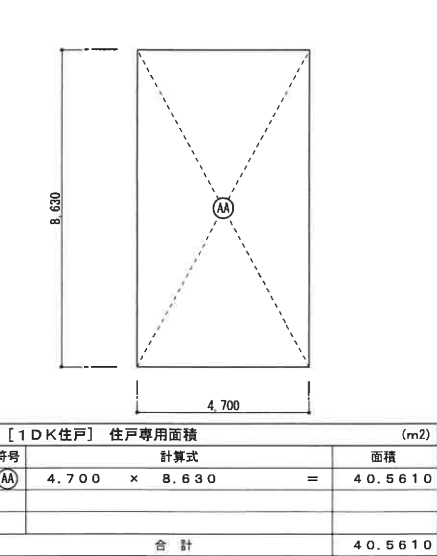
〔住棟〕 建築基準法 床面積 (容積率対象外) 求積表 (m ²)					
階	建築基準法床面積 (容積率対象＋対象外) (容積率対象外面積)			建築基準法床面積 (容積率対象)	
8階	987.14	+	50.22	= 1,037.36	987.14
7階	987.14	+	50.22	= 1,037.36	987.14
6階	987.14	+	50.22	= 1,037.36	987.14
5階	987.14	+	50.22	= 1,037.36	987.14
4階	987.14	+	50.22	= 1,037.36	987.14
3階	987.14	+	50.22	= 1,037.36	987.14
2階	987.14	+	50.22	= 1,037.36	987.14
1階	1,028.77	+	54.77	= 1,083.54	1,028.77
合 計	8,345.06			7,938.75	

[住棟] 建築基準法 床面積 (容積率対象外) 求積表 (m2)								
階	記号	記号計算式		記号面積	倍率	計		
1階	【エレベーター昇降路の部分】							
	①	2.850	×	3.700	=	10.5450	1	10.5450
	計						10.5450	
	改め計 (エレベーター昇降路の部分)						10.55	
	【共同住宅の共用廊下等の部分】							
	⑥	1.830	×	1.170	=	2.1411	1	2.1411
	⑦	8.640	×	1.600	=	13.8240	1	13.8240
	⑧	2.250	×	4.150	=	9.3375	1	9.3375
	⑩	1.450	×	1.600	=	2.3200	1	2.3200
	⑪	1.555	×	0.500	=	0.7775	16	12.4400
	⑫	0.870	×	0.770	=	0.6699	1	0.6699
	⑬	0.270	×	2.000	=	0.5400	1	0.5400
	⑭	0.920	×	1.600	=	1.4720	2	2.9440
	計						44.2165	
改め計 (共同住宅の共用廊下等の部分)						44.22		
計 (1階 容積率対象外面積 計)						54.77		

階	記号	記号計算式			記号面積	倍率	計	
2 ～ 8 階	〔エレベーター昇降路の部分〕							
	①	2.850	×	3.700	=	10.5450	1	10.5450
	計							10.5450
	改め計（エレベーター昇降路の部分）							10.55
	〔共同住宅の共用廊下等の部分〕							
	⑤	2.810	×	0.400	=	1.1240	1	1.1240
	⑧	2.250	×	4.150	=	9.3375	1	9.3375
	⑪	1.555	×	0.500	=	0.7775	16	12.4400
	⑬	0.270	×	2.000	=	0.5400	1	0.5400
⑭	0.920	×	1.600	=	1.4720	2	2.9440	
⑮	5.700	×	1.600	=	9.1200	1	9.1200	
⑯	2.700	×	0.770	=	2.0790	1	2.0790	
⑰	2.700	×	0.770	=	2.0790	1	2.0790	
計								39.6635
改め計（共同住宅の共用廊下等の部分）								39.67
計（2～8階（各階）容積率対象外面積 計）								50.22
計（2～8階 容積率対象外面積 計） 50.22 × 7 =								351.54
容積率対象外面積 合計								406.31

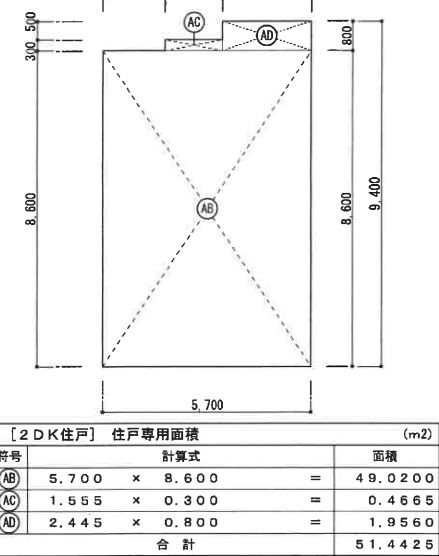
〔住棟〕 住戸専用面積 求積図・求積表

＜1DK住戸＞



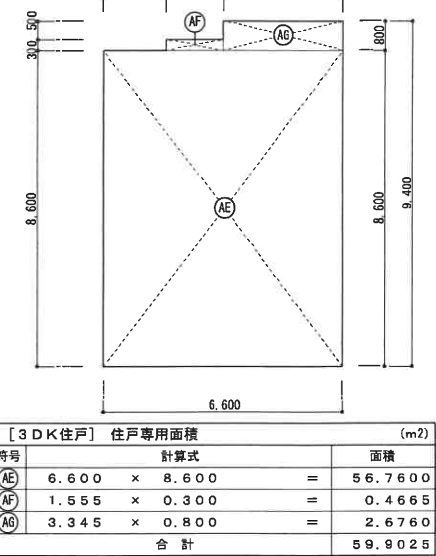
〔1DK住戸〕 住戸専用面積 (m ²)			
符号	計算式	面積	
㊦	4.700 × 8.630 =	40.5610	
合 計		40.5610	

＜2DK住戸＞



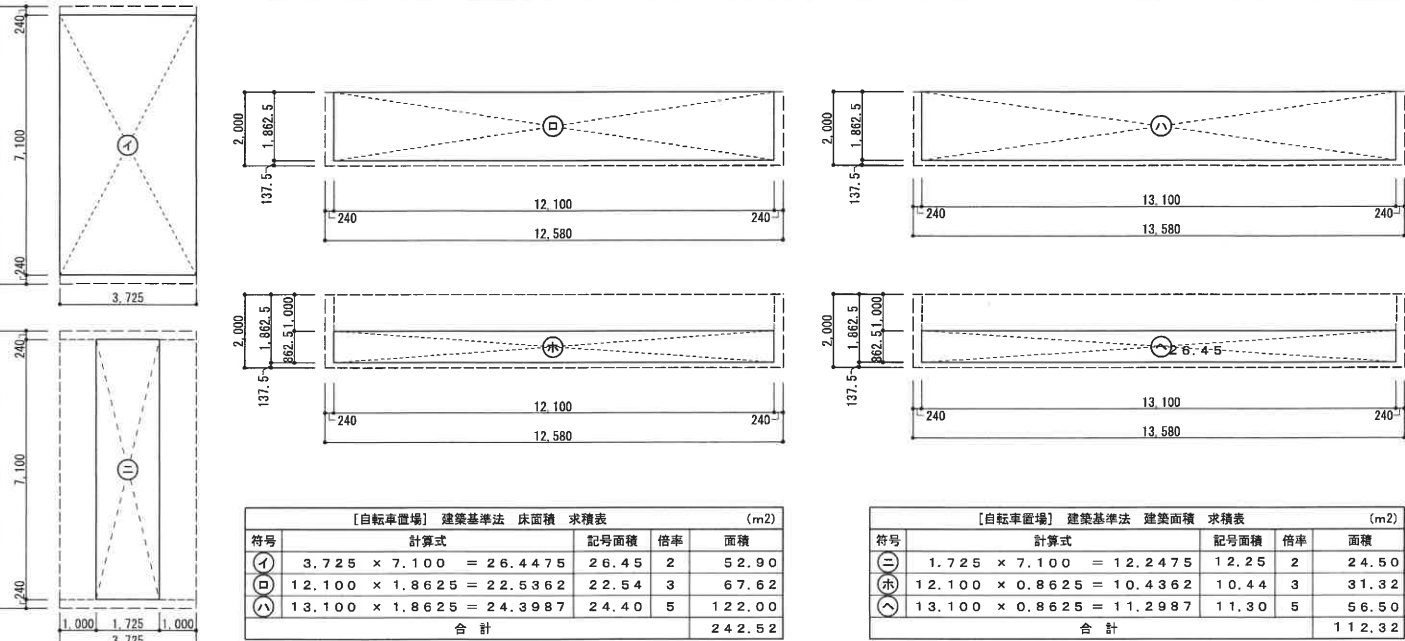
〔2DK住戸〕 住戸専用面積 (m ²)			
符号	計算式	面積	
㊦	5.700 × 8.600 =	49.0200	
㊧	1.555 × 0.300 =	0.4665	
㊨	2.445 × 0.800 =	1.9560	
合 計		51.4425	

＜3DK住戸＞



〔3DK住戸〕 住戸専用面積 (m ²)			
符号	計算式	面積	
㊦	6.600 × 8.600 =	56.7600	
㊧	1.555 × 0.300 =	0.4665	
㊨	3.345 × 0.800 =	2.6760	
合 計		59.9025	

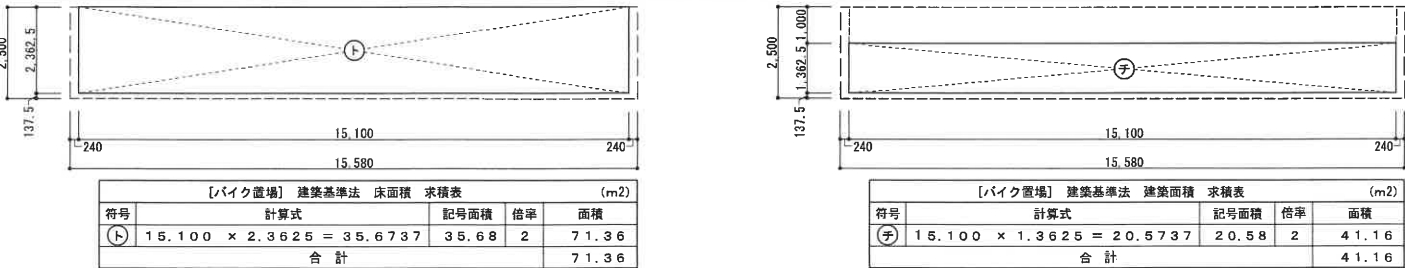
〔自転車置場〕 床面積・建築面積 求積図・求積表



〔自転車置場〕 建築基準法 床面積 求積表 (m ²)				
符号	計算式	記号面積	倍率	面積
㊱	3.725 × 7.100 =	26.4475	2	52.90
㊲	12.100 × 1.8625 =	22.5362	3	67.62
㊳	13.100 × 1.8625 =	24.3987	5	122.00
合 計				242.52

〔自転車置場〕 建築基準法 建築面積 求積表 (m ²)				
符号	計算式	記号面積	倍率	面積
㊴	1.725 × 7.100 =	12.2475	2	24.50
㊵	12.100 × 0.8625 =	10.4362	3	31.32
㊶	13.100 × 0.8625 =	11.2987	5	56.50
合 計				112.32

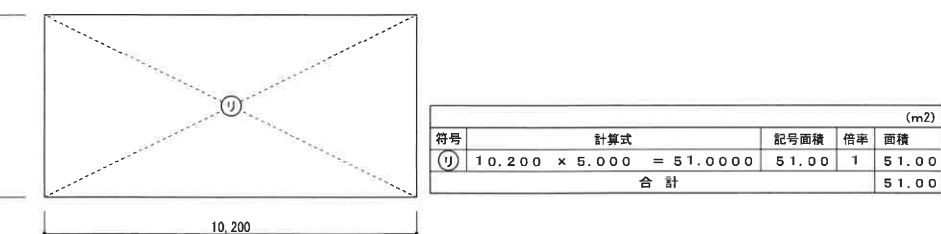
〔バイク置場〕 床面積・建築面積 求積図・求積表



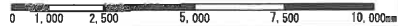
〔バイク置場〕 建築基準法 床面積 求積表 (m ²)			
符号	計算式	記号面積	倍率
㊷	15.100 × 2.3625 =	35.6737	2
合 計		71.36	

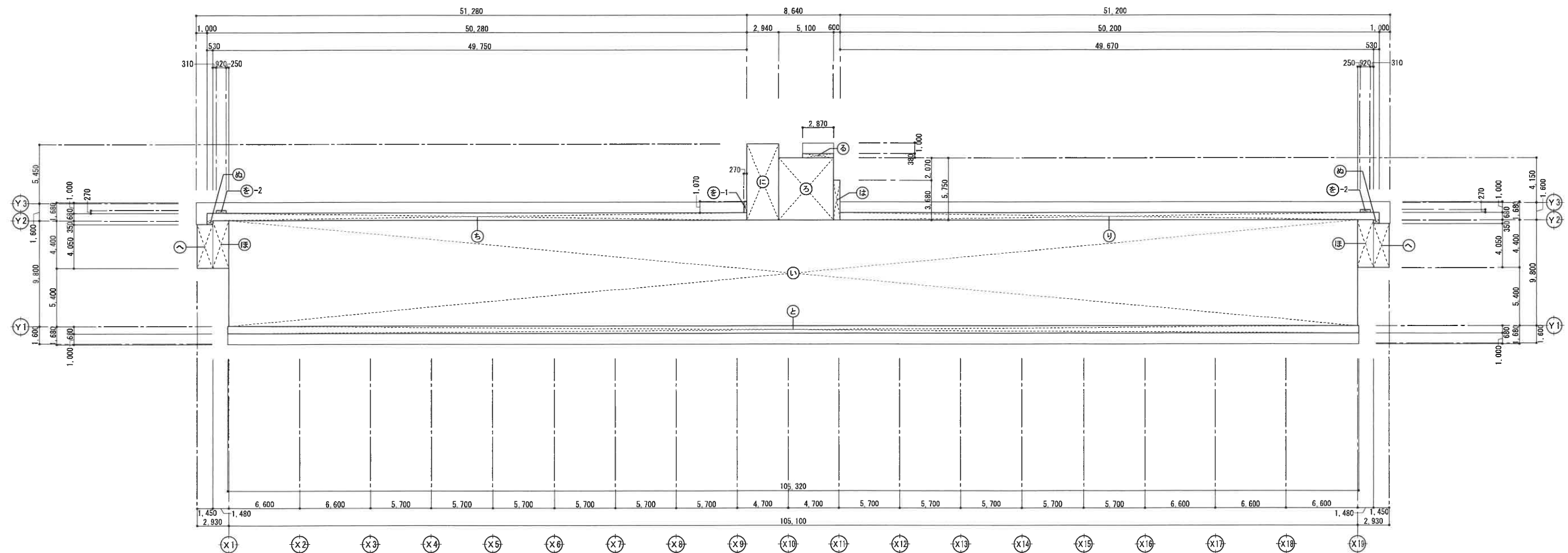
〔バイク置場〕 建築基準法 建築面積 求積表 (m ²)			
符号	計算式	記号面積	倍率
㊸	15.100 × 1.3625 =	20.5737	2
合 計		41.16	

〔ごみ置場〕 床面積・建築面積 求積図・求積表

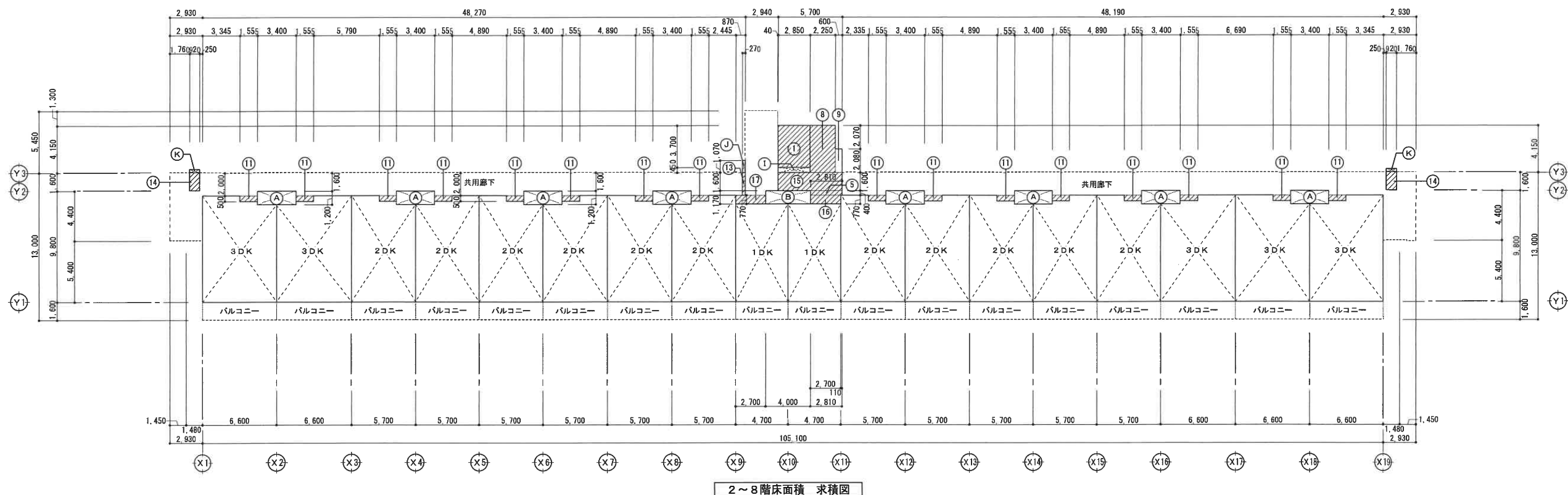


(m ²)			
符号	計算式	記号面積	倍率
㊹	10.200 × 5.000 =	51.0000	1
合 計		51.00	

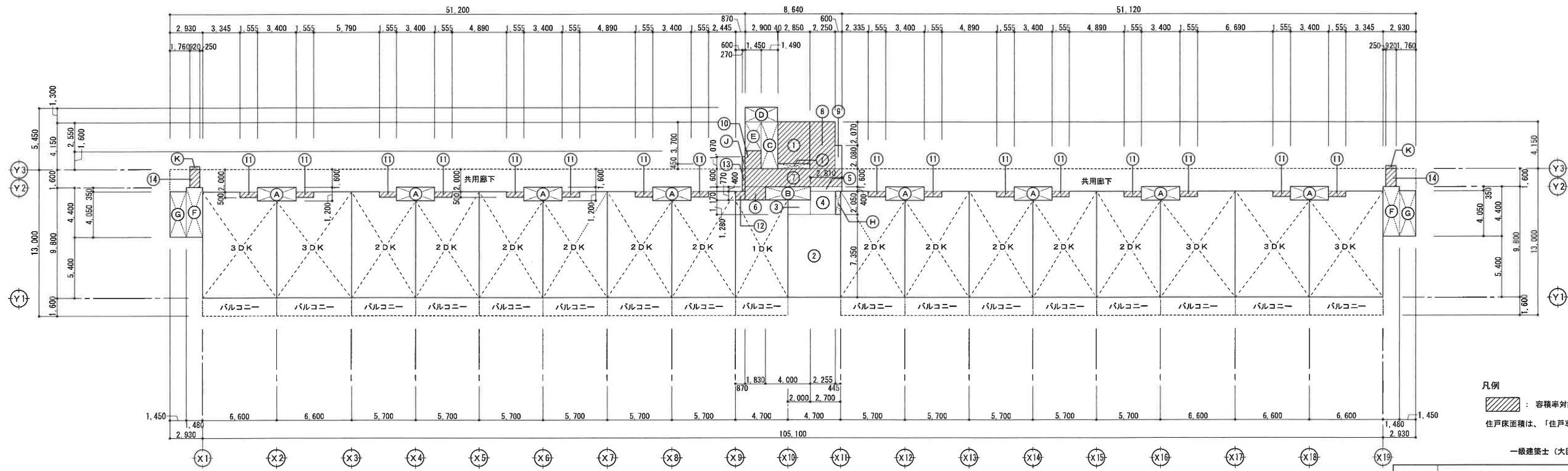
一級建築士（大臣）第251646号 庄田 正			
工事名称	万崎建替公営住宅第二期建設工事		
図面名称	建物求積図・面積表〇1（建築基準法〇1）		
A3縮尺	1／200	A1縮尺	1／100
堺市 建築都市局 建築部	図面番号		A／〇21
原寸法			



工事名称	万崎建替公営住宅第二期建設工事		
図面名称	建物求積図・面積表〇２（建築基準法〇２）		
A3縮尺	1/400	A1縮尺	1/200
堺市 建築都市局 建築部	図面番号		A/〇22
原寸法			



2～8階床面積 求積図



1階床面積 求積図

凡例
：容積率対象外面積部分を示す。
住戸床面積は、「住戸専用面積算定表」による。

一級建築士（大臣）第251646号 庄田 正

工事名称	万崎建替公営住宅第二期建設工事		
図面名称	建物求積図・面積表 〇 3（建築基準法 〇 3）		
A3縮尺	1 / 4 〇 〇	A1縮尺	1 / 2 〇 〇
堺市 建築都市局 建築部	図面番号	A / 〇 2 3	
原寸法			

【建物（住棟）求積図・面積表】（公営住宅法）

【公営住宅法】 床面積 求積表

階

住戸タイプ

戸数

住宅占有面積

住宅共用部面積

階面積 合計

住戸専用面積

バルコニー面積（1／3）

小計

8階

1DKタイプ住戸

2戸

40.5610 × 2

=

81.1220

2.5067 × 2

=

5.0134

86.1354

2DKタイプ住戸

11戸

51.4425 × 11

=

565.8675

3.0400 × 11

=

33.4400

599.3075

3DKタイプ住戸

5戸

59.9025 × 5

=

299.5125

3.5200 × 5

=

17.6000

317.1125

計

18戸

946.5020

56.0534

1,002.5554

318.7868

1,321.3422

7階

1DKタイプ住戸

2戸

40.5610 × 2

=

81.1220

2.5067 × 2

=

5.0134

86.1354

2DKタイプ住戸

11戸

51.4425 × 11

=

565.8675

3.0400 × 11

=

33.4400

599.3075

3DKタイプ住戸

5戸

59.9025 × 5

=

299.5125

3.5200 × 5

=

17.6000

317.1125

計

18戸

946.5020

56.0534

1,002.5554

325.3029

1,327.8583

6階

1DKタイプ住戸

2戸

40.5610 × 2

=

81.1220

2.5067 × 2

=

5.0134

86.1354

2DKタイプ住戸

11戸

51.4425 × 11

=

565.8675

3.0400 × 11

=

33.4400

599.3075

3DKタイプ住戸

5戸

59.9025 × 5

=

299.5125

3.5200 × 5

=

17.6000

317.1125

計

18戸

946.5020

56.0534

1,002.5554

325.3029

1,327.8583

5階

1DKタイプ住戸

2戸

40.5610 × 2

=

81.1220

2.5067 × 2

=

5.0134

86.1354

2DKタイプ住戸

11戸

51.4425 × 11

=

565.8675

3.0400 × 11

=

33.4400

599.3075

3DKタイプ住戸

5戸

59.9025 × 5

=

299.5125

3.5200 × 5

=

17.6000

317.1125

計

18戸

946.5020

56.0534

1,002.5554

325.3029

1,327.8583

4階

1DKタイプ住戸

2戸

40.5610 × 2

=

81.1220

2.5067 × 2

=

5.0134

86.1354

2DKタイプ住戸

11戸

51.4425 × 11

=

565.8675

3.0400 × 11

=

33.4400

599.3075

3DKタイプ住戸

5戸

59.9025 × 5

=

299.5125

3.5200 × 5

=

17.6000

317.1125

計

18戸

946.5020

56.0534

1,002.5554

325.3029

1,327.8583

3階

1DKタイプ住戸

2戸

40.5610 × 2

=

81.1220

2.5067 × 2

=

5.0134

86.1354

2DKタイプ住戸

11戸

51.4425 × 11

=

565.8675

3.0400 × 11

=

33.4400

599.3075

3DKタイプ住戸

5戸

59.9025 × 5

=

299.5125

3.5200 × 5

=

17.6000

317.1125

計

18戸

946.5020

56.0534

1,002.5554

325.3029

1,327.8583

2階

1DKタイプ住戸

2戸

40.5610 × 2

=

81.1220

2.5067 × 2

=

5.0134

86.1354

2DKタイプ住戸

11戸

51.4425 × 11

=

565.8675

3.0400 × 11

=

33.4400

599.3075

3DKタイプ住戸

5戸

59.9025 × 5

=

299.5125

3.5200 × 5

=

17.6000

317.1125

計

18戸

946.5020

56.0534

1,002.5554

325.3029

1,327.8583

1階

1DKタイプ住戸

1戸

40.5610 × 1

=

40.5610

2.5067 × 1

=

2.5067

43.0677

2DKタイプ住戸

11戸

51.4425 × 11

=

565.8675

3.0400 × 11

=

33.4400

599.3075

3DKタイプ住戸

5戸

59.9025 × 5

=

299.5125

3.5200 × 5

=

17.6000

317.1125

計

17戸

905.9410

53.5467

959.4877

365.8639

1,325.3516

合計

1DKタイプ住戸

15戸

40.5610 × 15

=

608.4150

2.5067 × 15

=

37.6005

646.0155

2DKタイプ住戸

88戸

51.4425 × 88

=

4,526.9400

3.0400 × 88

=

267.5200

4,794.4600

3DKタイプ住戸

40戸

59.9025 × 40

=

2,396.1000

3.5200 × 40

=

140.8000

計

143戸

7,531.4550

445.9205

2,536.9000

2,636.4681

10,613.8436

戸当り床面積

7,531.4550

／

143戸

=

52.6675

445.9205

／

143戸

=

3.1183

55.7858

2,636.4681

／

143戸

=

18.4368

74.2226

【公営住宅法】 住宅共用部面積 求積表

1階 住宅共用部面積 求積表

符号

計算式

符号面積 (㎡)

①

4.700 × 8.630 × 1

=

40.5610

②

9.400 × 2.770 × 1

=

26.0380

③

8.910 × 1.070 × 1

=

9.5337

④

8.640 × 1.010 × 1

=

8.7264

⑤

8.040 × 2.070 × 1

=

16.6428

⑥

2.940 × 1.300 × 1

=

3.8220

⑦

2.445 × 2.000 × 1

=

4.8900

⑧

2.335 × 2.000 × 1

=

4.6700

⑨

1.555 × 2.500 × 16

=

62.2000

⑩

3.400 × 2.800 × 8

=

76.1600

⑪

4.890 × 2.000 × 4

=

39.1200

⑫

5.790 × 2.000 × 1

=

11.5800

⑬

6.690 × 2.000 × 1

=

13.3800

⑭

3.345 × 2.000 × 2

=

13.3800

⑮

2.930 × 6.000 × 2

=

35.1600

2～7階 (階面積) 住宅共用部面積 求積表

符号

計算式

符号面積 (㎡)

②

9.400 × 2.770 × 1

=

26.0380

③

8.910 × 1.070 × 1

=

9.5337

④

8.640 × 1.010 × 1

=

8.7264

⑤

8.040 × 2.070 × 1

=

16.6428

⑥

2.940 × 1.300 × 1

=

3.8220

⑦

2.445 × 2.000 × 1

=

4.8900

⑧

2.335 × 2.000 × 1

=

4.6700

⑨

1.555 × 2.500 × 16

=

62.2000

⑩

3.400 × 2.800 × 8

=

76.1600

⑪

4.890 × 2.000 × 4

=

39.1200

⑫

5.790 × 2.000 × 1

=

11.5800

⑬

6.690 × 2.000 × 1

=

13.3800

⑭

3.345 × 2.000 × 2

=

13.3800

⑮

2.930 × 6.000 × 2

=

35.1600

8階 住宅共用部面積 求積表

符号

計算式

符号面積 (㎡)

②

9.400 × 2.770 × 1

=

26.0380

③

8.910 × 1.070 × 1

=

9.5337

④

8.640 × 1.010 × 1

=

8.7264

⑤

8.040 × 2.070 × 1

=

16.6428

⑥

2.940 × 1.300 × 1

=

3.8220

⑦

2.445 × 2.000 × 1

=

4.8900

⑧

2.335 × 2.000 × 1

=

4.6700

⑨

1.555 × 2.500 × 16

=

62.2000

⑩

3.400 × 2.800 × 8

=

76.1600

⑪

4.890 × 2.000 × 4

=

39.1200

⑫

5.790 × 2.000 × 1

=

11.5800

⑬

6.690 × 2.000 × 1

=

13.3800

⑭

3.345 × 2.000 × 2

=

13.3800

⑮

2.930 × 6.000 × 2

=

35.1600

1階 住宅共用部面積 合計

365.8639

2～7階 (階面積) 住宅共用部面積 合計

325.3029

8階 住宅共用部面積 合計

318.7868

【住戸】 住戸専用面積・住戸占有面積 求積図・求積表

【A】 1DKタイプ住戸（15戸）

符号等

計算式

面積 (㎡)

住戸専用面積

①

4.700 × 8.630

=

40.5610

②

③

④

計

40.5610

⑤

4.700 × 1.600 × 1／3

=

2.5067

計

2.5067

バルコニー面積 (× 1/3)

住宅共用部面積

2,630.9367 × (40.5610 / 7,531.4550)

=

14.1690

1DKタイプ住戸 合計 (住宅占有面積)

57.2367

【B】 2DKタイプ住戸（8戸）

符号等

計算式

面積 (㎡)

住戸専用面積

⑥

5.700 × 8.600

=

49.0200

⑦

1.555 × 0.300

=

0.4665

⑧

2.445 × 0.800

=

1.9560

計

51.4425

⑨

5.700 × 1.600 × 1／3

=

3.0400

計

3.0400

バルコニー面積 (× 1/3)

住宅共用部面積

2,630.9367 × (51.4425 / 7,531.4550)

=

17.9702

2DKタイプ住戸 合計 (住宅占有面積)

72.4527

【C】 3DKタイプ住戸（40戸）

符号等

計算式

面積 (㎡)

住戸専用面積

⑥

6.600 × 8.600

=

56.7600

⑦

1.555 × 0.300

=

0.4665

⑧

3.345 × 0.800

=

2.6760

計

59.9025

⑨

6.600 × 1.600 × 1／3

=

3.5200

計

3.5200

バルコニー面積 (× 1/3)

住宅共用部面積

2,630.9367 × (59.9025 / 7,531.4550)

=

20.9255

3DKタイプ住戸 合計 (住宅占有面積)

84.3480

工事名称

万崎建替公営住宅第二期建設工事

図面名称

建物求積図・面積表04（公営住宅法01）

A3縮尺

1／200

A1縮尺

1／100

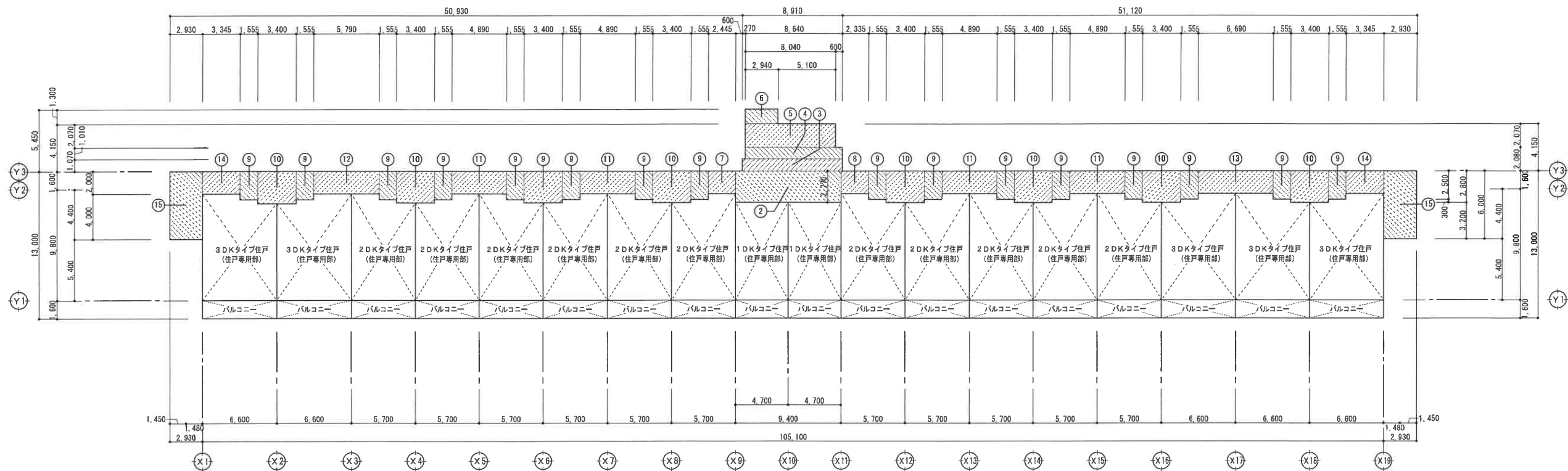
堺市 建築都市局 建築部

図面番号

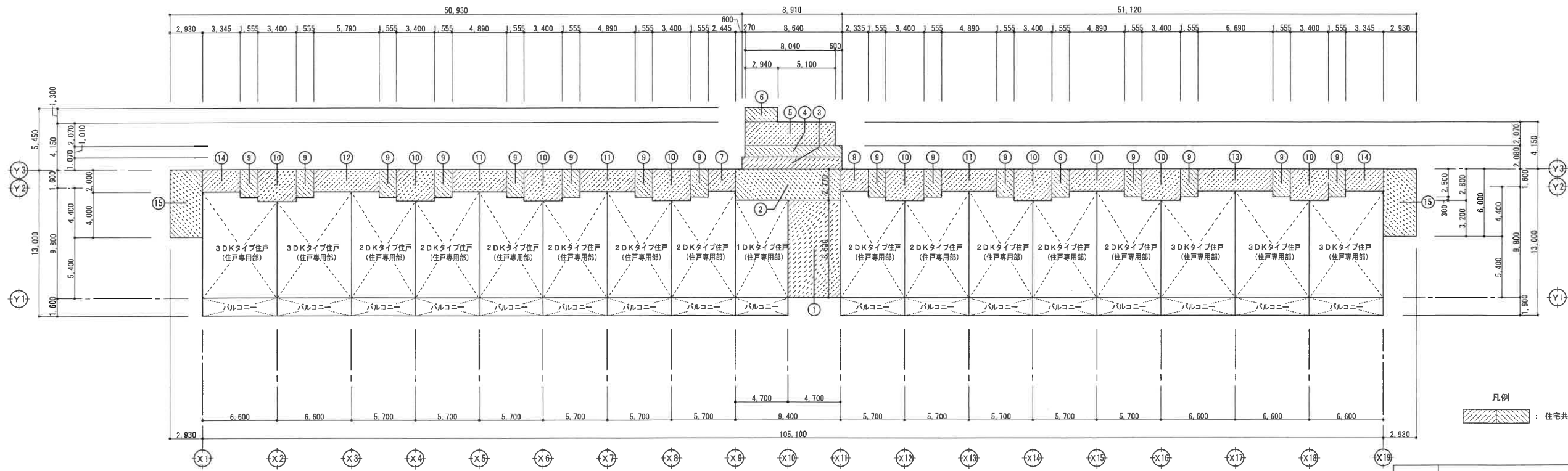
A / 024

原寸法

0 1,000 2,500 5,000 7,500 10,000



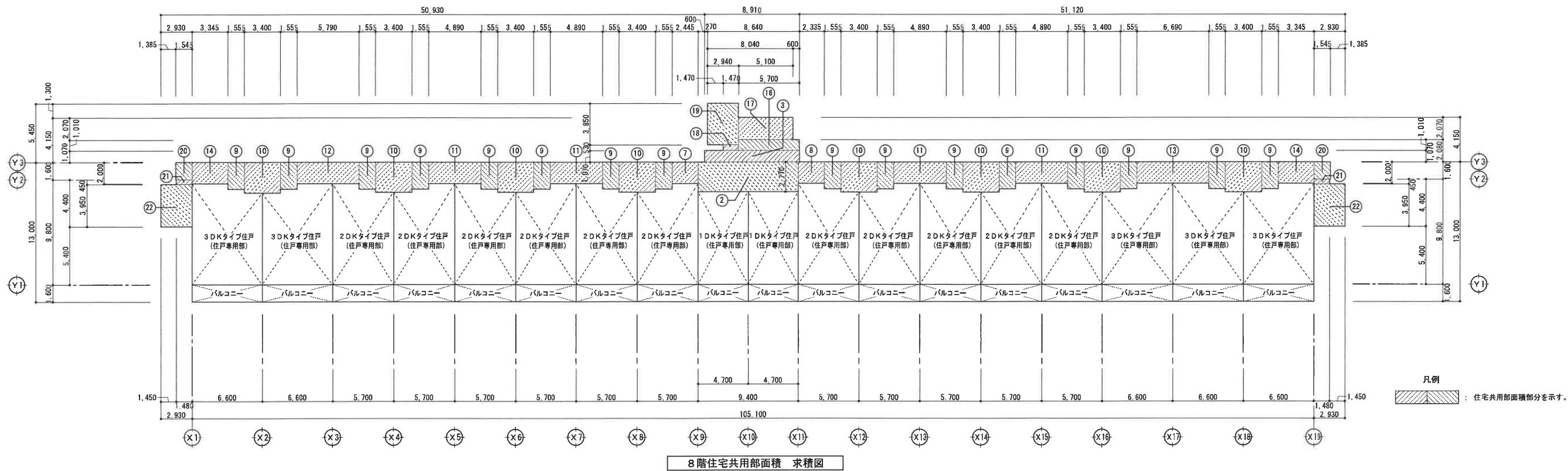
2～7階住宅共用部面積 求積図



1階住宅共用部面積 求積図

凡例
: 住宅共用部面積部分を示す。

工事名称	万崎建替公営住宅第二期建設工事		
図面名称	建物求積図・面積表 〇 5（公営住宅法 〇 2）		
A 3 縮尺	1 / 4 〇 〇	A 1 縮尺	1 / 2 〇 〇
堺市 建築都市局 建築部	図面番号		A / 〇 2 5
原寸法	0 2,000 5,000 10,000 15,000 20,000mm		



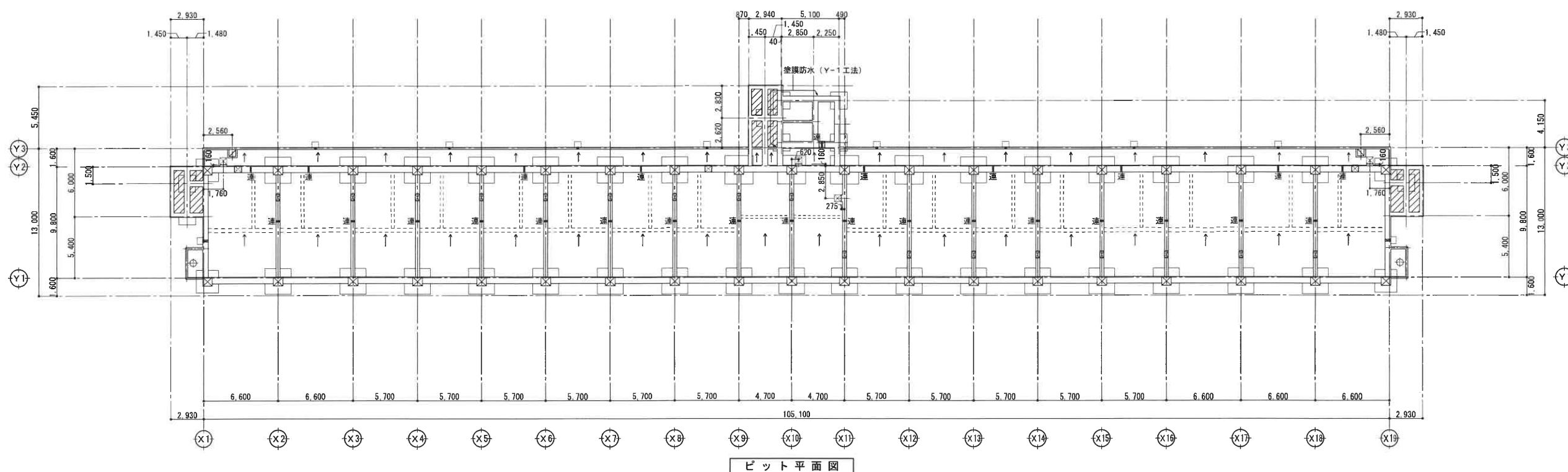
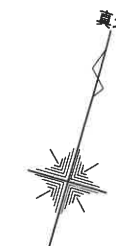
工事名称	万崎建替公営住宅第二期建設工事		
図面名称	建物求積図・面積表 06（公営住宅法 03）		
A3縮尺	1／400	A1縮尺	1／200
堺市 建築都市局 建築部	図面番号		A／026
原寸法	02,0005,00010,00015,00020,000mm		



工 事 概 要	【第2期工事 計画住戸数】		【附帯施設】	
	住戸タイプ	戸数	駐車場	86台 60.13% ≥ 60%
	1DK住戸	15戸	自転車置場	258台 (12棟) 180.41% ≥ 180%
	2DK住戸	88戸	バイク置場	30台 (2棟) 20.97% ≥ 20%
	3DK住戸	40戸	コンテナ25台 (1棟)	(生活ごみ15台 10戸/台)
	合 計	143戸		(資源ごみ10台 15戸/台)

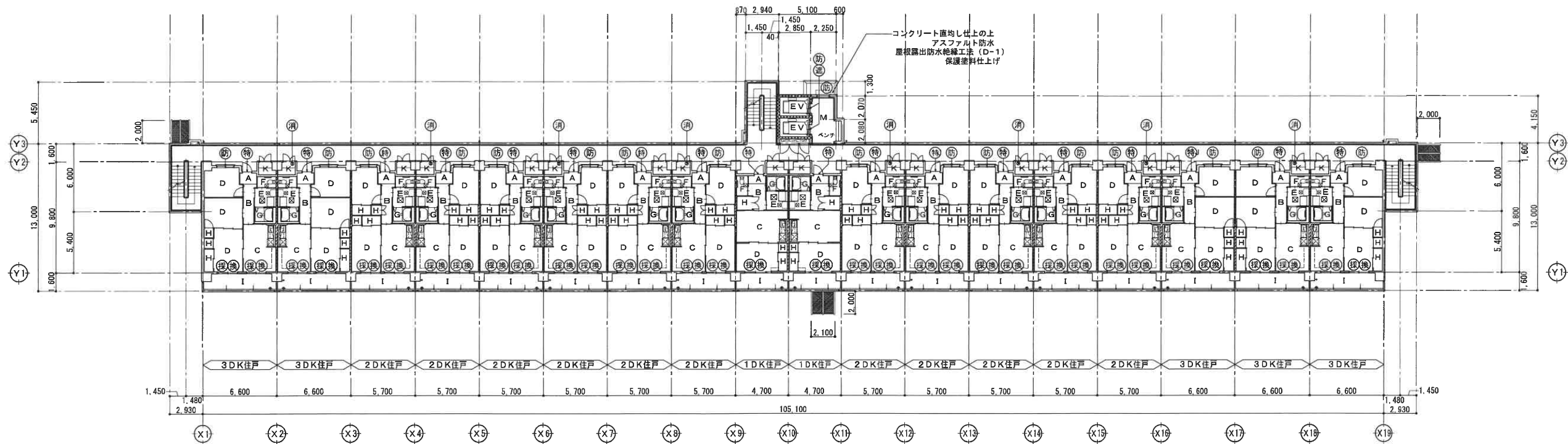
①：棟番号を示す

工事名称	万崎建替公営住宅第二期建設工事		
図面名称	配置図		
A3縮尺	1／500	A1縮尺	1／250
堺市 建築都市局 建築部	図面番号	A／029	
原寸法			

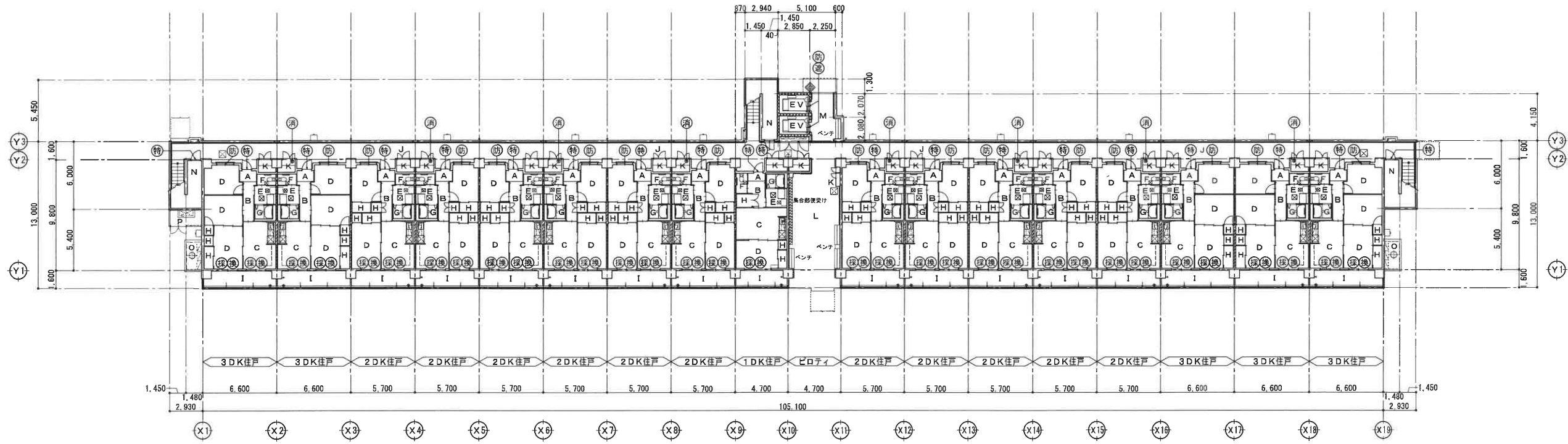


※ スリーブ位置は、「ピット展開図 01・02」による。

[illegible]



2 階 平 面 図



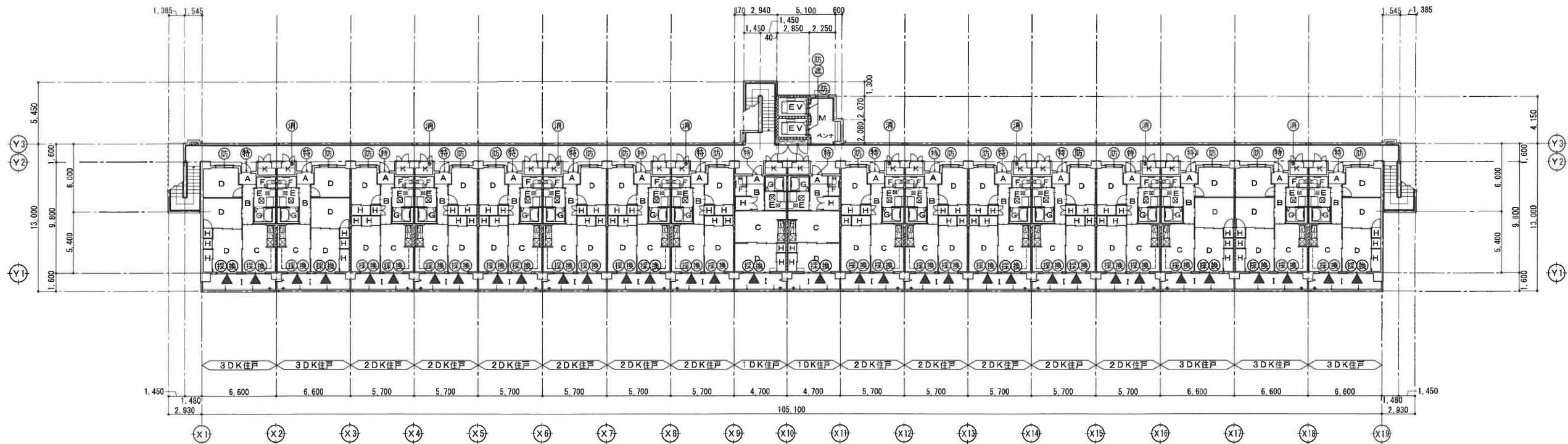
1 階 平 面 図

- 【室名凡例】
- A : 玄関
 - B : 廊下
 - C : DK
 - D : 洋室
 - E : 洗面室
 - F : 便所
 - G : 浴室
 - H : 物入
 - I : バルコニー
 - J : 共用廊下
 - K : PS・MB
 - L : ピロティ
 - M : EVホール
 - N : 倉庫
 - O : 引込閉鎖器置場
 - P : ポンプ設備架台基礎

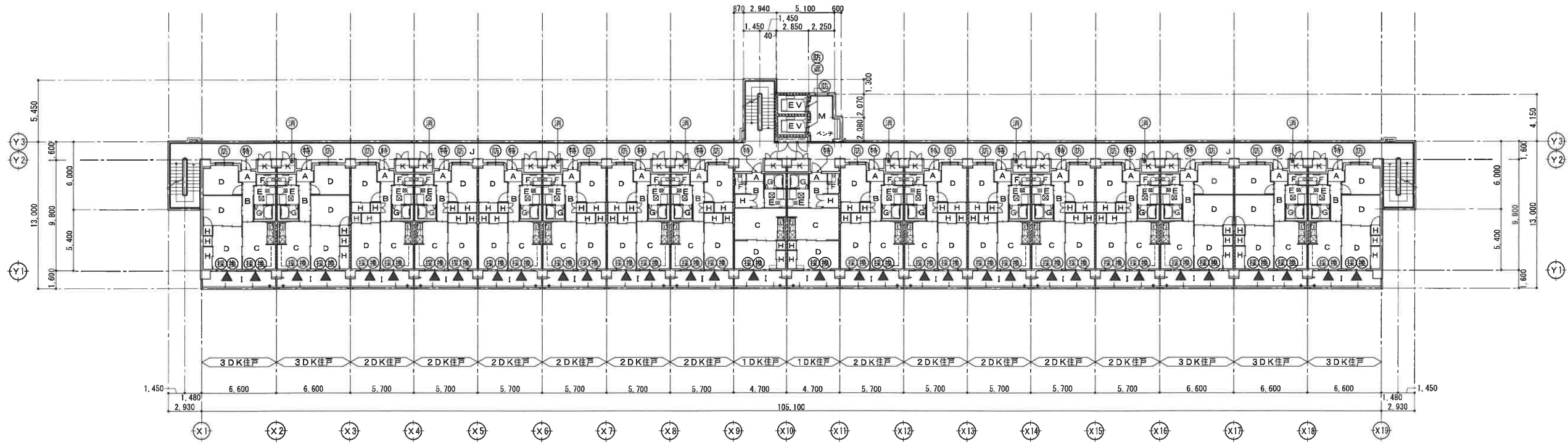
【計画戸数】

1DK住戸	15戸
2DK住戸	88戸
3DK住戸	40戸
合 計	143戸

凡 例	特定防火設備 (常時閉鎖)	非常用出入口 (代替出入口) ※3階以上のみ	触知案内板						工事名称	万崎建替公営住宅第二期建設工事			
	法第2条第9号の2・ロによる防火設備	床下点検口 (600×600)							図面名称	平面図02 (1・2階 (全体))			
	消火器設置場所 (ABC粉末消火器10号)	界壁 (RC造)							A3縮尺	1/400	A1縮尺	1/200	
	法第28条第1項に規定する開口部	壁穴区画							堺市	建築都市局	建築部	図面番号	A / 031
	法第28条第2項に規定する開口部								原寸法 0 2,000 5,000 10,000 15,000 20,000mm				
	遮煙性能付き扉 (常時閉鎖)												



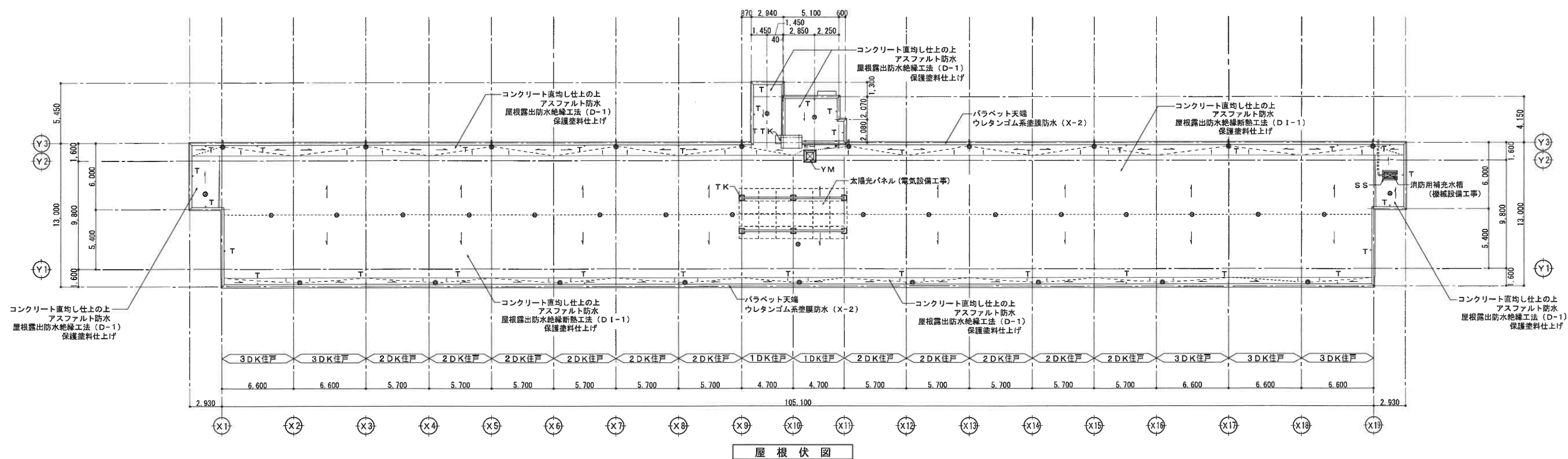
【室名凡例】
A：玄関
B：廊下
C：DK
D：洋室
E：洗面室
F：便所
G：浴室
H：物入
I：バルコニー
J：共用廊下
K：PS・MB
L：ビロティ
M：EVホール
N：倉庫

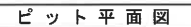
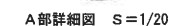


[計画戸数]

1DK住戸	15戸
2DK住戸	88戸
3DK住戸	40戸
合 計	143戸

[illegible]

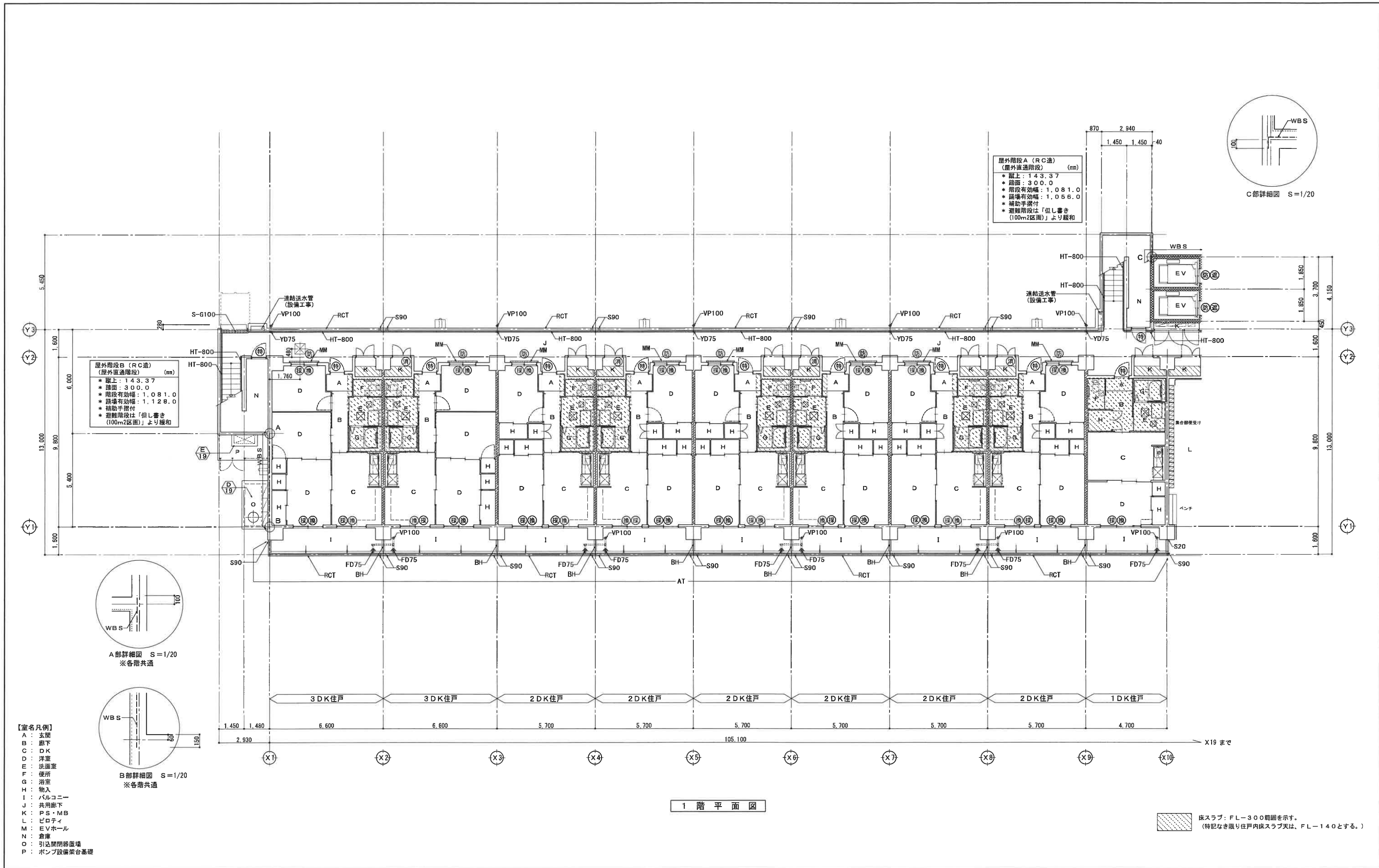
[illegible]



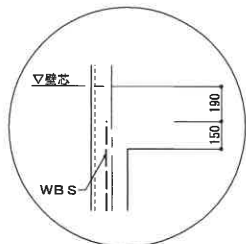
※ スリーブの割付寸法は、A-046・047図による

■機械設備スリーブ一覧		
M 1 φ	φ 200	設置位置： A-046、047による
M 2 φ	φ 125	
M 3 φ	φ 100	
M 4 φ	φ 75	
G 1 φ	φ 200	雑排水管（別途工事）
G 2 φ	φ 125	給水管（別途工事）
G 3 φ	φ 75	ガス管（別途工事）

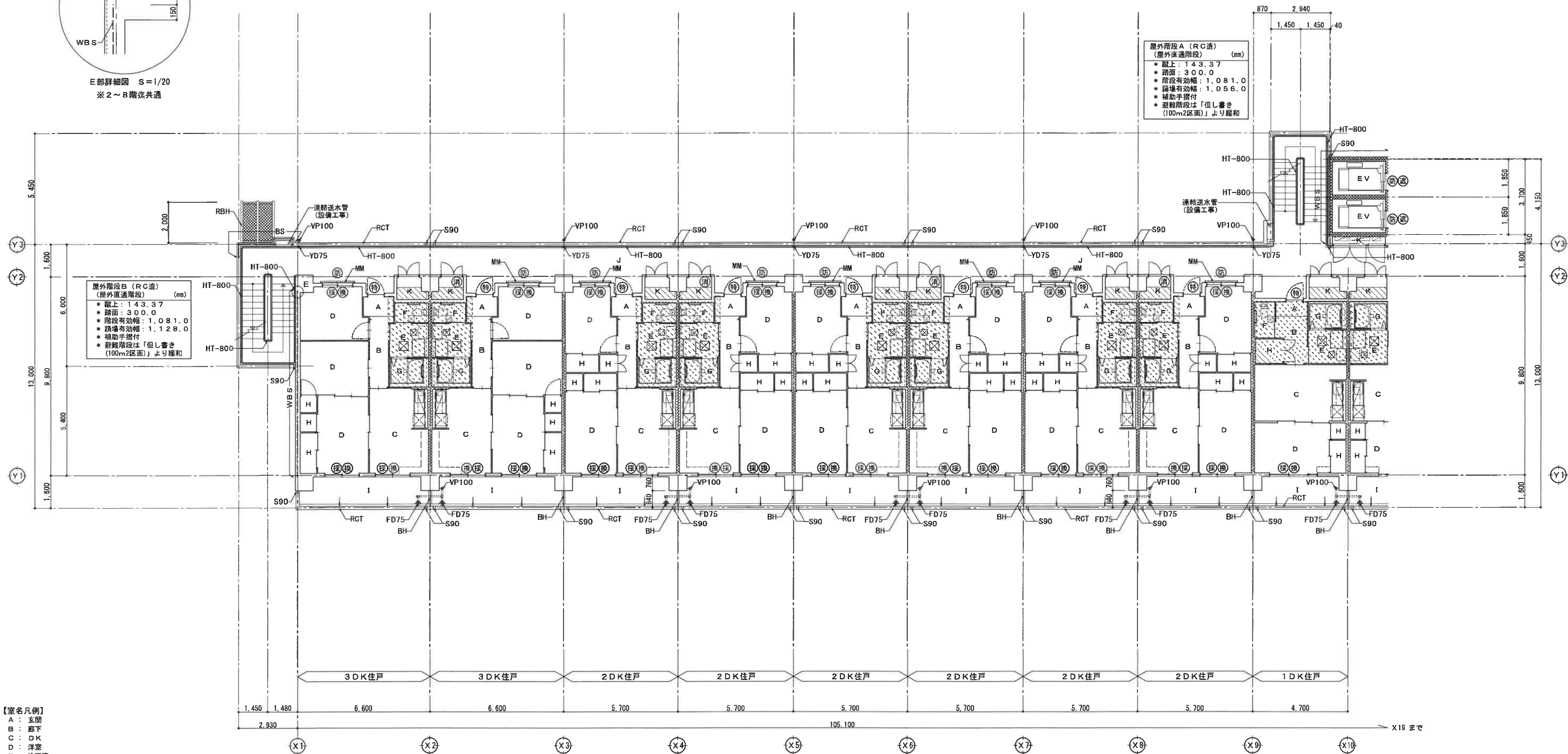
[illegible]



凡 例	(特)	特定防火設備 (常時閉鎖)	▲	非常用進入口 (代替進入口) を示す。※3階以上のみ	VP75	壁礎 (VP-φ75・GL部は掃除口付)		BH	バルコニー隔板 (有効開口 600mm以上)		RCT	コンクリート手摺		WBS	水膨張系止水板を示す。(壁厚 (増打ちを含む) に対し、増打ち厚さ以上、且つ打継目地と止水板を併せた断面欠損率は25%以下とすること。)	工事名称	万寿建替公営住宅第二期建設工事
	(防)	法第2条第9号の2・ロによる防火設備	☒	床下点検口 (600×600) を示す。	VP100	壁礎 (VP-φ100・GL部は掃除口付)		HT-800	アルミ製補助手摺		AT	アルミ製手摺 (トップレールタイプ) 1Fのみ				図面名称	平面図07 (1階 (X1〜X10))
	(消)	消火器設置場所 (ABC粉末消火器10号)	////	界壁 (RC造) を示す。	FD75	縦型ドレイン (フロア) φ75		RBH	落下防止庇							A3縮尺	1/40 1/200 A1縮尺 1/20 1/100
	(換)	法第28条第1項に規定する開口部	=====	壁穴区画を示す	RYD75	横引きドレイン (ルーフ) φ75		BS	防護柵 (開放率 80%以上)							堺市	建築都市局 建築部
	(換)	法第28条第2項に規定する開口部			YD75	横引きドレイン (フロア) φ75		S-G100	ステンレス製グレーチング (細目、ノンスリップ) G (溝巾)							図面番号	A / 036
	(遮)	遮煙性能付き扉 (常時閉鎖)			MM	窓面格子		S90	手摺壁 スリット幅 90mm		S20	袖壁 スリット幅 20mm (スタイロセ20の上シーリング)				原寸法	



E部詳細図 S=1/20
※2～8階迄共通



【室名凡例】

- A : 玄関
B : 廊下
C : DK
D : 洋室
E : 洗面室
F : 便所
G : 浴室
H : 物入
I : バルコニー
J : 共用廊下
K : PS・MB
L : ビロティ
M : EVホール
N : 倉庫

2 階 平 面 図

床スラブ: FL-300範囲を示す。
(特記なき限り住戸内床スラブ又は、FL-140とする。)

凡例	(特)	特定防火設備 (常時閉鎖)	▲	非常用出入口 (代替出入口) を示す。 ※3階以上のみ	VP75	壁樋 (VP-φ75・GL部は掃除口付)	A6/A7	BH	バルコニー隔板 (有効開口 600mm以上)	A13	RCT	コンクリート手摺	A14/A21	WBS	水廻り止水板を示す。(壁厚(増打ちを含む)に対し、増打ち厚さ以上、且つ打継目地と止水板を併せた断面欠損率は25%以下とすること。)	工事名称	万崎建替公営住宅第二期建設工事
	(防)	法第2条第9号の2・ロによる防火設備	☒	床下点検口 (600×600) を示す。	VP100	壁樋 (VP-φ100・GL部は掃除口付)	A6/A7	HT-800	アルミ製補助手摺	A38	AT	アルミ製手摺 (トップレールタイプ) 1Fのみ	D23			図面名称	平面図09 (2階 (X1～X10))
	(消)	消火器設置場所 (ABC粉末消火器10号)	////	界壁 (RC造) を示す。	FD75	縦型ドレイン (フロア) φ75	A/A	RBH	落下防止底	D14		ビット換気孔	D4			A3縮尺	1/40 1/200 A1縮尺 1/20 1/100
	(開)	法第28条第1項に規定する開口部		窓穴区画を示す	RYD75	横引きドレイン (ルーフ) φ75	A/B	BS	防護柵 (開放率 80%以上)	D17		物干金物 (手摺・壁付け型)	A10			堺市	建築都市局 建築部
	(施)	法第28条第2項に規定する開口部			YD75	横引きドレイン (フロア) φ75	A21	S-G100	ステンレス製グレーチング (細目、ノンスリップ) G (満巾)	D18		触知案内板	A47			図面番号	A / 038
	(温)	温感性能付き扉 (常時閉鎖)			MM	窓面格子	A29	S90	手摺壁 スリット幅 90mm	A31						原寸法	0 1,000 2,500 5,000 7,500 10,000mm

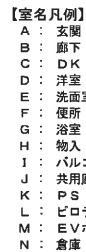


- 【室名凡例】
- A : 玄関
 - B : 廊下
 - C : DDK
 - D : 洋室
 - E : 洗面室
 - F : 便所
 - G : 浴室
 - H : 物入
 - I : バルコニー
 - J : 共用廊下
 - K : PS・MB
 - L : ビロティ
 - M : EVホール
 - N : 倉庫

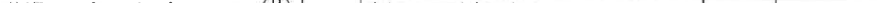
2 階 平 面 図

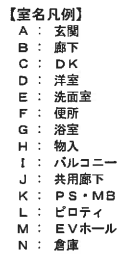
床スラブ：FL-300範囲を示す。
(特記なき限り住戸内床スラブ天は、FL-140とする。)

凡 例	(特)	特定防火設備 (常時閉鎖)	▲	非常用進入口 (代替進入口) を示す。※3階以上のみ	VP75	壁種 (VP-φ75・GL部は掃除口付)		BH	バルコニー隔板 (有効開口 600mm以上)		RCT	コンクリート手摺		WBS	水膨張系止水板を示す。(壁厚(増打ちを含む)に対し、増打ち厚さ以上、且つ打継目地と止水板を併せた断面欠損率は25%以下とすること。)	工事名称	万崎建替公営住宅第二期建設工事
	(防)	法第2条第9号の2・ロによる防火設備	☒	床下点検口 (600×600) を示す。	VP100	壁種 (VP-φ100・GL部は掃除口付)		HT-800	アルミ製補助手摺		AT	アルミ製手摺 (トップレールタイプ) 1Fのみ				図面名称	平面図10 (2階 (X10～X19))
	(消)	消火器設置場所 (ABC粉末消火器10号)	////	界壁 (RC造) を示す。	FD75	縦型ドレイン (フロア) φ75		RBH	落下防止底			ビット換気孔				A3縮尺	1/40 1/200 A1縮尺 1/201/100
	(開)	法第28条第1項に規定する開口部	xxxx	壁穴区画を示す	RYD75	横引きドレイン (ルーフ) φ75		BS	防護柵 (開放率 80%以上)			物干金物 (手摺・壁付け型)				堺市 建築都市局 建築部	図面番号 A / O 39
	(換)	法第28条第2項に規定する開口部			YD75	横引きドレイン (フロア) φ75		S-G100	ステンレス製グレーチング (細目・ノンスリップ) G (溝巾)			触知案内板				原寸法	0 1,000 2,500 5,000 7,500 10,000mm
	(遮)	遮煙性能付き扉 (常時閉鎖)			MM	窓面格子		S90	手摺壁 スリット幅 90mm								



 床スラブ：FL-300範囲を示す。
(特記なき限り住戸内床スラブ天は、FL-140とする。)

凡 例	特	特定防火設備（常時閉鎖）	▲	非常用出入口（代替出入口）を示す。※3層以上のみ	VP75	壁樋（VP-φ75・G.L.部は排除口付）		BH	バルコニー隔板（有効開口 600mm以上）		RCT	コンクリート手摺		WBS	水廻張糸止水板を示す。（壁厚（増打ちを含む）に対し、増打ち厚さ以上、且つ打継目地と止水板を併せた断面欠損率は25%以下とすること。）	工事名称	万崎建替公営住宅第二期建設工事			
	防	法第2条第9号の2・ロによる防火設備	☒	床下接点口（600×600）を示す。	VP100	壁樋（VP-φ100・G.L.部は排除口付）		HT-800	アルミ製補助手摺		A T	アルミ製手摺（トップレールタイプ）1Fのみ			図面名称	平面図 2（3～7階（X10×X19））				
	消	消火器設置場所（ABC粉末消火器10号）		壁界（RC造）を示す。	FD75	縦型ドレイン（フロア）φ75		RBH	落下防止庇						A3縮尺	1／200	A1縮尺	1／100		
	換	法第28条第1項に規定する開口部		壁穴区画を示す	RYD75	横引きドレイン（ルーフ）φ75		BS	防護柵（開放率 80％以上）			物干金物（手摺・壁付け型）				坪名	建築部局	建築部	図面番号	A／041
	換	法第28条第2項に規定する開口部			YD75	横引きドレイン（フロア）φ75		S-G100	ステンレス製グレーチング（縦目、フンスリッパ）G（溝巾）						原寸法					
	遮	遮延性能付き扉（常時閉鎖）			MM	窓面格子		S90	手摺壁 スリット幅 90mm											



床スラブ：FL-300範囲を示す。
(特記なき限り住戸内床スラブ天は、FL-140とする。)

凡 例	(特)	特定防火設備（常時閉鎖）	▲	非常用進入口（代替進入口）を示す。 ※３階以上のみ	VP75	壁樋（VＰ-φ７５・ＧＬ部は掃除口付）			BH	バルコニー隔板（有効開口 600mm以上）		RCT	コンクリート手摺			WBS	水膨張系止水板を示す。（壁厚（増打ちを含む）に対し、増打ち厚さ以上、且つ打継目地と止水板を併せた断面欠損率は２５％以下とすること。）	工事名称	万崎建替公営住宅第二期建設工事		
	(防)	法第２条第９号の２・ロによる防火設備	☒	床下点検口（600×600）を示す。	VP100	壁樋（VＰ-φ１００・ＧＬ部は掃除口付）			HT-800	アルミ製補助手摺		A.T	アルミ製手摺（トップレールタイプ）１Ｆのみ				図面名称	平面図 ４（８階（X10～X19））			
	(消)	消火器設置場所（ＡＢＣ粉末消火器１０号）		界壁（ＲＣ造）を示す。	FD75	縦型ドレイン（フロア）φ 7 5			RBH	落下防止庇			ビット換気孔				A3縮尺	1／200	A1縮尺	1／100	
	(控)	法第２条第１項に規定する開口部		壁区画面を示す	RYD75	横引きドレイン（ルーフ）φ 7 5			BS	防護柵（開放率 80％以上）			物干金物（手摺・壁付け型）				堺市	建築都市局	建築部	図面番号	A／043
	(施)	法第２条第２項に規定する開口部			YD75	横引きドレイン（フロア）φ 7 5			S-G100	ステンレス製グレーチング（細目、ノンスリップ）G（溝巾）			触知案内板				原寸大				
	(遮)	遮煙性能付き扉（常時閉鎖）			MM	窓面格子			S90	手摺壁 スリット幅 90mm											



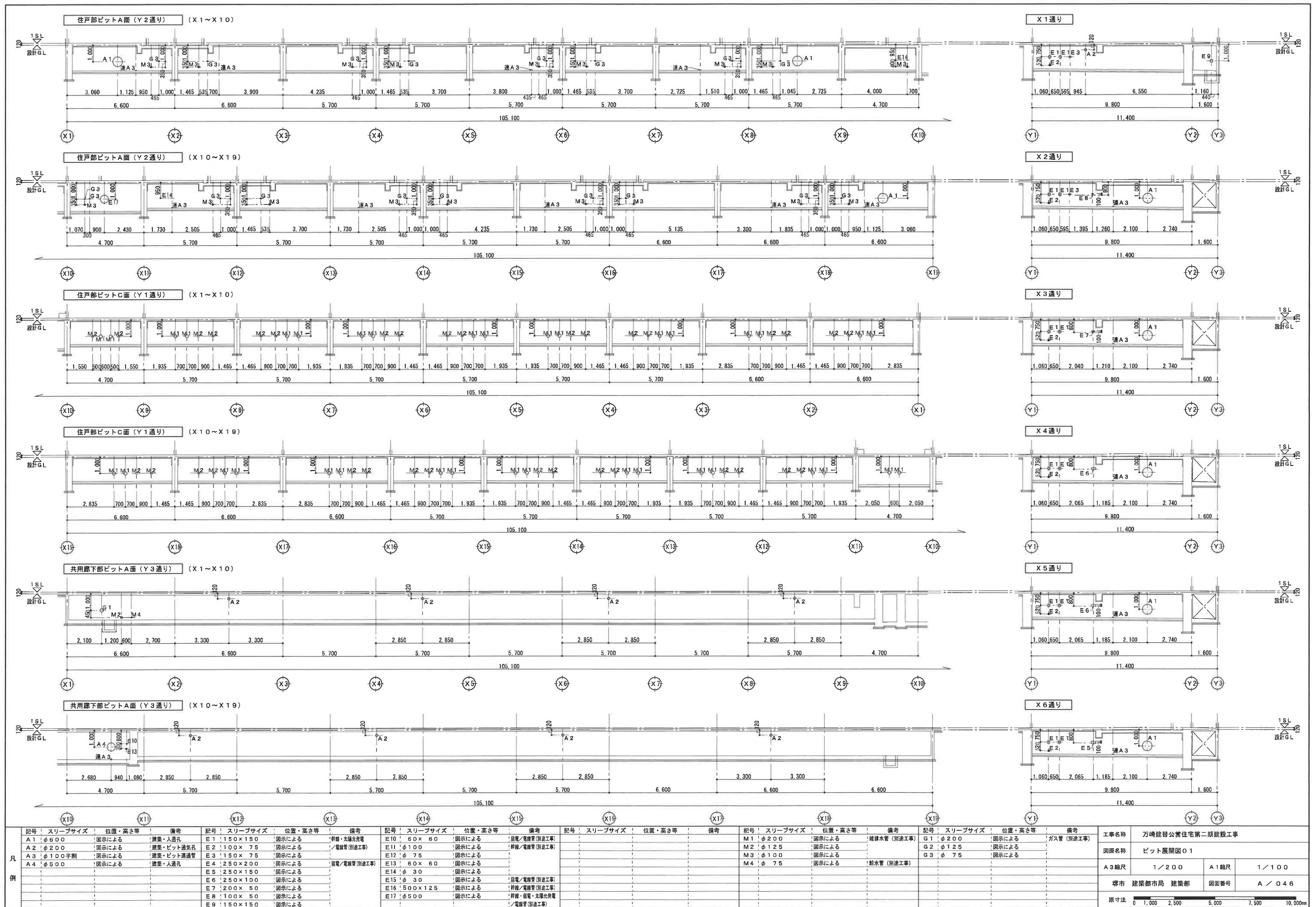
屋根伏図

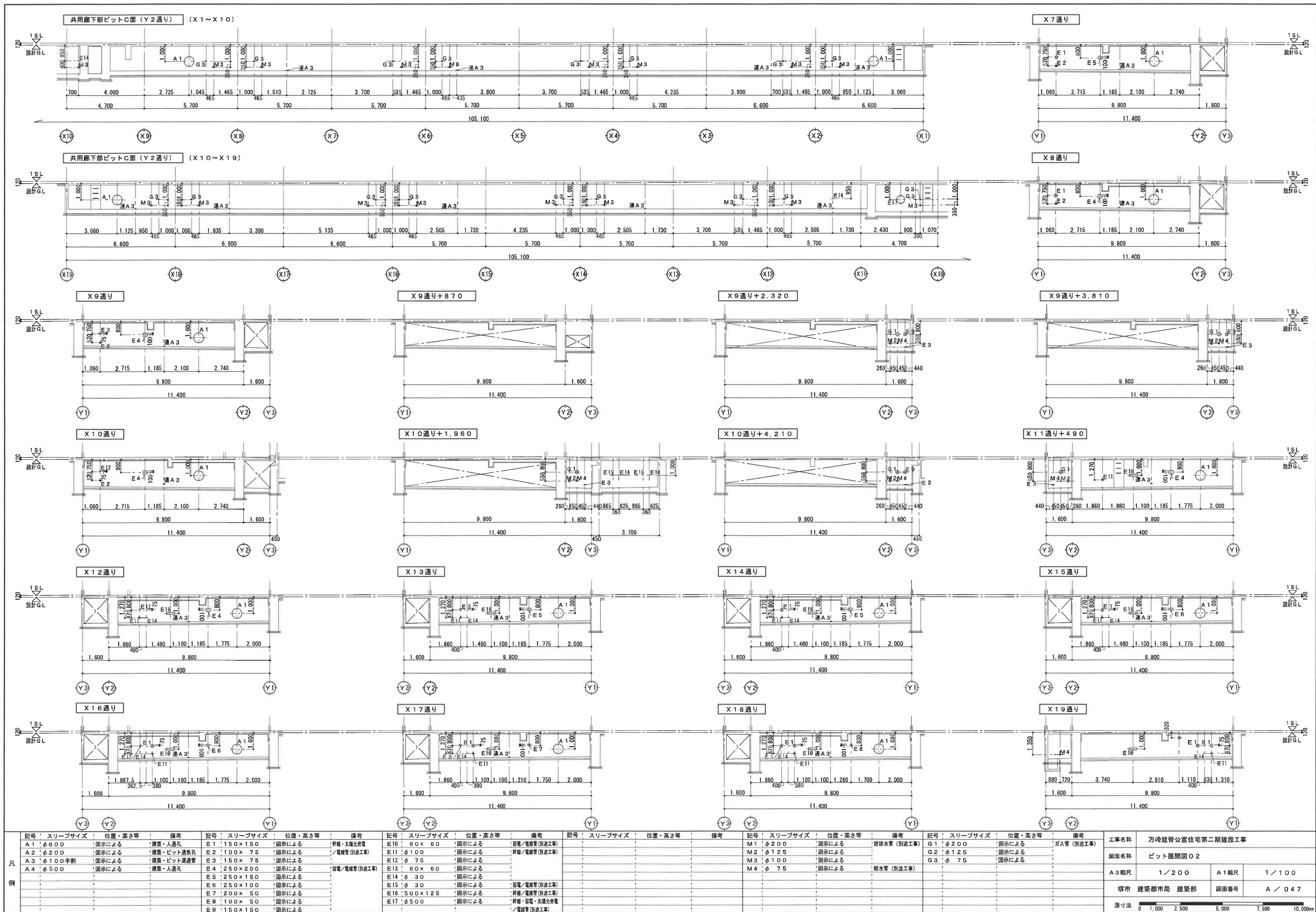
凡 例	T K	太陽光発電モジュール架台基礎	D 5	RD100	縦型ドレイン（ルーフ）φ 1 0 0								工事名称	万崎建替公営住宅第二期建設工事		
	T T K	太陽光発電トランス架台基礎 W750×D600×H200	D 21	RYD75	横引きドレイン（ルーフ）φ 7 5								図面名称	平面図 1 5（屋根伏図（X1～X10））		
	S S	消火水槽架台基礎	D 30	↑ T	吊環（ステンレス丸環）								A 3縮尺	1 / 2 0 0	A 1縮尺	1 / 1 0 0
	Y M	屋根マンホール（角型）： S U S 製 6 0 0 × 6 0 0	A 5	M T	メンテナンスラップ								堺市 建築都市局 建築部	図面番号	A / 0 4 4	
	V P 7 5	壁樋（V P - φ 7 5）		●	脱気筒（ステンレス製） アスファルト防水用								原寸法	01,0002,5005,0007,50010,000mm		
	V P 1 0 0	壁樋（V P - φ 1 0 0）														

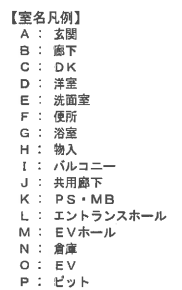
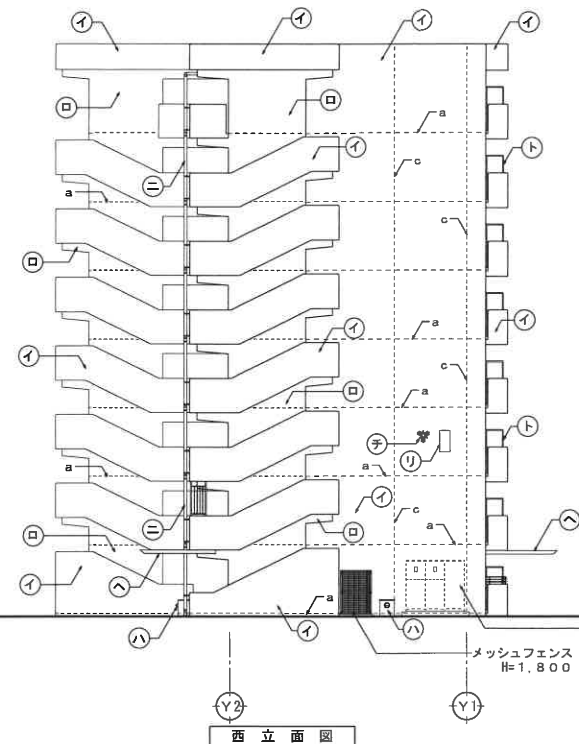


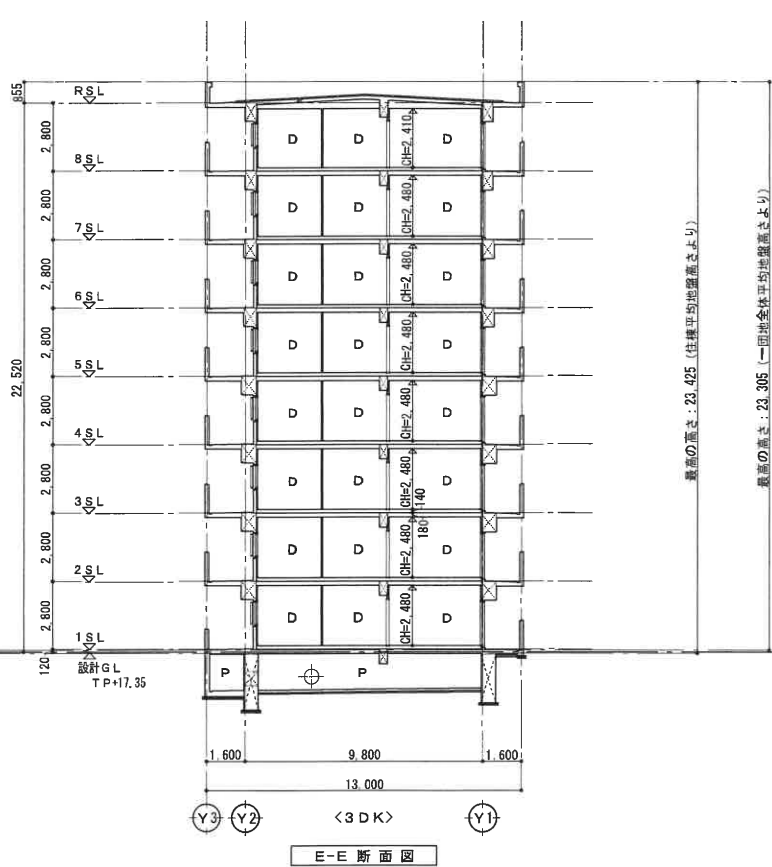
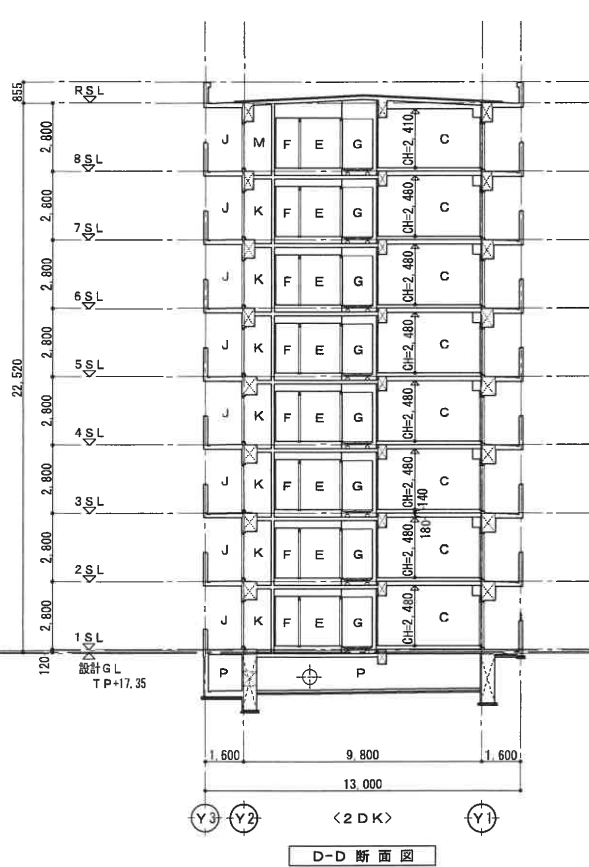
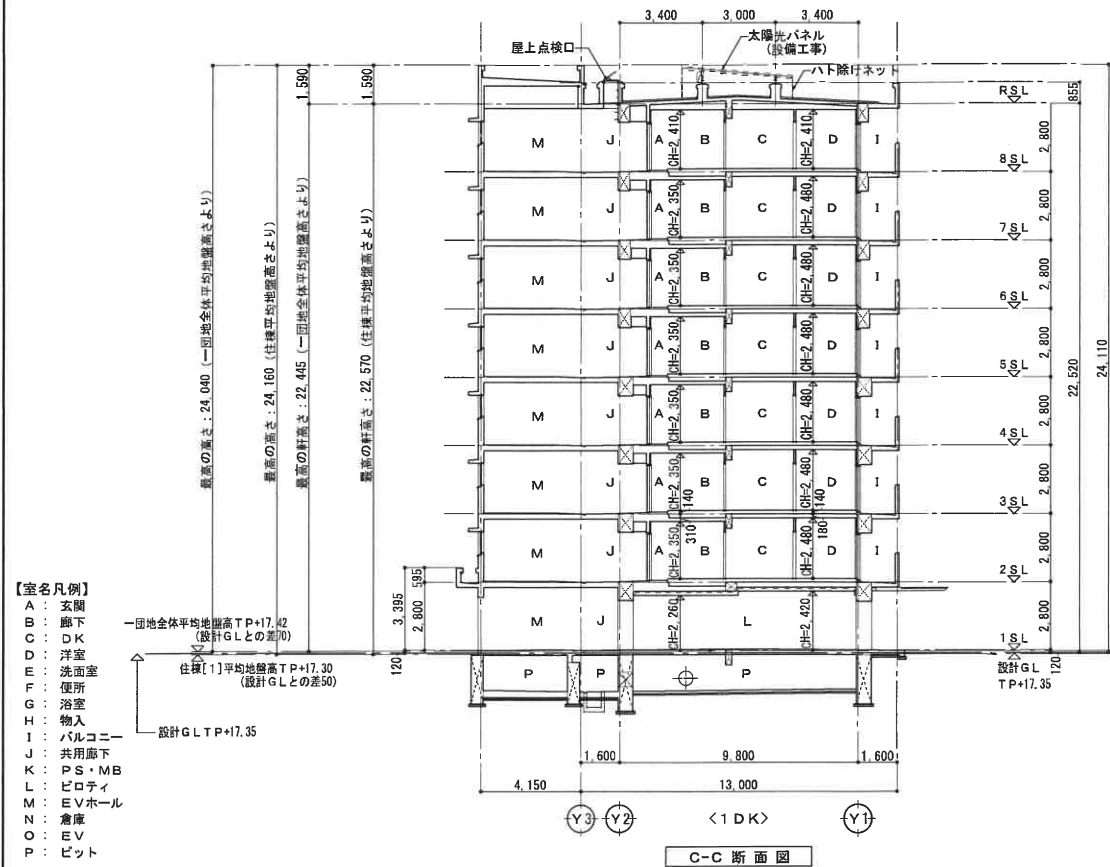
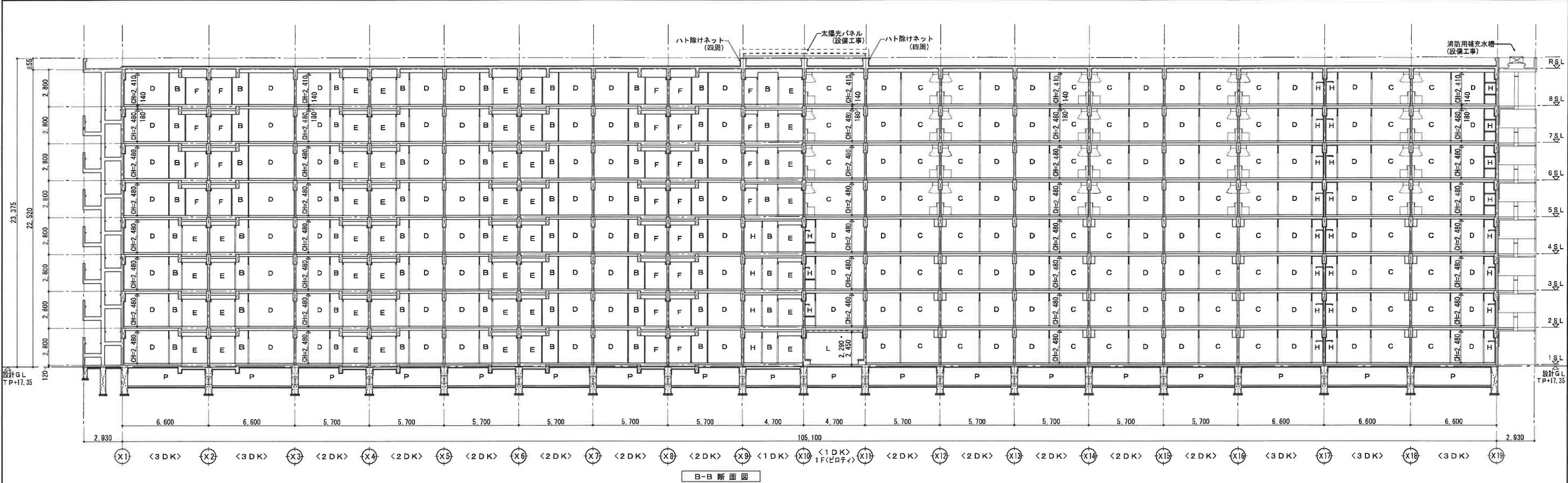
屋根伏図

凡例	T K	太陽光発電モジュール架台基礎		RD100	縦型ドレイン (ルーフ) φ 1 0 0														工事名称	万崎建替公営住宅第二期建設工事		
	T T K	太陽光発電トランス架台基礎 W750×D600×H200		RYD75	横引きドレイン (ルーフ) φ 7 5														図面名称	平面図 1 6 (屋根伏図 (X10～X19))		
	S S	消火水槽架台基礎		↑ T	吊環 (ステンレス丸環)														A 3縮尺	1 / 2 0 0	A 1縮尺	1 / 1 0 0
	Y M	屋根マンホール (角型) : SUS製 6 0 0 × 6 0 0		M T	メンテナンススタップ														堺市 建築都市局 建築部	図面番号	A / 0 4 5	
	V P 7 5	縦樋 (V P - φ 7 5)		●	脱気筒 (ステンレス製) アスファルト防水用																	
	V P 1 0 0	縦樋 (V P - φ 1 0 0)																		原寸法		





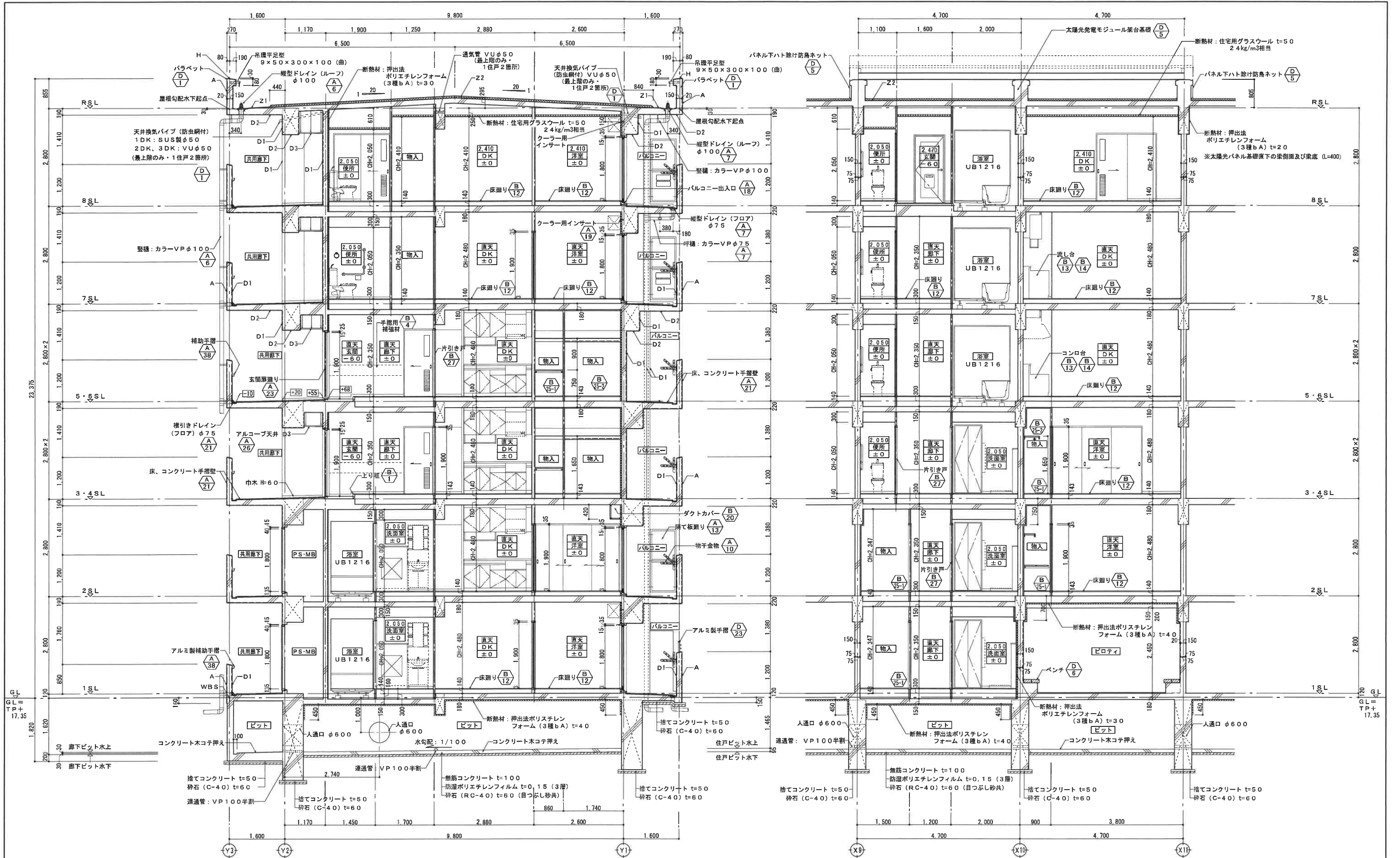
[illegible]



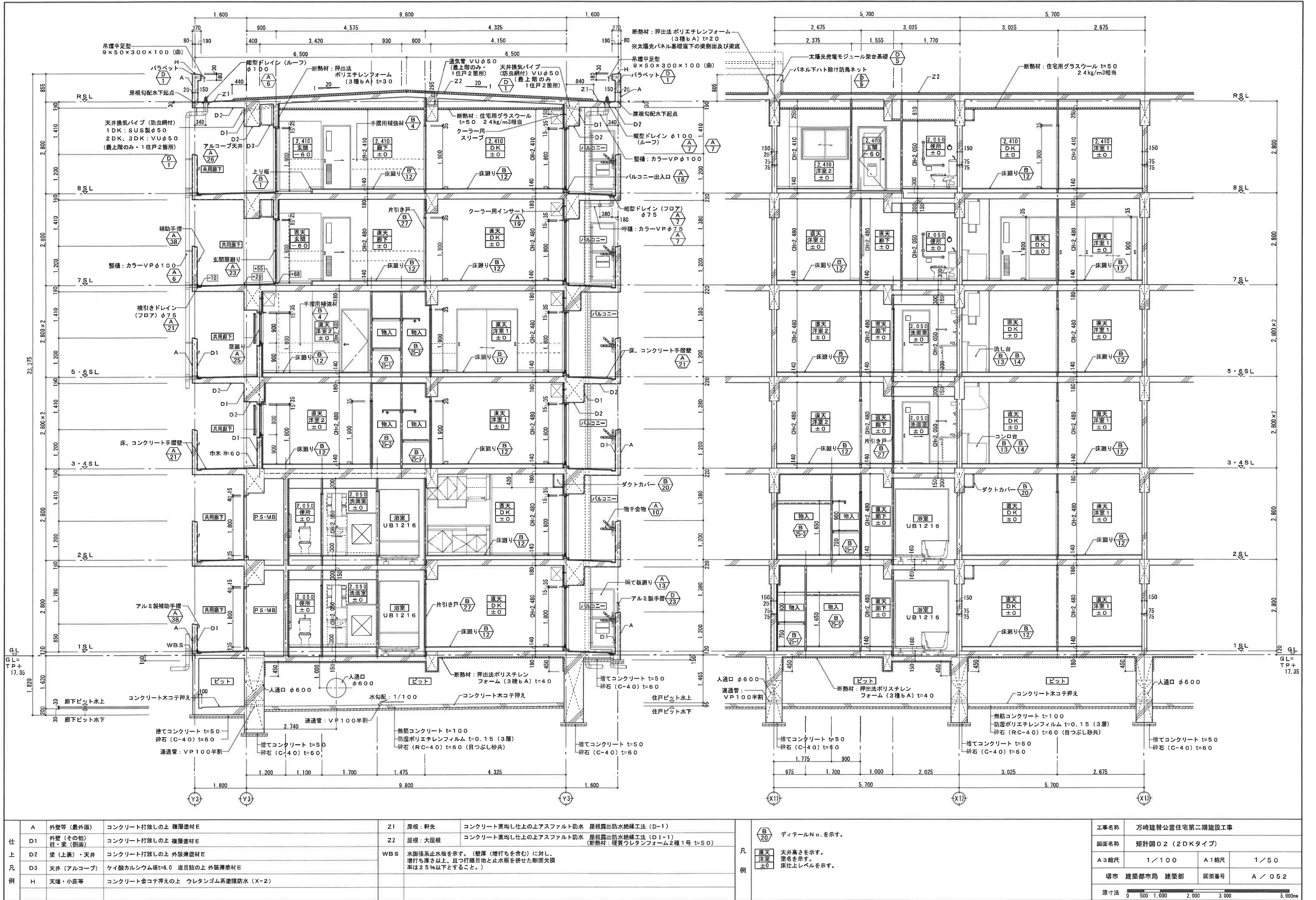
【室名凡例】
A：玄関
B：廊下
C：DK
D：洋室
E：洗面室
F：便所
G：浴室
H：物入
I：バルコニー
J：共用廊下
K：PS・MB
L：ビロティ
M：EVホール
N：倉庫
O：EV
P：ビット

一団地全体平均地盤高より
最高の高さ：24,040 (一団地全体平均地盤高より)
最高の高さ：24,160 (住棟平均地盤高より)
最高の高さ：22,445 (一団地全体平均地盤高より)
最高の高さ：22,570 (住棟平均地盤高より)
設計GL TP+17.35
住棟[1]平均地盤高TP+17.30 (設計GLとの差50)

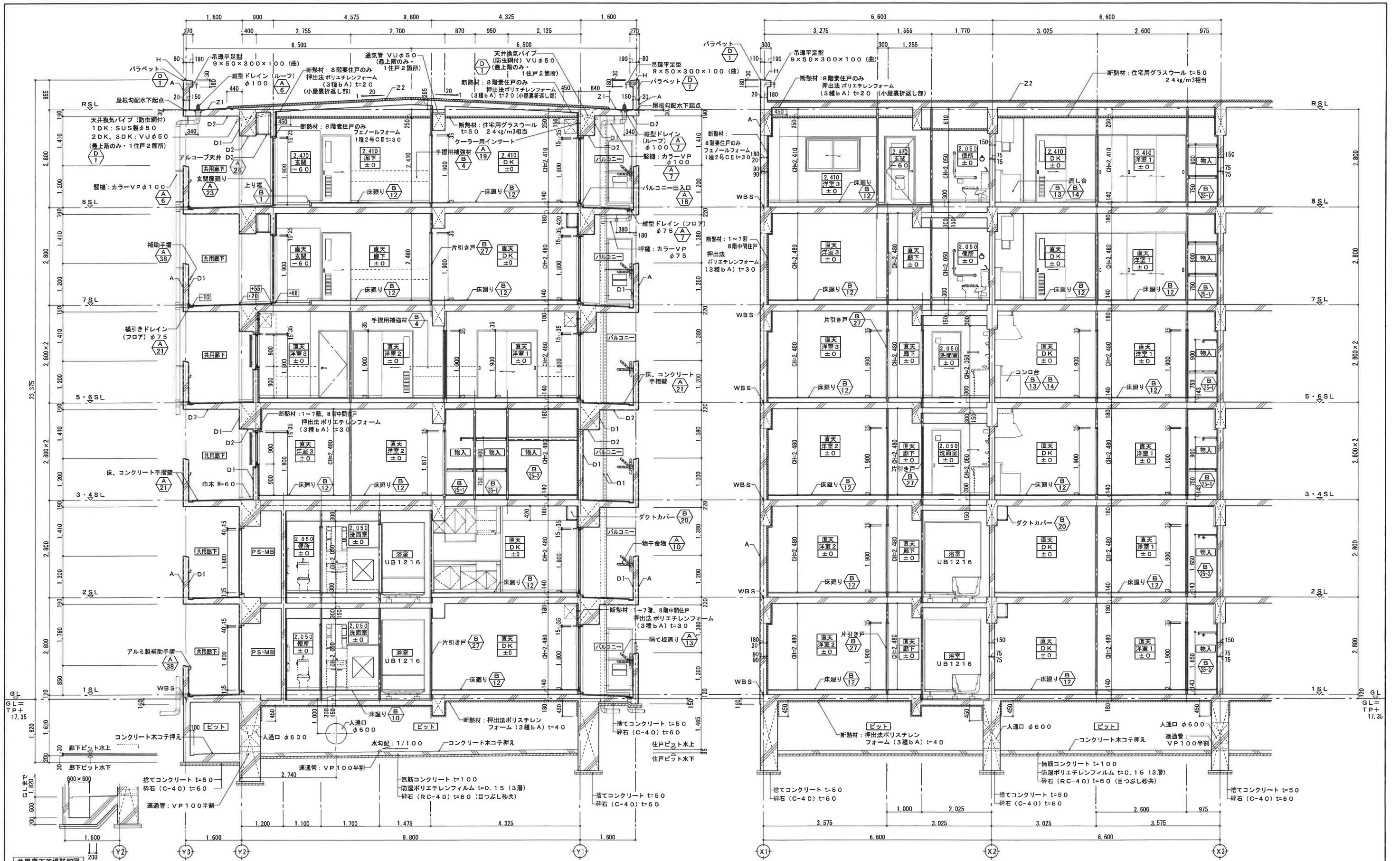
凡 例											工事名称		万崎建替公営住宅第二期建設工事			
											図面名称		断面図 0 2			
											A 3縮尺		1 / 3 0 0	A 1縮尺	1 / 1 5 0	
											堺市		建築都市局	建築部	図面番号	A / 0 5 0
											原寸法		0 1,000 3,000 5,000 10,000 15,000mm			



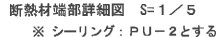
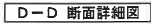
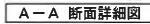
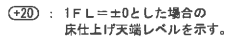
仕 上 凡 例	A	外壁等（最外面）	コンクリート打放しの上 複層塗材 E	Z1	屋根：軒先	コンクリート直均しの上 アスファルト防水 屋根露出防水絶縁工法（D-1）	凡 例	B20 ディテール No. を示す。 直天 天井高さを示す。 洋室 室名を示す。 ±0 床仕上レベルを示す。	工事名称 万崎建替公営住宅第二期建設工事		
	D1	外壁（その他） 柱・梁（側面）	コンクリート打放しの上 複層塗材 E	Z2	屋根：大屋根	コンクリート直均しの上 アスファルト防水 屋根露出防水絶縁工法（D1-1） （断熱材：硬質ウレタンフォーム 2種 1号 t=50）			図面名称 矩計図 01（1DKタイプ）		
	D2	梁（上裏）・天井	コンクリート打放しの上 外装薄塗材 E	WBS	水膨張系止水板を示す。（壁厚（増打ちを含む）に対し、増打ち厚さ以上、且つ打継目地と止水板を併せた断面欠損率は2.5％以下とすること。）						
	D3	天井（アルコーブ）	ケイ酸カルシウム板t=6.0 底目貼の上 外装薄塗材 E								
	H	天端・小庇等	コンクリート金コテ押えの上 ウレタンゴム系塗膜防水（X-2）								
									堺市 建築都市局 建築部 図面番号 A / 051		
									原寸法 0 500 1,000 2,000 3,000 5,000mm		



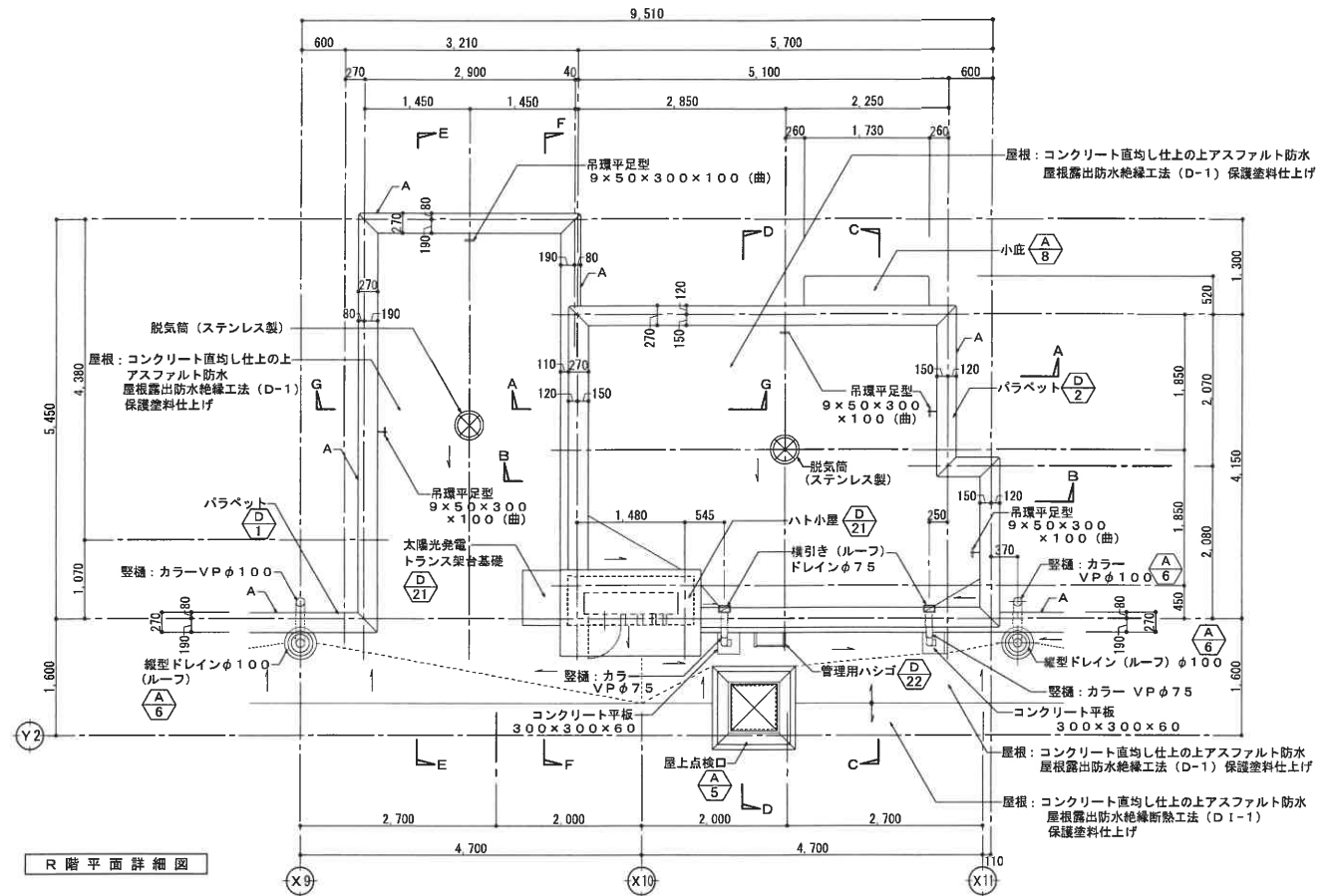
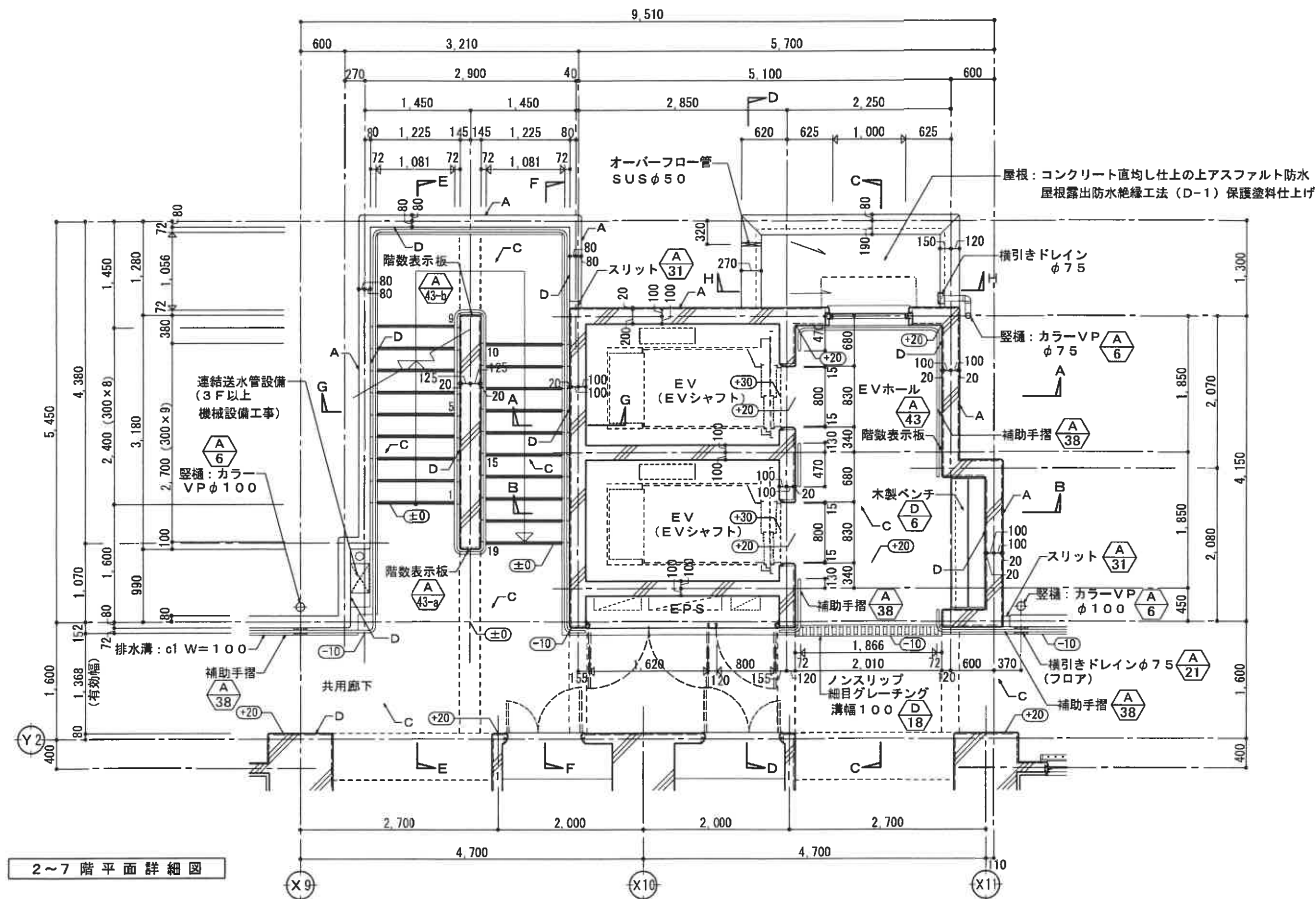
仕 上 凡 例	A	外壁等（最外面）	コンクリート打放しの上 複層塗材 E	Z1	屋根：軒先	コンクリート直均し仕上の上アスファルト防水 屋根露出防水絶縁工法（D-1）	凡 例	B 20 ディテール No. を示す。 直天 天井高さを示す。 洋室 室名を示す。 ±0 床仕上レベルを示す。	工事名称 万崎建替公営住宅第二期建設工事		
	D1	外壁（その他） 柱・梁（側面）	コンクリート打放しの上 複層塗材 E	Z2	屋根：大屋根	コンクリート直均し仕上の上アスファルト防水 屋根露出防水絶縁工法（D1-1） （断熱材：優質ウレタンフォーム 2 種 1 号 t=50）			図面名称 矩計図 02（2DKタイプ）		
	D2	梁（上裏）・天井	コンクリート打放しの上 外装薄塗材 E	WBS	水廻り止水板を示す。（壁厚（増打ちを含む）に対し、 増打ち厚さ以上、且つ打継目地と止水板を併せた断面欠損 率は 2.5 以下とすること。）						
	D3	天井（アルコーブ）	ケイ酸カルシウム板 t=6.0 底目地の 上 外装薄塗材 E								
	H	天端・小庇等	コンクリート金コテ押えの上 ウレタンゴム系塗膜防水（X-2）						堺市 建築都市局 建築部		図面番号 A / 052
							原寸法 0 500 1,000 2,000 3,000 5,000mm				



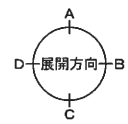
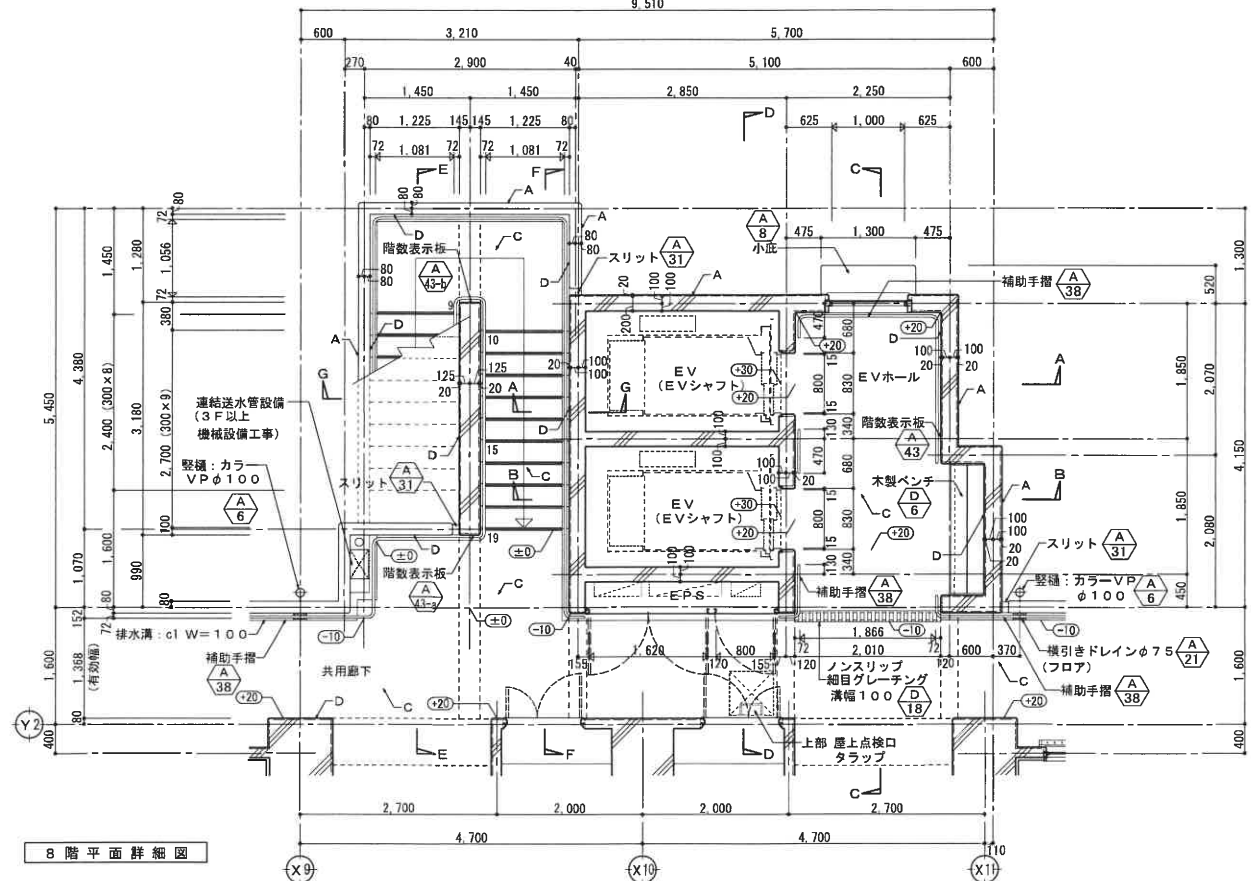
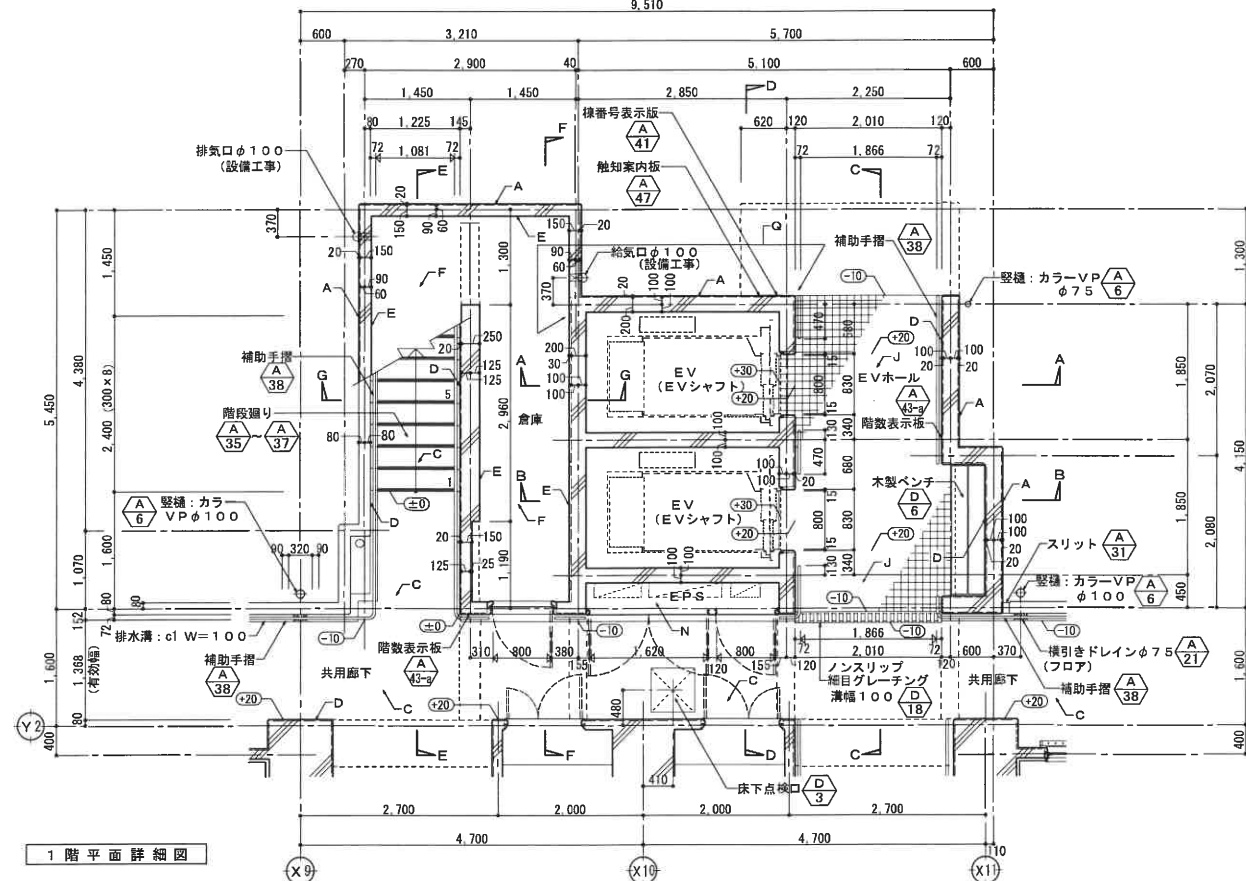
仕 上 凡 例	A	外壁等（最外面）	コンクリート打放しの上 複層塗材 E	Z1	屋根：軒先	コンクリート直均し仕上の上アスファルト防水 屋根露出防水絶縁工法（D-1）	凡 例	B 20 ディテール No. を示す。 直天 洋室 ±0 天井高さを示す。 室名を示す。 床仕上レベルを示す。	工事名称 万崎建替公営住宅第二期建設工事					
	D1	外壁（その他） 柱・梁（側面）	コンクリート打放しの上 複層塗材 E	Z2	屋根：大屋根	コンクリート直均し仕上の上アスファルト防水 屋根露出防水絶縁工法（D1-1） （断熱材：硬質ウレタンフォーム2種1号 t=50）			図面名称 矩計図 03（3DKタイプ）					
	D2	梁（上裏）・天井	コンクリート打放しの上 外装薄塗材 E	WBS	水廻り止水板を示す。（壁厚（増打ちを含む）に対し、増打ち厚さ以上、且つ打継目地と止水板を併せた断面欠損率は25%以下とすること。）				A3縮尺	1 / 100	A1縮尺	1 / 50		
	D3	天井（アルコーブ）	ケイ酸カルシウム板t=6.0 底目詰の上 外装薄塗材 E						図面番号 A / 053					
	H	天端・小庇等	コンクリート金コテ押えの上 ウレタンゴム系塗膜防水（X-2）											
						原寸法 0 500 1,000 2,000 3,000 5,000mm								



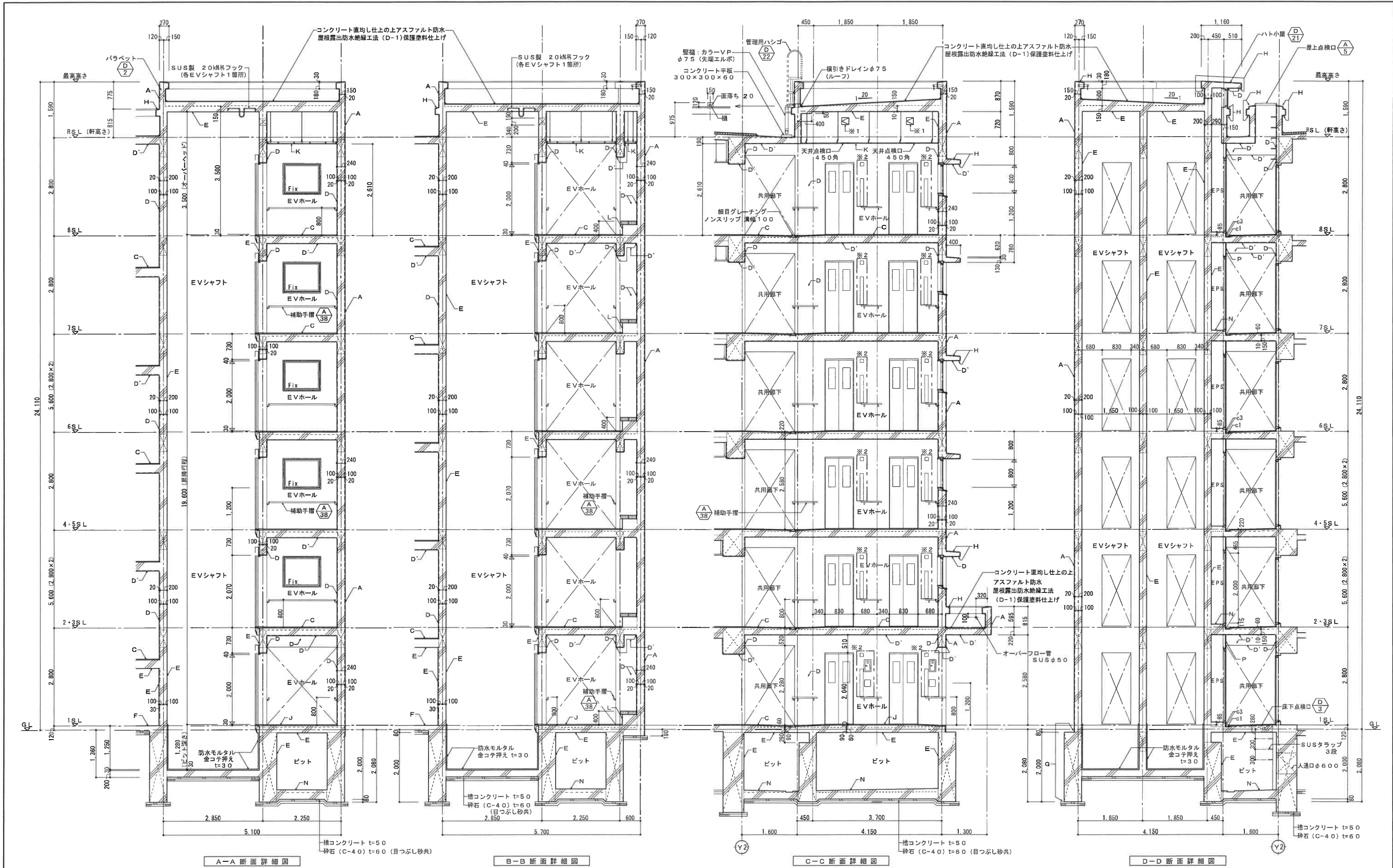
仕 上 凡 例	A	外壁（最外面）	コンクリート打放しの上 複層塗材 E	D	壁・柱・梁（外部側面）	コンクリート打放しの上 複層塗材 E	H	天端・小庇等	コンクリート金コテ押えの上、ウレタンゴム系塗膜防水（X-2）	N	床（MB・ビツ）	コンクリート金コテ押え	工事名称	万崎建替公営住宅第二期建設工事			
	B	手摺天端	コンクリート打放しの上 耐候性塗料（DP）塗	D'	梁（上裏）・天井	コンクリート打放しの上 外装薄塗材 E	I	床	モルタル金コテ押え（t=20）	O	床	モルタル金コテ押えの上屋外用合成樹脂塗床	図面名称	ピロティ廻り詳細図			
	C	床	モルタル塗り（t=20）の上 防汚性ビニル床シート t=2.5	E	壁・天井	コンクリート打放し	J	床	モルタル下地の上 磁器質タイル貼 100角	P	梁	押出法ポリスチレンフォーム断熱材 3種 b A t=40 FK t=6.0の上 外装薄塗材 E	A3縮尺	1／100	A1縮尺	1／50	
	c1	排水溝	モルタル塗り（t=10～30）の上、ウレタンゴム系塗膜防水（X-2）	F	床（倉庫）	コンクリート金コテ押え	K	天井	FK t=6.0（LGS下地）の上 外装薄塗材 E	Q	床	防水モルタル金コテ押え t=30					
	c3	巾木（排水溝脇）	コンクリート打放しの上 ウレタンゴム系塗膜防水（X-2）	G	連結送水管設備	モルタル金コテ押え（t=20）の上、ウレタンゴム系塗膜防水（X-2）	L	木製ベンチRC躯体	コンクリート打放しの上 EP-G塗	S20		袖壁 スリット幅 20mm（スタイロテ20の上シーリング）	堺市 建築部市局 建築部	図面番号	A／054		
						M	巾木	ステンレス巾木 H=300 t=2.0	※天井出隅部、アルミ製見切り材設置のこと。				原寸法				

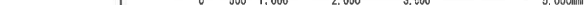


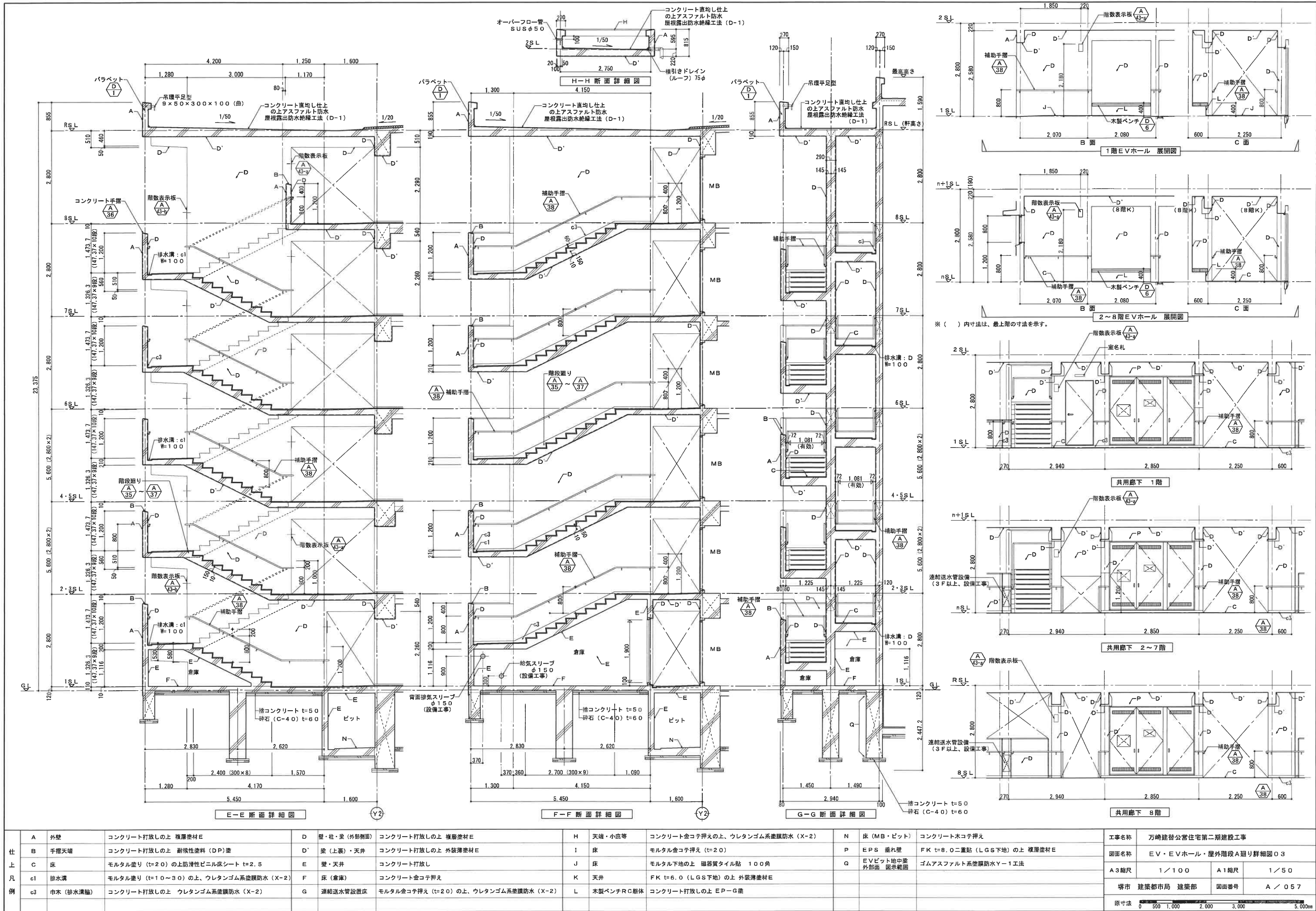
②20: S L ±0とした場合の床仕上り天端レベルを示す。

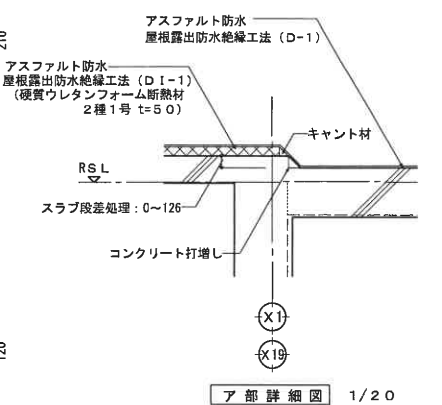
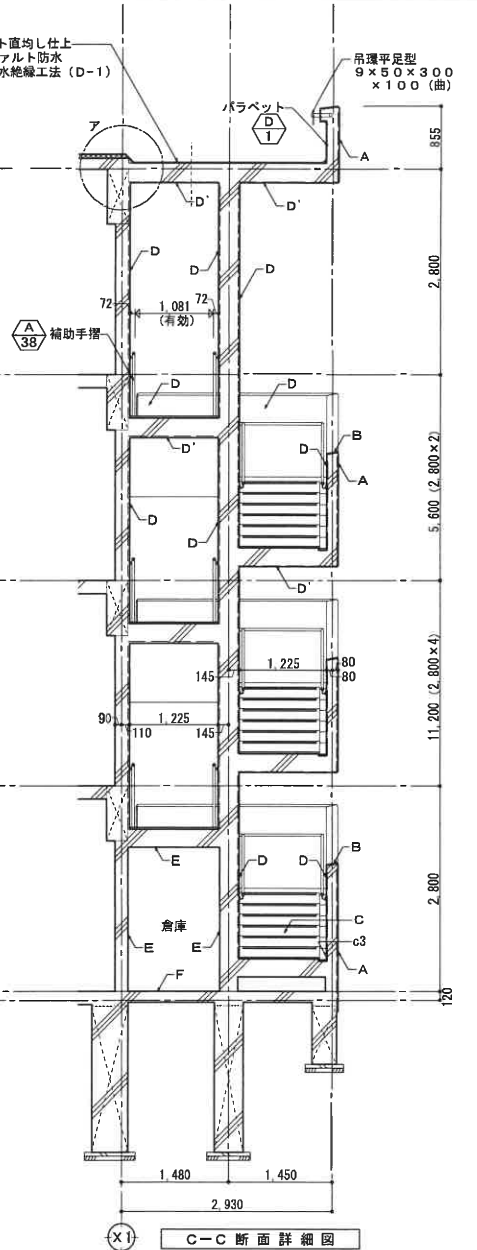
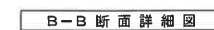
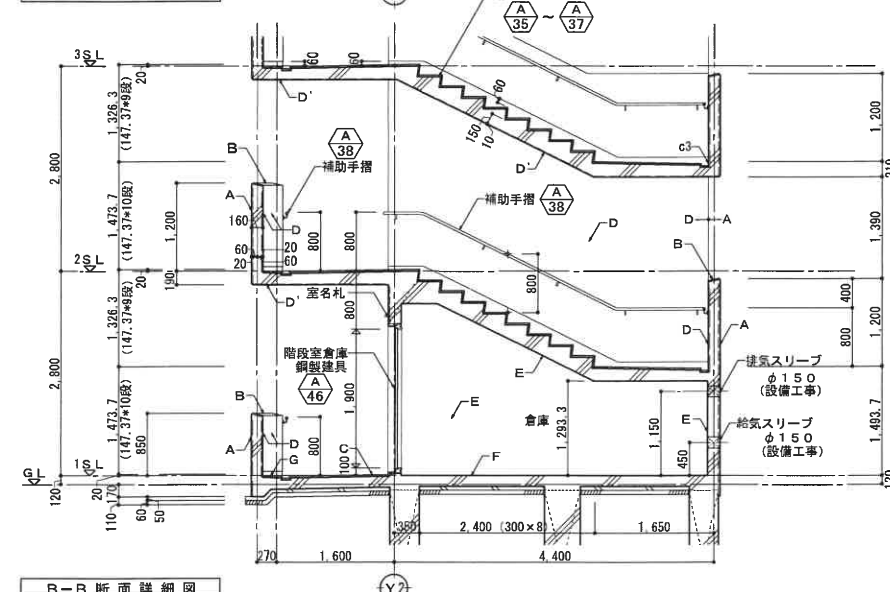
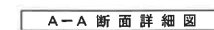
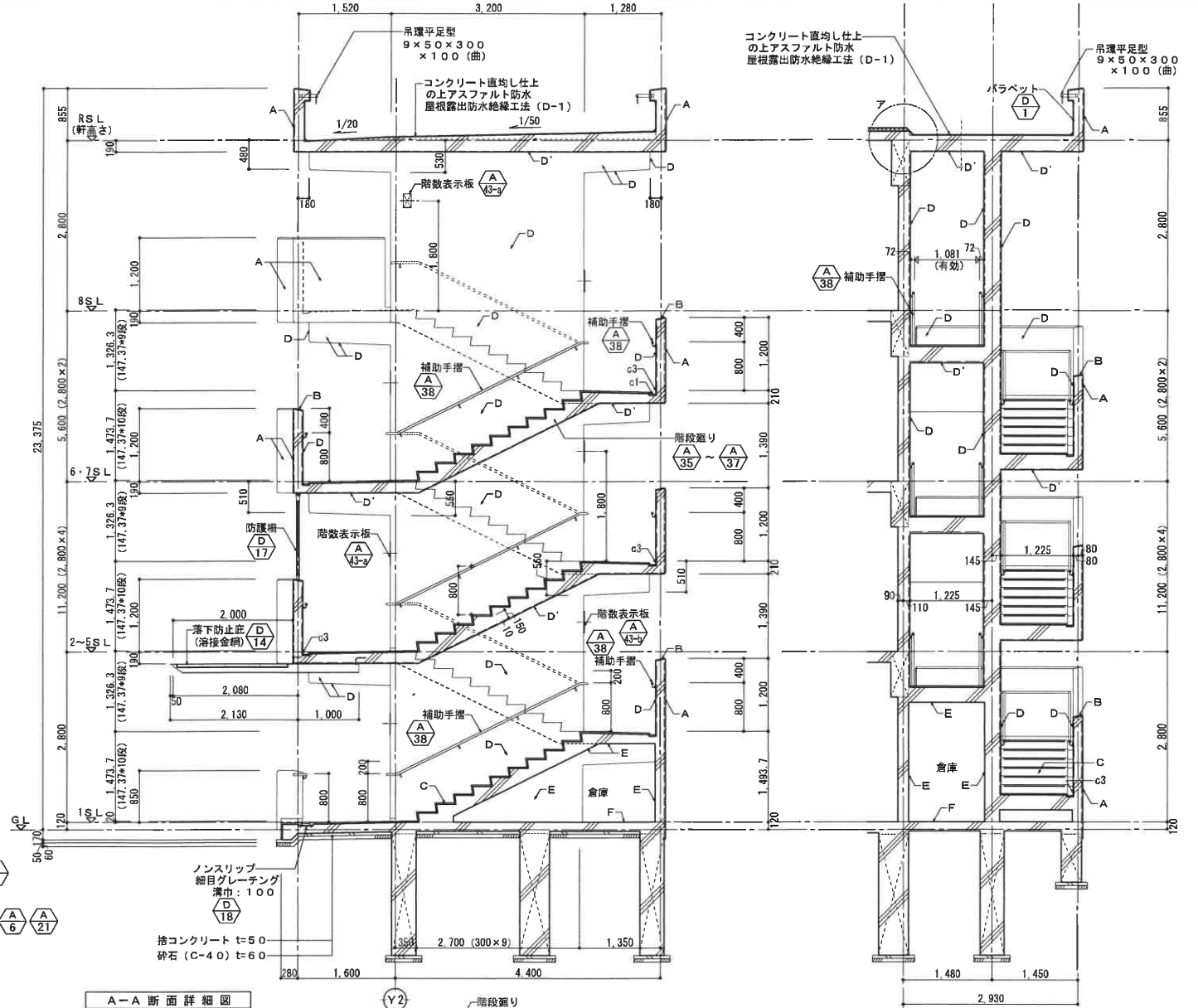
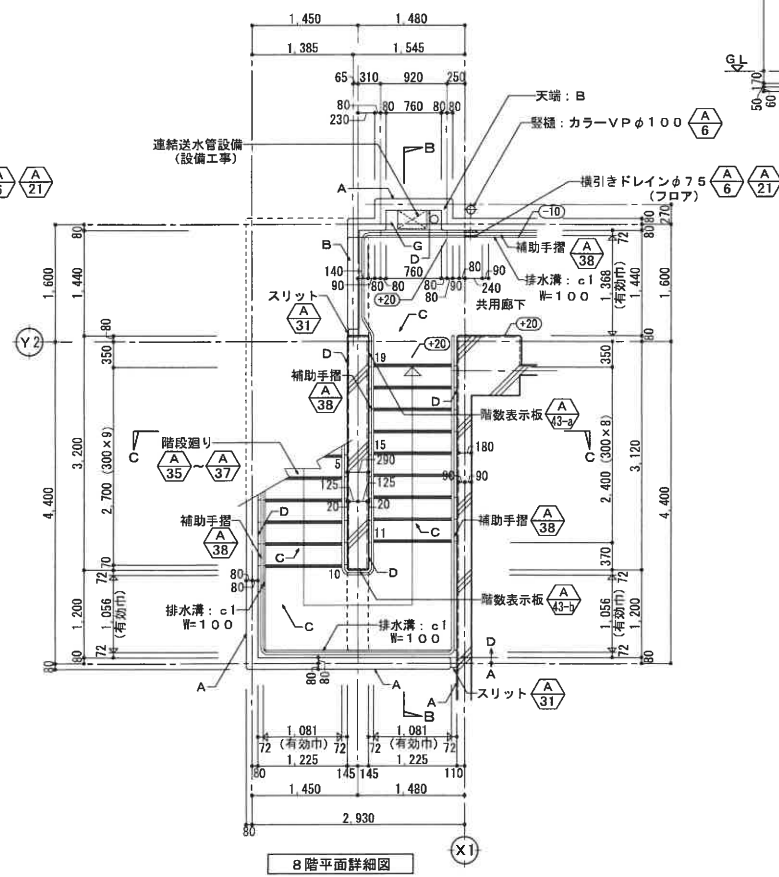
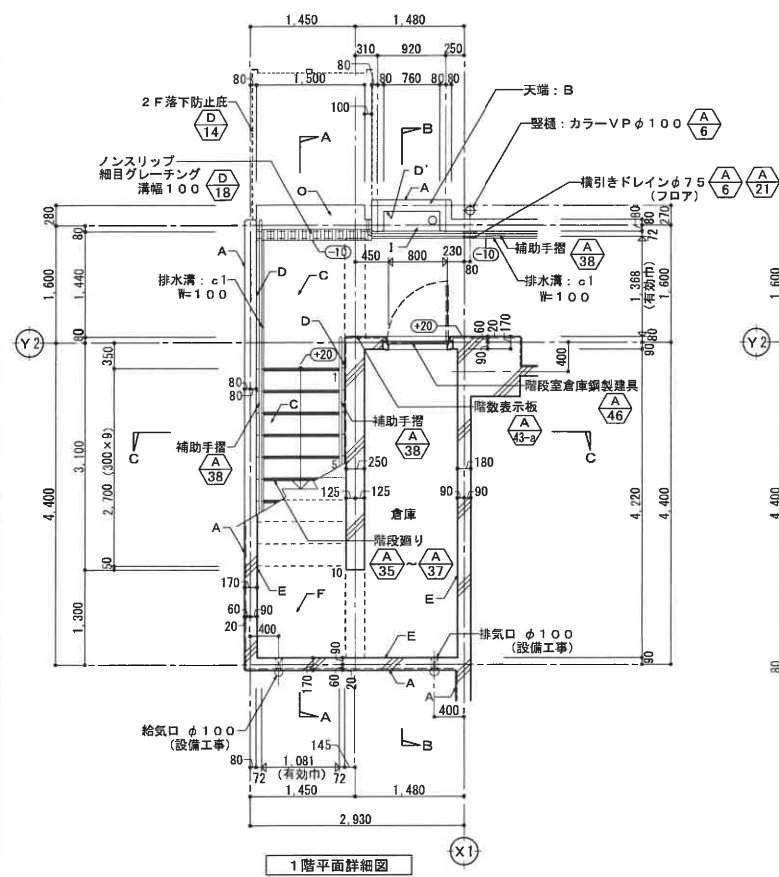
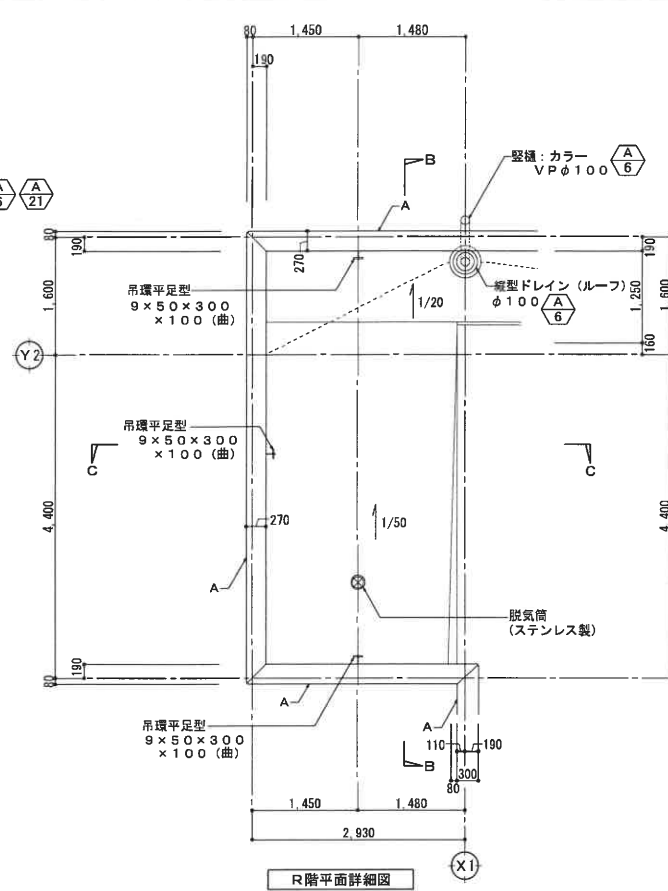
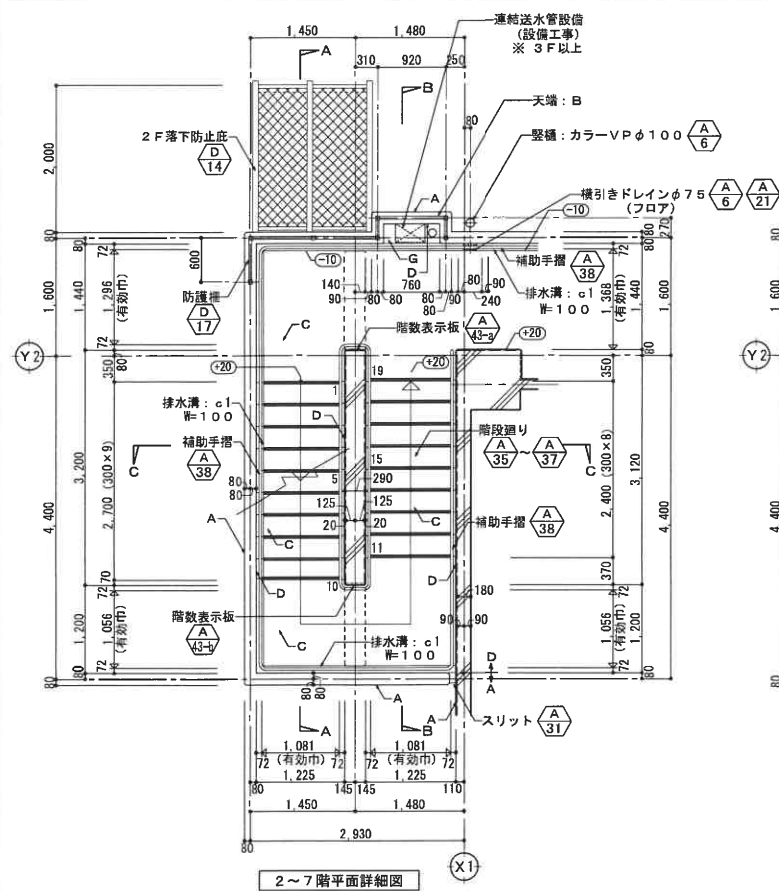


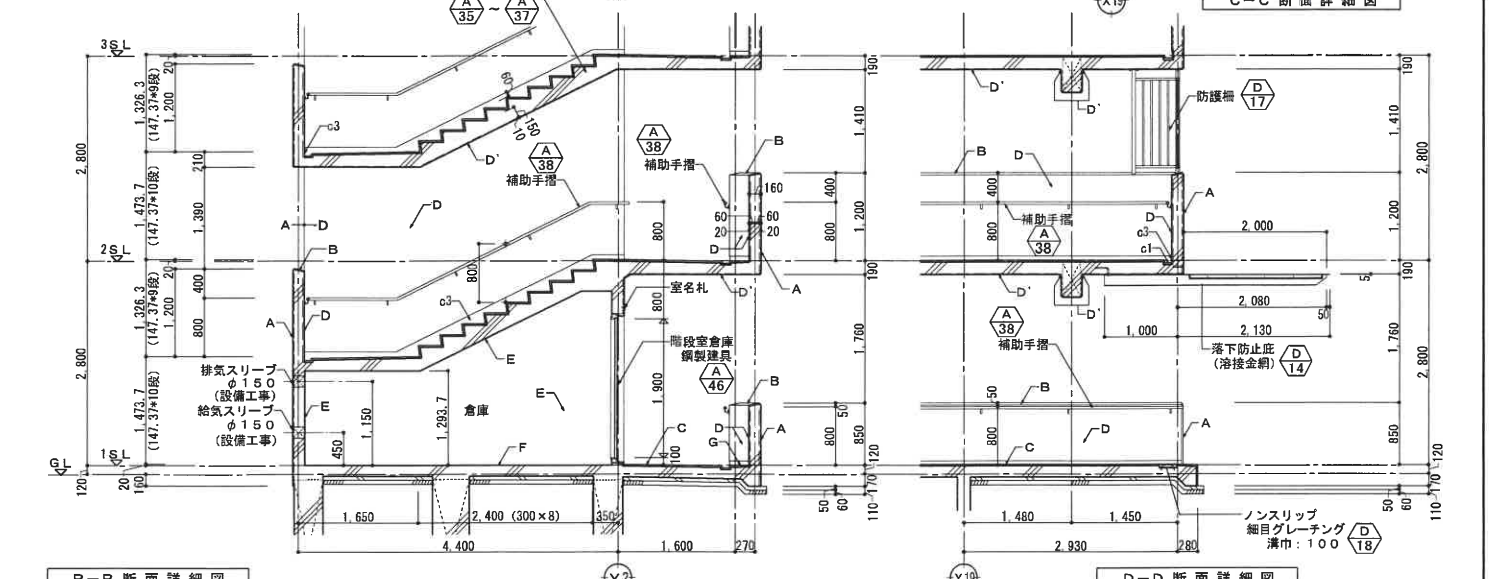
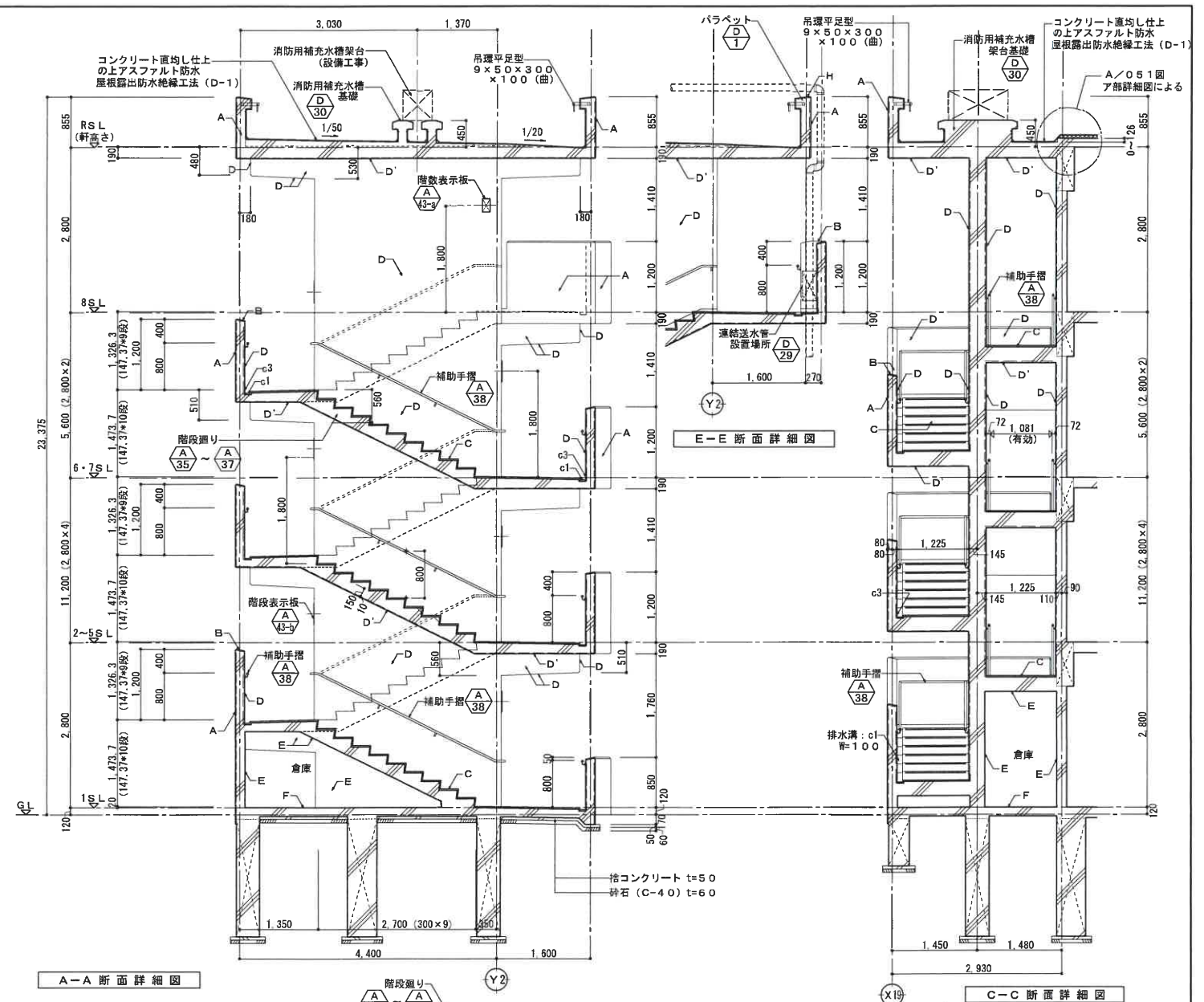
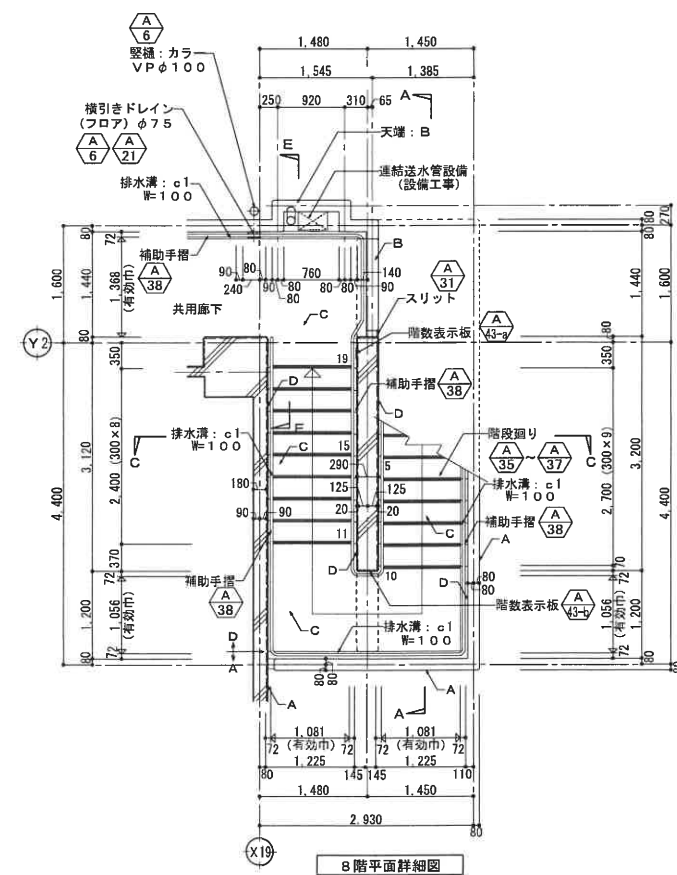
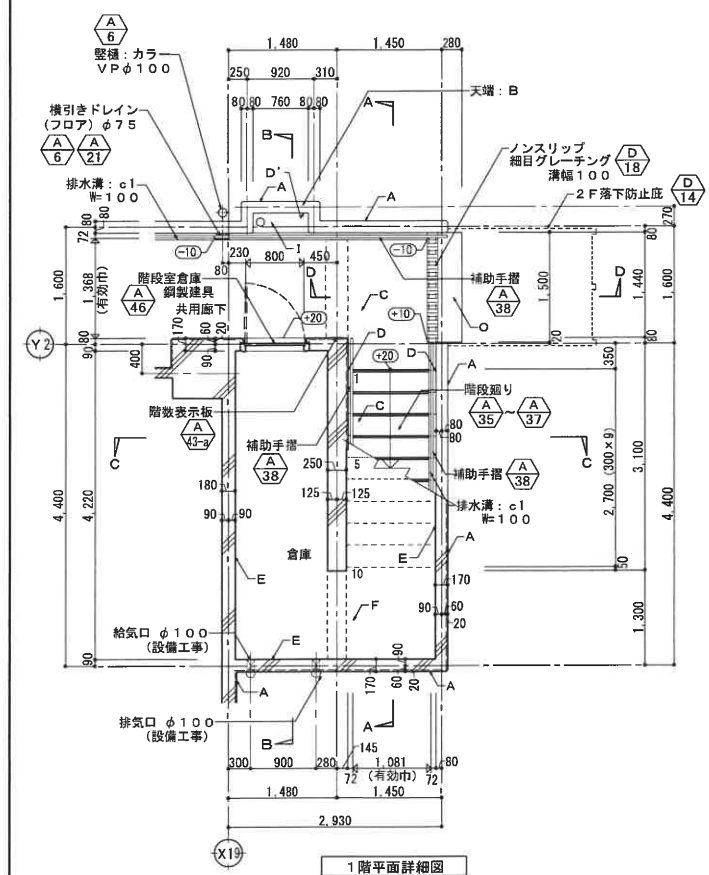
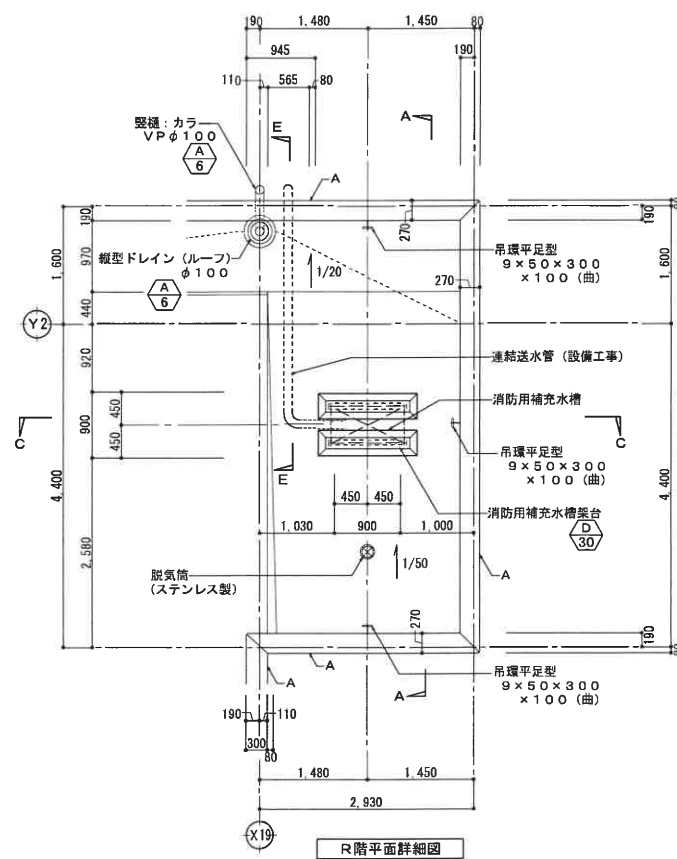
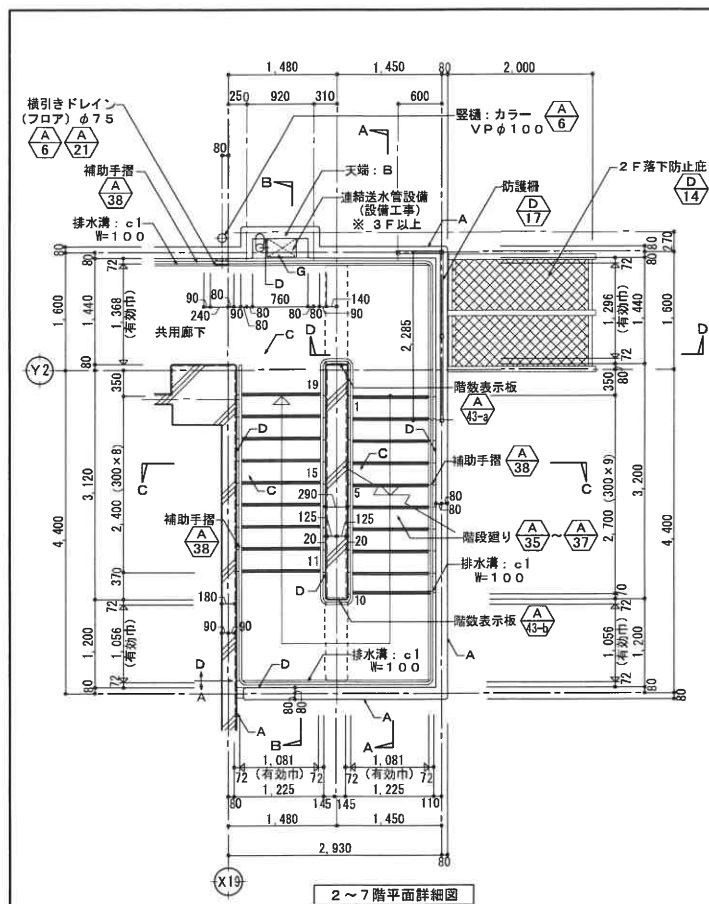
仕 上 凡 例	A	外壁	コンクリート打放しの上 複層塗材 E	D	壁・柱・梁 (外部側面)	コンクリート打放しの上 複層塗材 E	H	天端・小庇等	コンクリート金コテ押えの上 ウレタンゴム系塗膜防水 (X-2)	N	床 (MB・ビット)	コンクリート金コテ押え	工事名称	万崎建替公営住宅第二期建設工事			
	B	手摺天端	コンクリート打放しの上 耐候性塗料 (DP) 塗	D'	梁 (上裏)・天井	コンクリート打放しの上 外装薄塗材 E	I	床	モルタル金コテ押え (t=20)	Q	EVビット地中梁 外部面 図示範囲	ゴムアスファルト系塗膜防水 Y-1 工法	図面名称	EV・EVホール・屋外階段 A 廻り詳細図 01			
	C	床	モルタル塗り (t=20) の上防汚性ビニル床シート t=2.5	E	壁・天井	コンクリート打放しのまま	J	床	モルタル下地の下 磁器質タイル貼 100角				A3縮尺	1/100	A1縮尺	1/50	
	c1	排水溝	モルタル塗り (t=10~30) の上、ウレタンゴム系塗膜防水 (X-2)	F	床 (倉庫)	コンクリート金コテ押え	K	壁・天井	FK t=6.0 (LGS下地) の上 外装薄塗材 E				堺市 建築都市局 建築部	図面番号	A / 055		
	c3	巾木 (排水溝)	コンクリート打放しの上 ウレタンゴム系塗膜防水 (X-2)	G	連結送水管設置床	モルタル金コテ押え (t=20) の上 ウレタンゴム系塗膜防水 (X-2)	L	木製ベンチ RC 躯体	コンクリート打放しの上 EP-G 塗				原寸法	05001,0002,0003,0005,000mm			



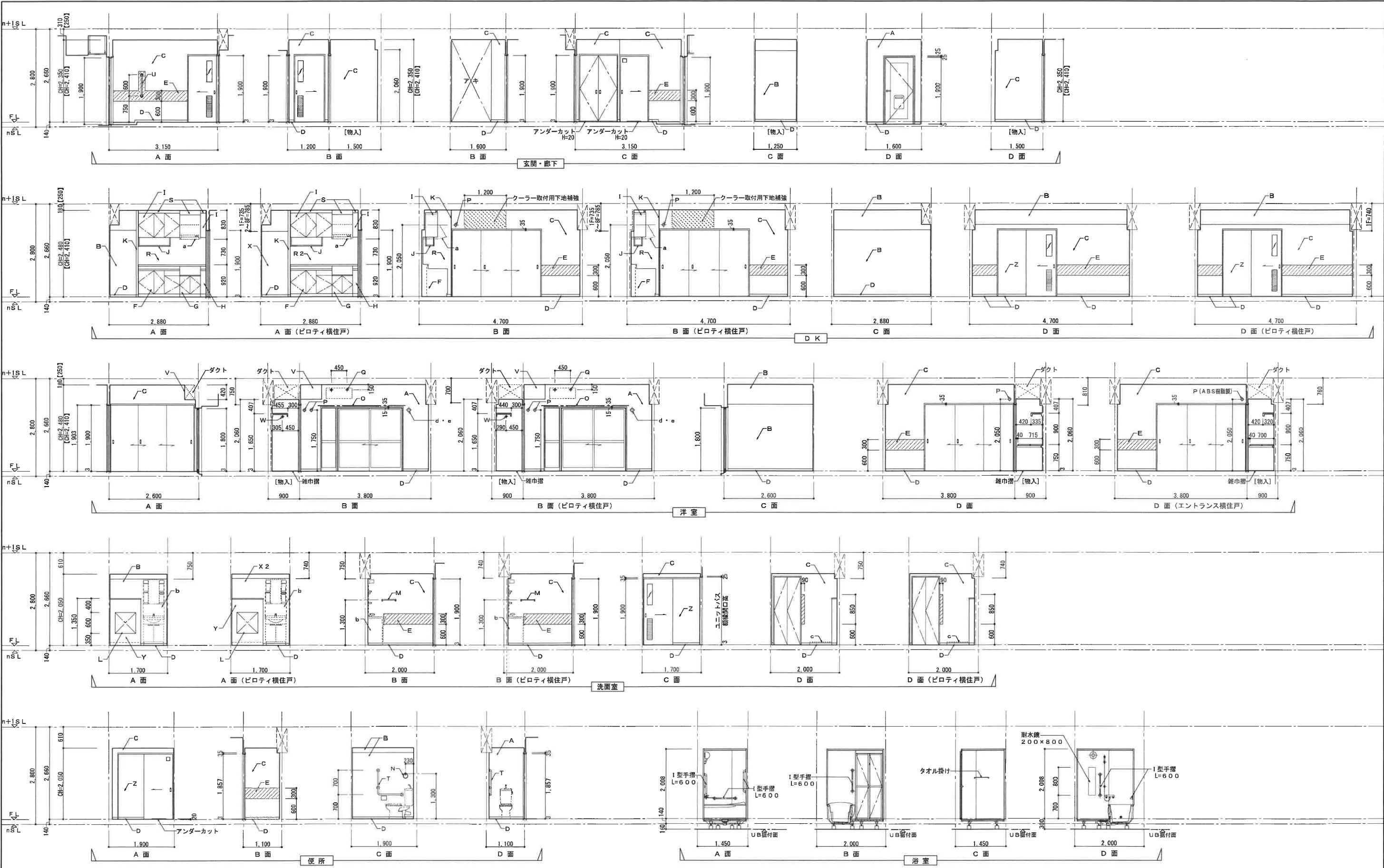
仕 上 凡 例	A	外壁	コンクリート打放しの上 複層塗材E	D	壁・柱・梁 (外部側面)	コンクリート打放しの上 複層塗材E	H	天端・小庇等	コンクリート金コテ押えの上、ウレタンゴム系塗膜防水 (X-2)	N	床 (MB・ビット)	コンクリート木コテ押え	工事名称 万崎建替公営住宅第二期建設工事			
	B	手摺天端	コンクリート打放しの上 耐候性塗料 (DP) 塗	D'	梁 (上表)・天井	コンクリート打放しの上 外装薄塗材E	I	床	モルタル金コテ押え (t=20)	O	床	モルタル金コテ押えの上防塵用塗料塗り	図面名称 EV・EVホール・屋外階段A廻り詳細図O2			
	C	床	モルタル塗り (t=20) の上 防汚性ビニル床シート t=2.5	E	壁・天井	コンクリート打放し	J	床	モルタル下地の上 磁器質タイル貼 100角	P	EPS 垂れ壁	FK t=8.0二重貼 (LGS下地) の上 複層塗材E	A3縮尺	1/100	A1縮尺	1/50
	c1	排水溝	モルタル塗り (t=10~30) の上 ウレタンゴム系塗膜防水 (X-2)	F	床 (倉庫)	コンクリート金コテ押え	K	天井	FK t=6.0 (LGS下地) の上 外装薄塗材E	Q	EVビット地中梁 外部面 同図参照	ゴムアスファルト系塗膜防水Y-1工法	堺市 建築都市局 建築部 図面番号 A / 056			
	c3	巾木 (排水溝脇)	コンクリート打放しの上 ウレタンゴム系塗膜防水 (X-2)	G	連結送水管設置床	モルタル金コテ押え (t=20) の上、ウレタンゴム系塗膜防水 (X-2)	L	木製ベンチRC躯体	コンクリート打放しの上 EP-G塗	※1: 煙感知器・点検ハッチ スチール t=1.6 SOP塗装 (電気設備工事) ※2: 乗降押ボタン、乗降位置表示器、点字注意板、国際シンボルマーク、インターホンボックス (昇降機設備工事)				原寸法		



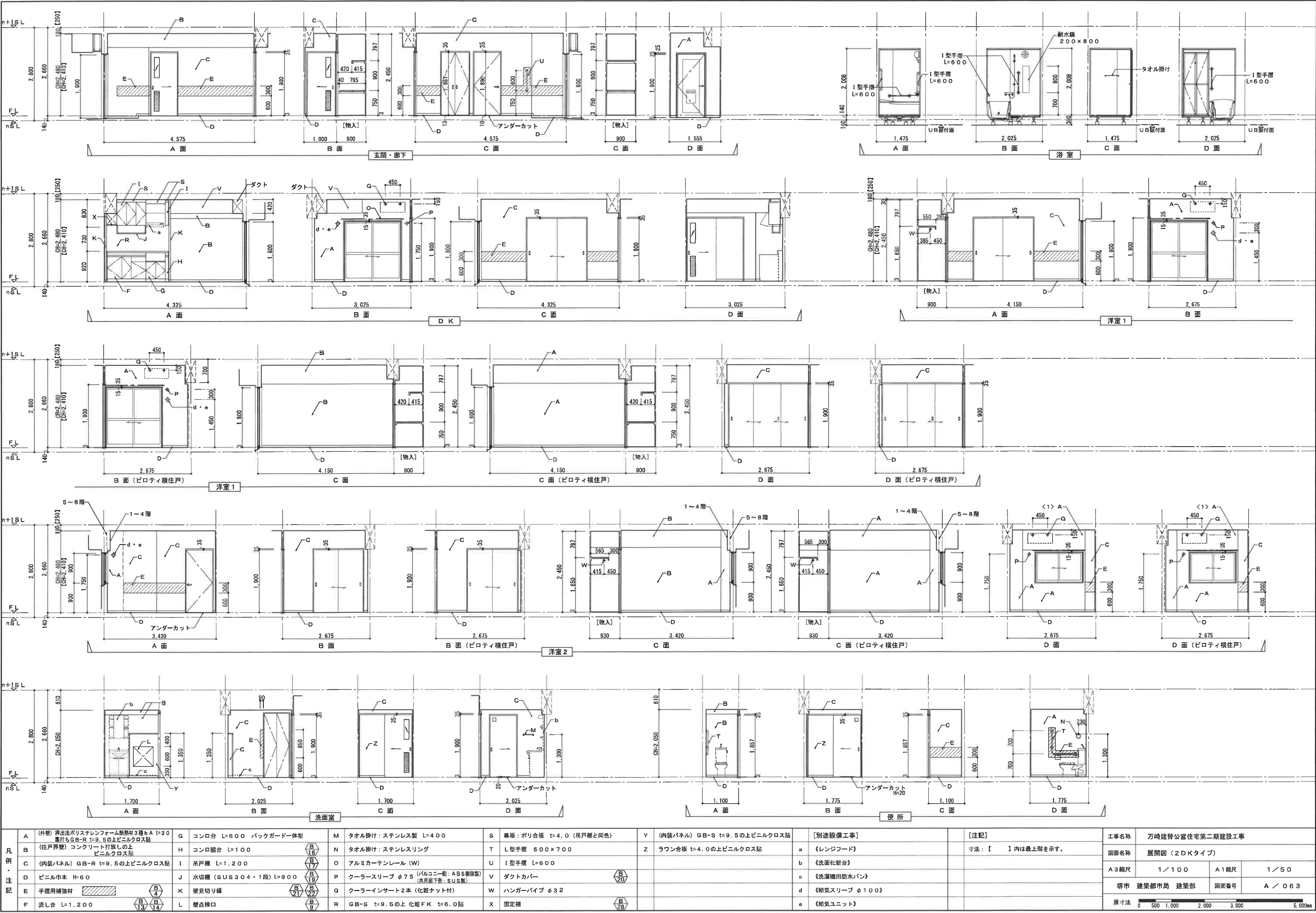
[illegible]



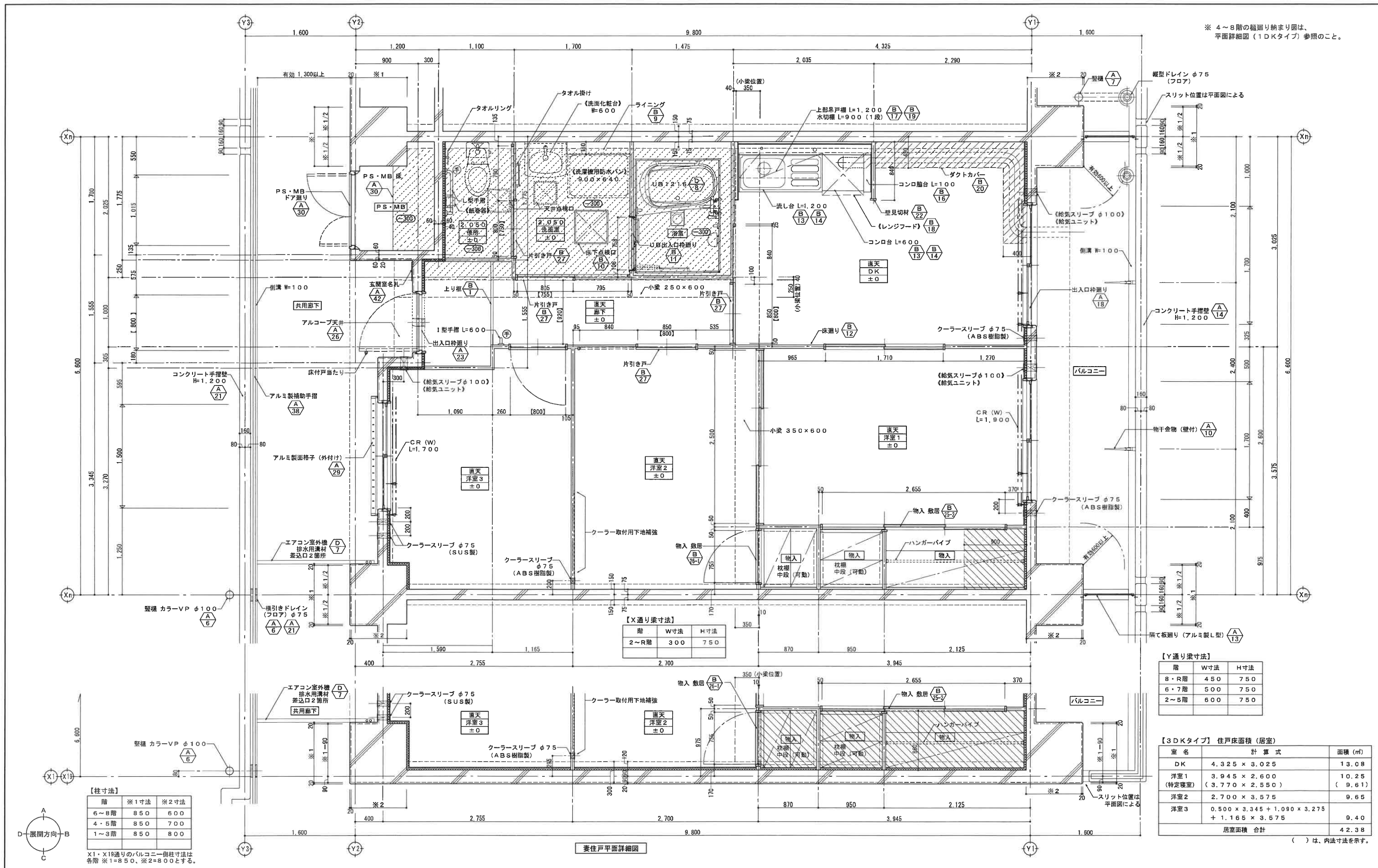
仕 上 凡 例	A	外壁（最外面）	コンクリート打放しの上 複層塗材 E	D	壁・柱・梁（外部側面）	コンクリート打放しの上 複層塗材 E	H	天端・小庇等	コンクリート金コテ押えの上 ウレタンゴム系塗膜防水（X-2）	N	床（MB・ビツト）	コンクリート木コテ押え	工事名称	万崎建替公営住宅第二期建設工事		
	B	手摺天端	コンクリート金コテの上 耐候性塗料（DP）塗	D'	梁（上裏）・天井	コンクリート打放しの上 外装薄塗材 E	I	床	モルタル金コテ押え	O	床	モルタル金コテ押えの上防塵用塗料塗り	図面名称	屋外階段C 群組細図		
	C	床	モルタル塗り（t=20）の上防滑性ビニル床シート t=2.5	E	壁・天井	コンクリート打放しのまま	J	床	モルタル下地の土 磁器質タイル貼 100角				A3縮尺	1／100	A1縮尺	1／50
	c1	排水溝	モルタル塗りの上、ウレタンゴム系塗膜防水（X-2）	F	床（倉庫）	コンクリート金コテ押え	K	壁・天井	FK t=6.0（LGS下地）の上外装薄塗材 E				坪市 建築都市局 建築部	図面番号	A／059	
	c3	巾木（排水溝脇）	コンクリート打放しの上 ウレタンゴム系塗膜防水（X-2）	G	連結送水管設置床	モルタル金コテ押えの上 ウレタンゴム系塗膜防水（X-2）								原寸法		



凡例・ 注記	A (外壁) 押出ポリスチレンフォーム断熱材 3種b A t=30 裏打ちGB-R t=9.5の上ビニルクロス貼	G コンロ台 L=600 バックガード一体型	M タオル掛け: ステンレス製 L=400	R2 押出ポリスチレンフォーム断熱材 3種b A t=30 GB-S t=9.5の上化粧FK t=6.0貼	X 押出ポリスチレンフォーム断熱材 3種b A t=30 裏打ちGB-R t=9.5の上ビニルクロス貼		【別途設備工事】		【注記】	工事名称	万崎建替公営住宅第二期建設工事			
	B (仕戸界壁) コンクリート打放しの上 ビニルクロス貼	H コンロ脇台 L=150	N タオル掛け: ステンレスリング	S 幕板: ポリ合板 t=4.0 (吊戸棚と同色)	X2 押出ポリスチレンフォーム断熱材 3種b A t=30 GB-S t=9.5の上ビニルクロス貼	a	《レンジフード》		寸法 【 】内は最上階を示す。	図面名称	展開図 (1DKタイプ)			
	C (内装パネル) GB-R t=9.5の上ビニルクロス貼	I 吊戸棚 L=1,200	O アルミカーテンレール (W)	T L型手摺 600×700	Y (内装パネル) GB-S t=9.5の上ビニルクロス貼	b	《洗面化粧台》			A3縮尺	1 / 100	A1縮尺	1 / 50	
	D ビニル巾木 H=60	J 水切欄 (SUS304・1段) L=900	P クーラースリーブ φ75 (バルコニー側: ABS樹脂製) (洗面廊下側: SUS製)	U I型手摺 L=600	Z ラワン合板 t=4.0の上ビニルクロス貼	c	《洗濯機用防水パン》			堺市 建築都市局 建築部	図面番号	A / 061		
	E 手摺用補強材	K 壁見切り縁	Q クーラーインサート2本 (化粧ナット付)	V ダクトカバー		d	《給気スリーブ φ100》							
	F 流し台 L=1,200	L 壁点検口	R GB-S t=9.5の上化粧FK t=6.0貼	W ハンガーパイプ φ32		e	《給気ユニット》			原寸法	0 500 1,000 2,000 3,000 5,000mm			



凡例・注記	A (外壁) 押出ポリスチレンフォーム断熱材 3種b A t=30 裏打ちGB-R t=9.5の上ビニルクロス貼	G コンロ台 L=600 バックガード一体型	M タオル掛け：ステンレス製 L=400	S 幕板：ポリ合板 t=4.0 (吊戸棚と同色)	Y (内装パネル) GB-S t=9.5の上ビニルクロス貼	[別途設備工事]		[注記]		工事名称	万崎建替公営住宅第二期建設工事		
	B (仕戸界壁) コンクリート打放しの上 ビニルクロス貼	H コンロ脇台 L=100	N タオル掛け：ステンレスリング	T L型手摺 600×700	Z ラワン合板 t=4.0の上ビニルクロス貼	a 《レンジフード》	寸法：【 】内は最上階を示す。		図面名称	展開図 (2DKタイプ)			
	C (内装パネル) GB-R t=9.5の上ビニルクロス貼	I 吊戸棚 L=1,200	O アルミカーテンレール (W)	U I型手摺 L=600		b 《洗面化粧台》			A3縮尺	1/100	A1縮尺	1/50	
	D ビニル巾巾 H=60	J 水切欄 (SUS304・1段) L=900	P クーラーズリブ φ75 (バルコニー側：ABS樹脂製) (共用廊下側：SUS製)	V ダクトカバー		c 《洗濯機用防水パン》			堺市 建築都市局 建築部	図面番号	A / O 63		
	E 手摺用補強材	K 壁見切り縁	Q クーラーインサート2本 (化粧ナット付)	W ハンガーパイプ φ32		d 《給気スリーブ φ100》			原寸法	0 500 1,000 2,000 3,000 5,000mm			
	F 流し台 L=1,200	L 壁点検口	R GB-S t=9.5の上化粧FK t=6.0貼	X 固定棚		e 《給気ユニット》							



【注記】

- ※ 反転タイプあり
- ※ ①は手摺取付位置を示す。
- ※ 【 】寸法は、出入口有効開口巾を示す。
- ※ 《 》は設備工事を示す。
- ※ ドレイン位置は平面図による。

【凡例】

- ②0 ディテールN.0.を示す。
- 直天 天井高さを示す。
- 洋室 室名を示す。
- ±0 床仕上レベルを示す。
- 下り天井（ダクトスペース）範囲を示す。
- 物入上部スラブ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種b A t=25施工範囲を示す。
- スラブ下がり範囲を示す（FL-300、SL-160）
- クーラーインサート位置を示す。

外壁断熱（押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種b A t=30
GB-R t=9.5裏打）範囲を示す。
8階住戸のみ、外壁断熱（フェノールフォーム断熱材1種2号CⅡ t=30）

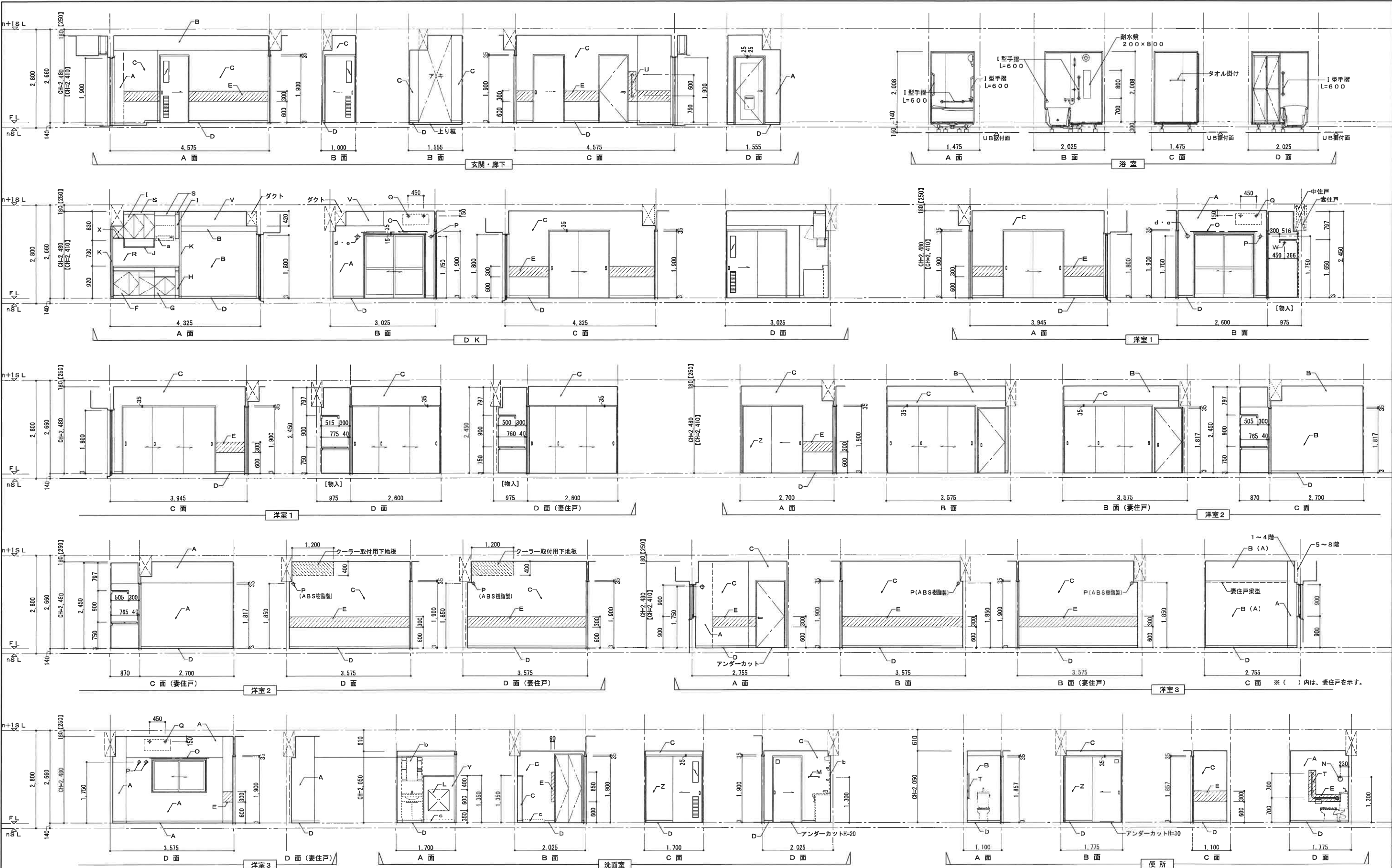
工事名称 万崎建替公営住宅第二期建設工事

図面名称 平面詳細図（3DKタイプ）

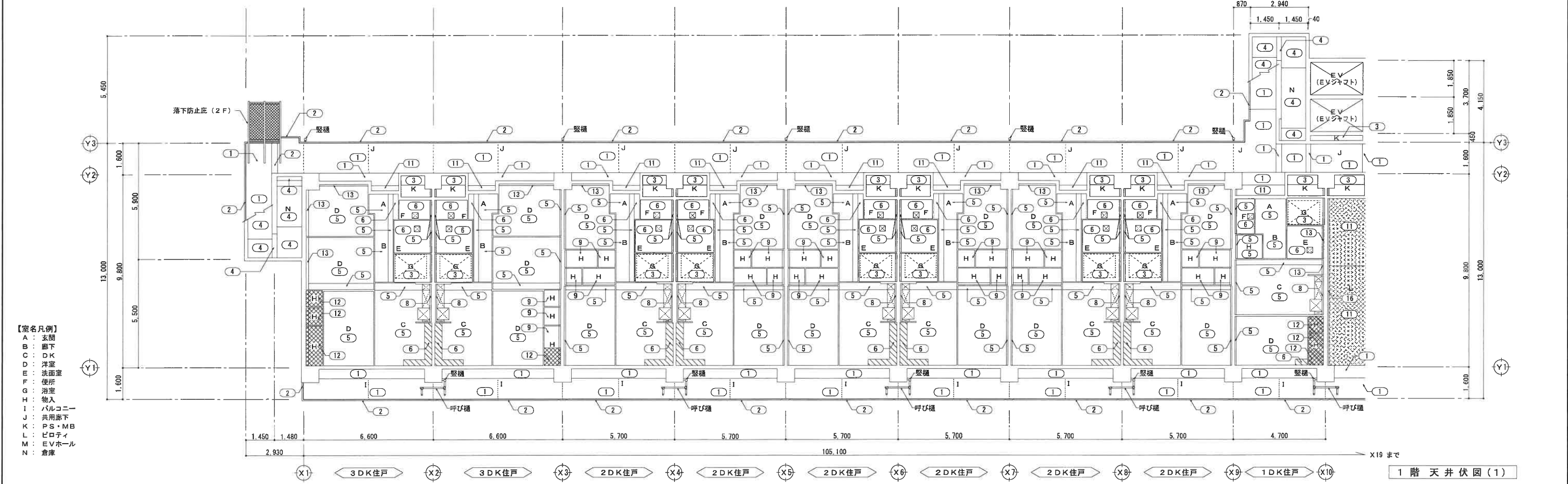
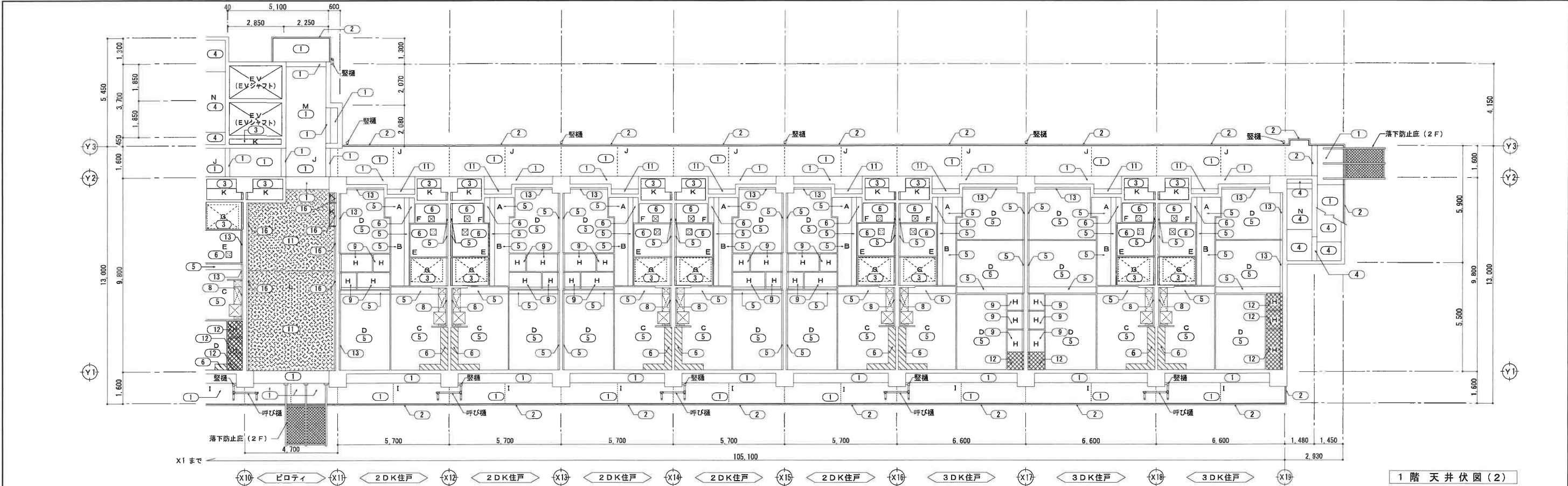
A3縮尺 1/50 A1縮尺 1/25

図面番号 A / 064

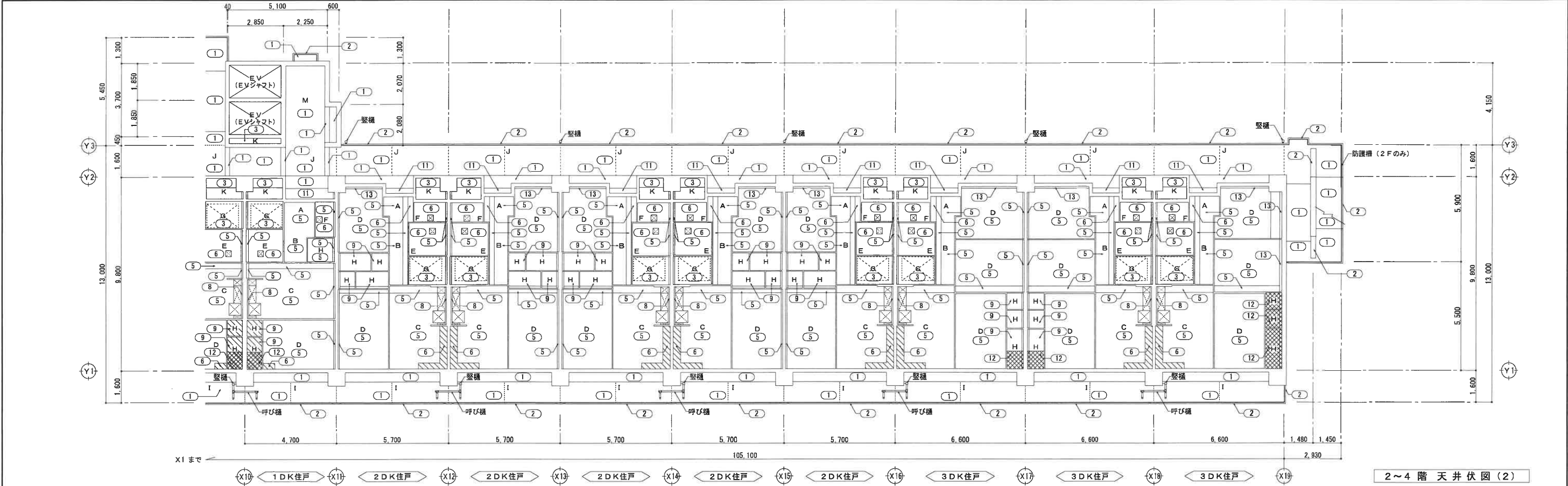
取寸法 0 250 500 1,000 1,500 2,500mm



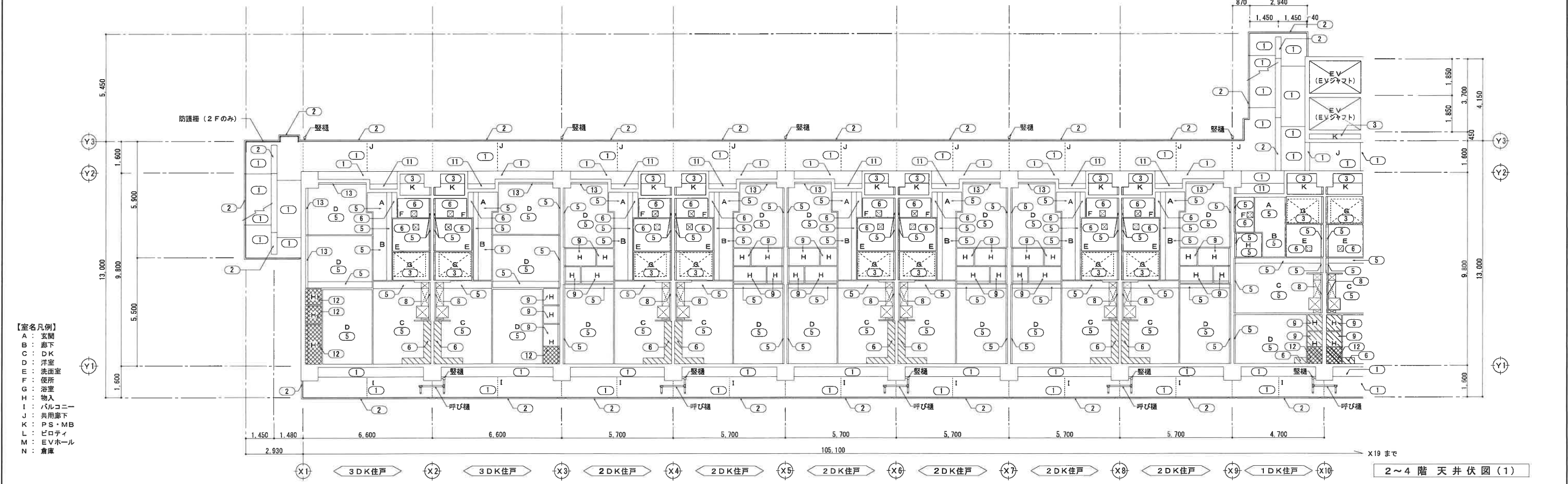
凡例・注記	A (外壁) 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 3種b A t=30 裏打ちGB-R t=9.5の上ビニルクロス貼 8階妻住戸のみ、フェノールフォーム板 1種2号 t=30	F 流し台 L=1,200	B13/B14	L 壁点検口	B9	R GB-S t=9.5の上 化粧FK t=6.0貼	X 固定棚	B28	【別途設備工事】 a 《レンジフード》 b 《洗面化粧台》 c 《洗濯機用防水パン》 d 《給気スリーブ φ100》 e 《給気ユニット》	【注記】 寸法：【 】内は最上階を示す。	工事名称 万崎建替公営住宅第二期建設工事 図面名称 展開図（3DKタイプ） A3縮尺 1/100 A1縮尺 1/50 堺市 建築都市局 建築部 図面番号 A / 065 原寸法 0 500 1,000 2,000 3,000 5,000mm
	B (住戸外壁) コンクリート打放しの上 ビニルクロス貼	G コンロ台 L=600 バックガード一体型	B16	M タオル掛け：ステンレス製 L=400		S 幕板：ポリ合板 t=4.0 (吊戸棚と同色)	Y (内装パネル) GB-S t=9.5の上ビニルクロス貼				
	C (内装パネル) GB-R t=9.5の上ビニルクロス貼	H コンロ融合 L=100	B17	N タオル掛け：ステンレスリング		T L型手摺 600×700	Z ラワン合板 t=4.0の上ビニルクロス貼				
	D ビニル巾木 H=60	I 吊戸棚 L=1,200	B19	O アルミカーテンレール (W)		U I型手摺 L=600					
	E 手摺用補強材	J 水切欄 (SUS304・1段) L=900	B21/B22	P クーラーすリーブ φ75 (バルコニー側：ABS樹脂製) (洗面台下側：SUS製)	B20	V ダクトカバー					
		K 壁見切り縁		Q クーラーインサート2本 (化粧ナット付)		W ハンガーパイプ φ32					



凡例	①	コンクリート打放しの上 外装薄塗材E	⑦	GB-R t=9.5の上 ビニルクロス貼り (LGS下地)	⑬	押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bA t=30 裏打ちGB-R t=9.5の上 ビニルクロス貼り	⑭	アルミ枠天井点検口 450×450 (住戸内部は300×300)	工事名称	万崎建替公営住宅第二期建設工事		
	②	コンクリート打放しの上 複層塗材E	⑧	GB-R t=9.5の上 化粧FK t=6.0張り (木下地)	⑭	押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bA t=40の上 FK t=6.0の上 外装薄塗材E	⑮	誘発目地	図面名称	天井伏図01 (1階)		
	③	コンクリート打放し	⑨	押入用プリント合板 t=4.0張り (木下地)	⑮	下り天井			A3縮尺	1/200	A1縮尺	1/100
	④	コンクリート打放し	⑩	GB-R t=9.5の上 押入用プリント合板 t=4.0張り (LGS下地)	⑯	スラブ下断熱材: 押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bA t=25			堺市	建築都市局 建築部	図面番号	A / 066
	⑤	コンクリート打放しの上 ビニルクロス貼り	⑪	FK t=6.0 (LGS下地)の上 外装薄塗材E	⑰	スラブ下断熱材: 押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bA t=40 ※ピロティのみ			原寸法	0 1,000 2,500 5,000 7,500 10,000mm		
	⑥	GB-R t=9.5の上 ビニルクロス貼り (木下地)	⑫	スラブ下 押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bA t=25 (外壁より900迄)の上 押入用プリント合板 t=4.0張り (木下地)								



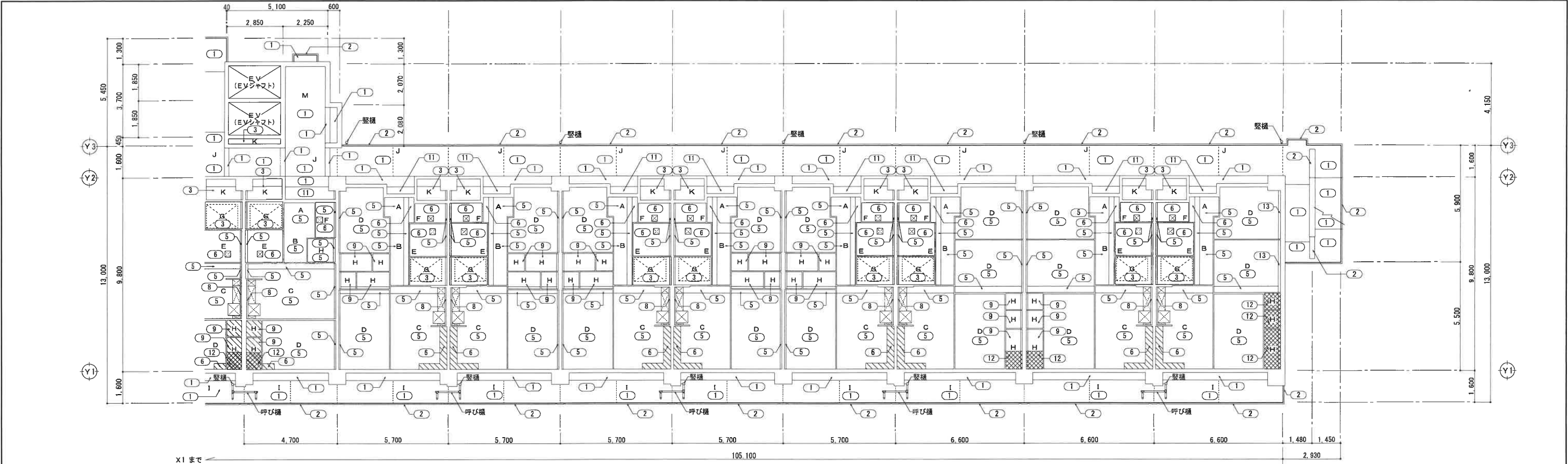
2～4階天井伏図(2)



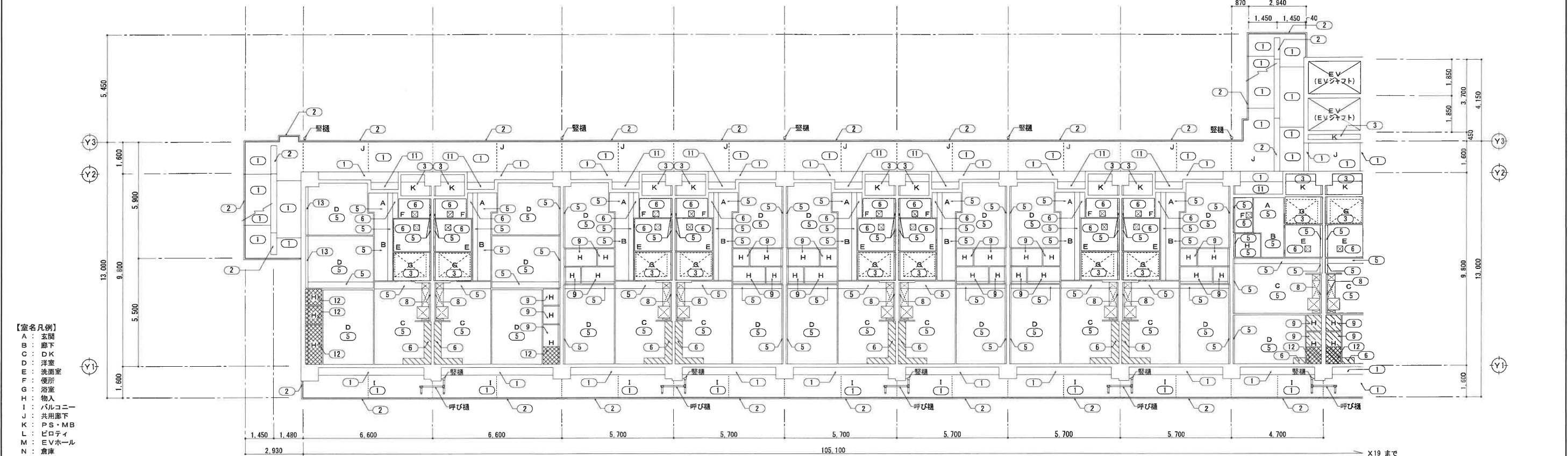
2～4階天井伏図(1)

- 【室名凡例】
- A: 玄関
 - B: 廊下
 - C: DK
 - D: 洋室
 - E: 洗面室
 - F: 便所
 - G: 浴室
 - H: 物入
 - I: バルコニー
 - J: 共用廊下
 - K: PS・MB
 - L: ビロティ
 - M: EVホール
 - N: 倉庫

凡例	①	コンクリート打放しの上 外装薄塗材E	⑦	GB-R t=9.5の上 ビニルクロス貼り (LGS下地)	⑬	押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bA t=30 裏打ちGB-R t=9.5の上 ビニルクロス貼り	⊠	アルミ枠天井点検口 450×450 (住戸内部は300×300)	工事名称 万崎建替公営住宅第二期建設工事 図面名称 天井伏図02 (2～4階) A3縮尺 1/200 A1縮尺 1/100 図面番号 A / 067 原寸法 0 1,000 2,500 5,000 7,500 10,000mm
	②	コンクリート打放しの上 複層塗材E	⑧	GB-R t=9.5の上 化粧FK t=6.0張り (木下地)			-----	誘発目地	
	③	コンクリート打放しのまま	⑨	押入用プリント合板 t=4.0張り (木下地)		下り天井			
	④	コンクリート打放し補修	⑩	GB-R t=9.5の上 押入用プリント合板 t=4.0張り (LGS下地)		スラブ下断熱材: 押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bA t=25			
	⑤	コンクリート打放しの上 ビニルクロス貼り	⑪	FK t=6.0 (LGS下地)の上 外装薄塗材E					
	⑥	GB-R t=9.5の上 ビニルクロス貼り (木下地)	⑫	スラブ下 押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bA t=25 (外壁より900迄)の上 押入用プリント合板 t=4.0張り (木下地)					



5・6階天井伏図(2)

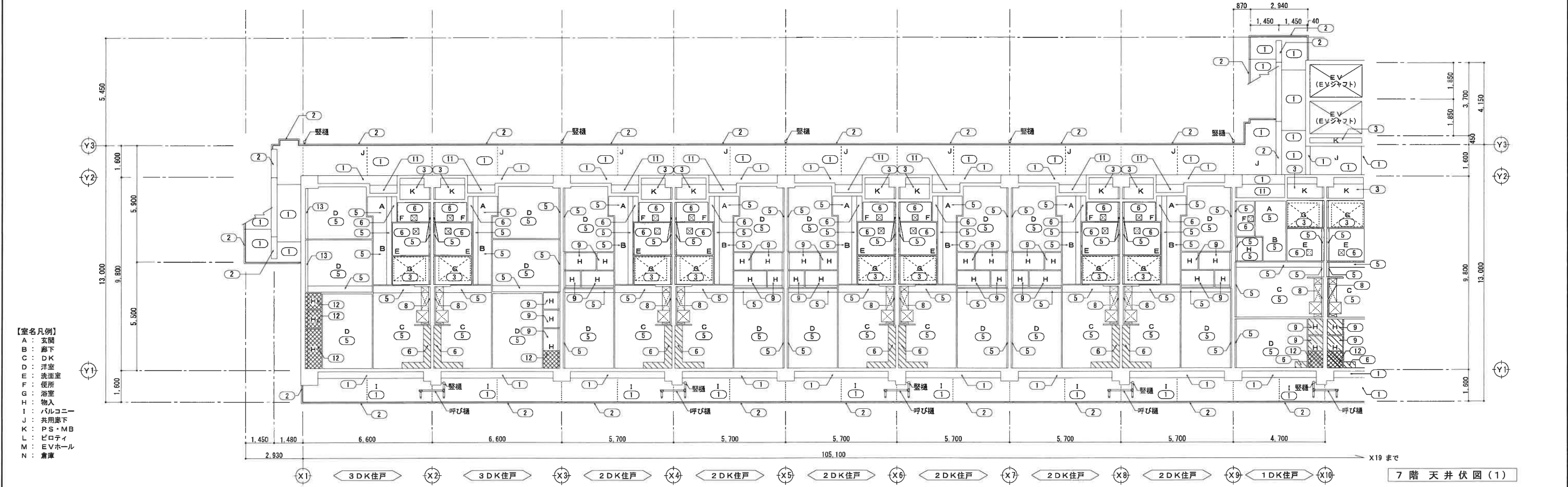
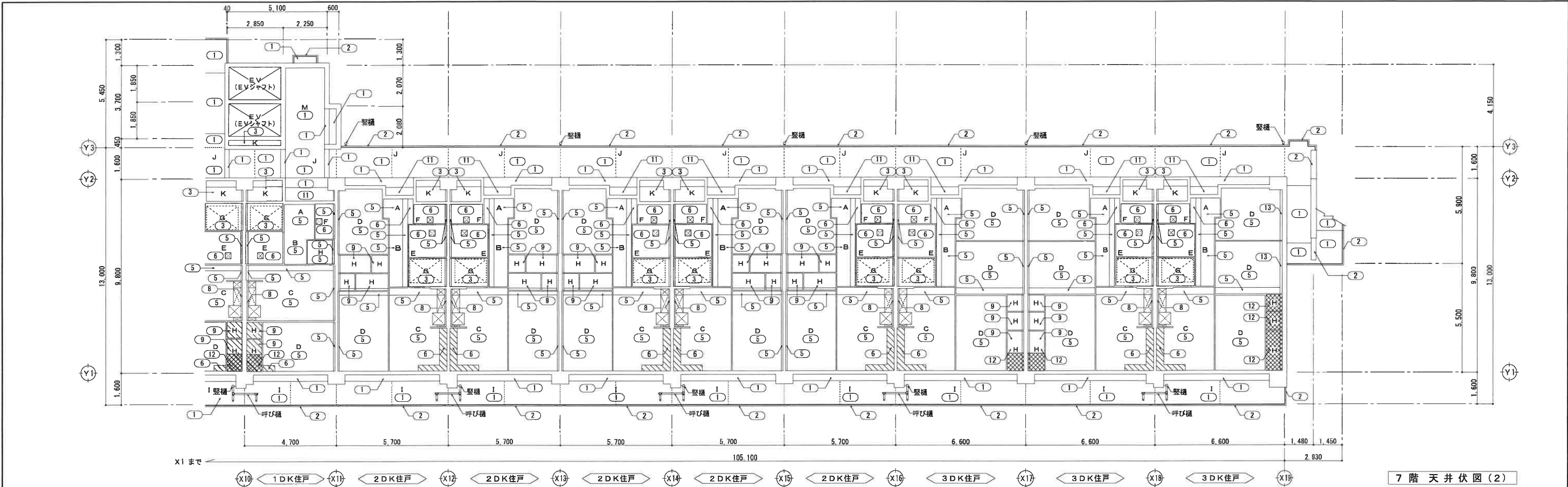


5・6階天井伏図(1)

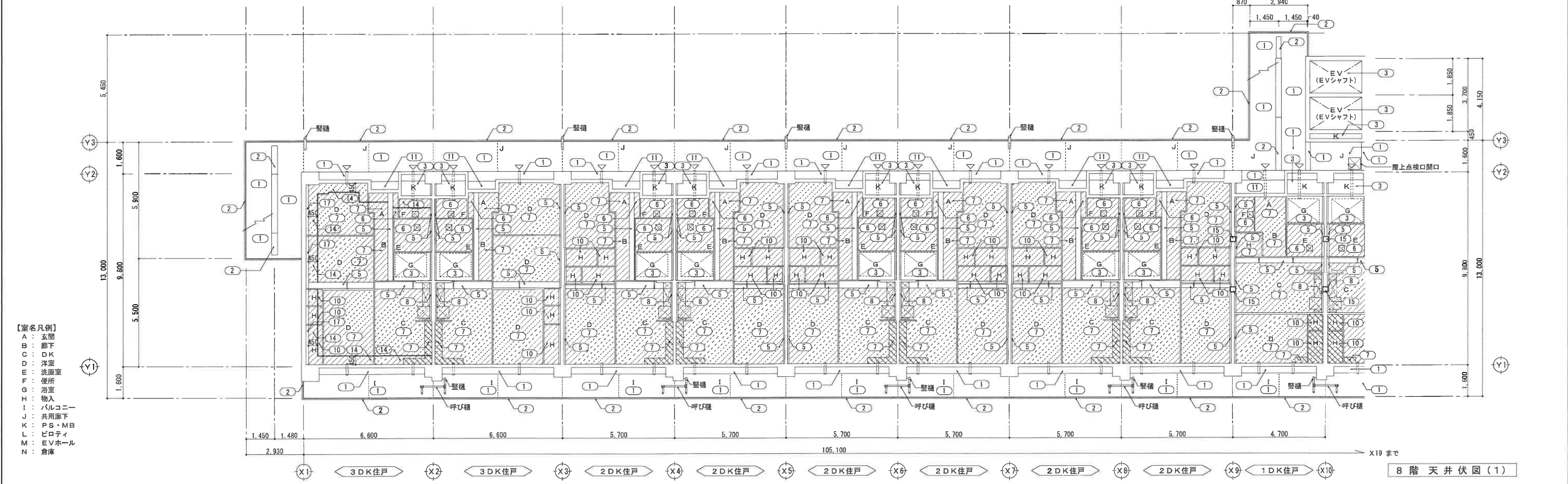
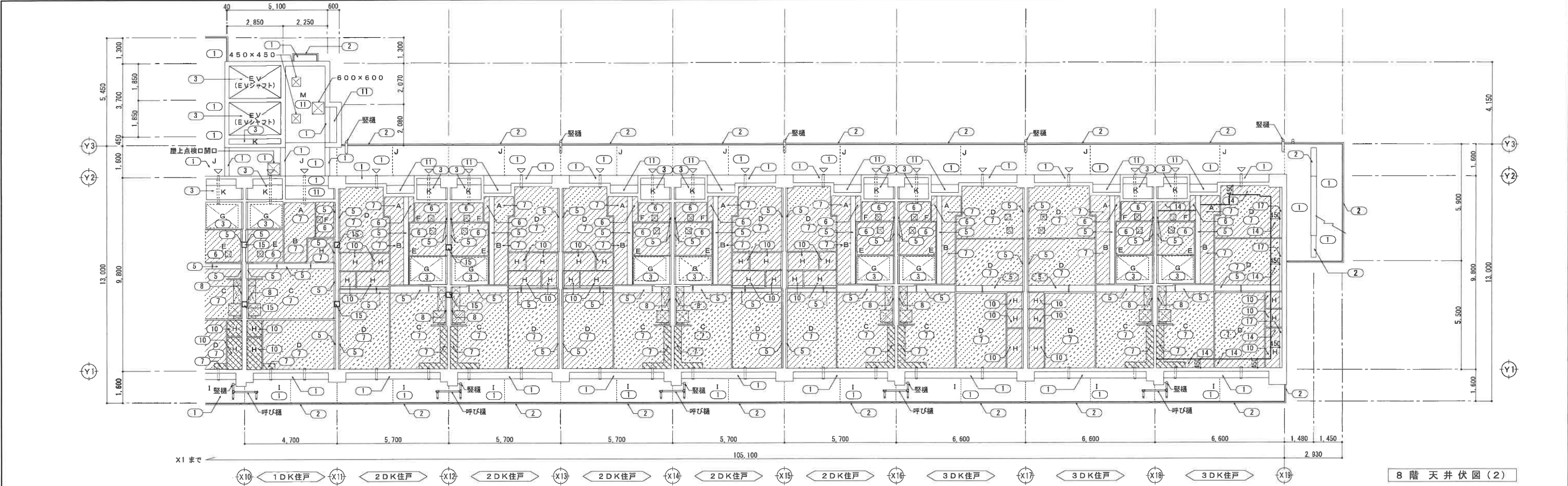
- 【室名凡例】
- A: 玄関
 - B: 廊下
 - C: DK
 - D: 洋室
 - E: 洋室
 - F: 洋室
 - G: 浴室
 - H: 洗面
 - I: バルコニー
 - J: 共用廊下
 - K: PS・MB
 - L: ピロティ
 - M: EVホール
 - N: 倉庫

凡例

①	コンクリート打放しの上 外装薄塗材E	⑦	GB-R t=9.5の上 ビニルクロス貼り (LGS下地)	⑬	押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bA t=30 裏打ちGB-R t=9.5の上 ビニルクロス貼り	☒	アルミ枠天井点検口 450×450 (住戸内部は300×300)	工事名称	万崎建替公営住宅第二期建設工事			
②	コンクリート打放しの上 複層塗材E	⑧	GB-R t=9.5の上 化粧FK t=6.0張り (木下地)			-----	誘発目地	図面名称	天井伏図03 (5・6階)			
③	コンクリート打放しのまま	⑨	押入用プリント合板 t=4.0張り (木下地)		下り天井			A3縮尺	1 / 200	A1縮尺	1 / 100	
④	コンクリート打放し補修	⑩	GB-R t=9.5の上 押入用プリント合板 t=4.0張り (LGS下地)		スラブ下断熱材：押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bA t=25			堺市	建築都市局	建築部	図面番号	A / 068
⑤	コンクリート打放しの上 ビニルクロス貼り	⑪	FK t=6.0 (LGS下地)の上 外装薄塗材E					原寸法 				
⑥	GB-R t=9.5の上 ビニルクロス貼り (木下地)	⑫	スラブ下 押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bA t=25 (外壁より900径)の上 押入用プリント合板 t=4.0張り (木下地)									



凡例	(1)	コンクリート打放しの上 外装薄塗材E	(7)	GB-R t=9.5の上 ビニルクロス貼り (LGS下地)	(13)	押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bA t=30 裏打ちGB-R t=9.5の上 ビニルクロス貼り	☒	アルミ枠天井点検口 450×450 (住戸内部は300×300)	工事名称	万崎建替公営住宅第二期建設工事			
	(2)	コンクリート打放しの上 複層塗材E	(8)	GB-R t=9.5の上 化粧FK t=6.0張り (木下地)			-----	誘発目地	図面名称	天井伏図04 (7階)			
	(3)	コンクリート打放しのまま	(9)	押入用プリント合板 t=4.0張り (木下地)		下り天井			A3縮尺	1/200	A1縮尺	1/100	
	(4)	コンクリート打放し補修	(10)	GB-R t=9.5の上 押入用プリント合板 t=4.0張り (LGS下地)		スラブ下断熱材：押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bA t=25			図面番号	A / 069			
	(5)	コンクリート打放しの上 ビニルクロス貼り	(11)	FK t=6.0 (LGS下地)の上 外装薄塗材E					原寸法				
	(6)	GB-R t=9.5の上 ビニルクロス貼り (木下地)	(12)	スラブ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bA t=25 (外壁より900迄)の上 押入用プリント合板 t=4.0張り (木下地)					図面番号	A / 069			



凡例	①	コンクリート打放しの上 外装薄塗材E	⑦	GB-R t=9.5の上 ビニルクロス貼り (LGS下地)	⑭	押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bA t=20 ※スラブ下面(梁側面から450まで)	スラブ下断熱材: 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 t=25	工事名称 万崎建替公営住宅第二期建設工事 図面名称 天井伏図05 (8階) A3縮尺 1/200 A1縮尺 1/100 図面番号 A/070 原寸法 0 1,000 2,500 5,000 7,500 10,000mm
	②	コンクリート打放しの上 複層塗材E	⑧	GB-R t=9.5の上 化粧FK t=6.0張り (木下地)	⑮	押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bA t=20 ※太陽光パネル基礎直下の梁側面から梁底まで L=400	小屋裏断熱材: 小屋裏部分の内部天井裏は全面に住宅用グラスウール 24kg/m3相当 t=50を設置する。	
	③	コンクリート打放しのまま	⑨	押入用プリント合板 t=4.0張り (木下地)	⑯	フェノールフォーム板1種2号CⅡ t=30 裏打ちGB-R t=9.5の上 ビニルクロス貼り	アルミ待天井点検口 450×450・600×600 (住戸内部は300×300)	
	④	コンクリート打放し補修	⑩	GB-R t=9.5の上 押入用プリント合板 t=4.0張り (LGS下地)			誘発目地	
	⑤	コンクリート打放しの上 ビニルクロス貼り	⑪	FK t=6.0 (LGS下地)の上 外装薄塗材E			天井裏換気パイプVUφ50 (共用廊下側 防虫網付) ※8階のみ ※1DKのみSUSφ50	
	⑥	GB-R t=9.5の上 ビニルクロス貼り (木下地)	⑫	スラブ下 押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bA t=25 (外壁より900迄)の上 押入用プリント合板 t=4.0張り (木下地)	⑰	下り天井	天井裏換気パイプVUφ50 (バルコニー側 防虫網付) ※8階のみ	